

MITSUBISHI

三菱カーナビゲーションシステム

形名

NR-MZ33

取扱説明書

ナビゲーション &

目次 4ページ

オーディオ ブック

NAVIGATION & AUDIO BOOK

はじめに

基本操作

ナビゲーション基本操作

かんたん検索メニュー

検索

ルート

登録・編集操作

各種情報の利用

ナビゲーションの設定

通信機能を使う

オーディオ基本操作

放送を受信する

音楽ディスクを使う

映像ディスクを使う

SD / USBを使う

iPodを使う

BT AUDIOを使う

その他の機器を使う

オーディオの音質を設定する

オーディオのシステムを設定する

バックカメラを使う

携帯電話を使う

その他の操作

付録

地図の見かた

目的地までの道のり距離と到着予想時刻を表示します。機能設定を行うことで、「立寄地までの道のり距離」に設定することもできます。また、到着予想時刻を計算するための「到着予想速度（一般道／有料道）」を実際の走行速度に近い設定にすることで、より現実的な到着予想時刻を表示させることもできます。

ルート案内中の道路であることを示しています。また、道路種別を色で判断することができます。
一般道路：■ 有料道路：■ 細街路：■

現在いる場所に対して、目的地の方向を示しています。機能設定を行うことで、「立寄地の方向」に設定することもできます。

次の案内地までの距離と曲がる方向および交差点名称が表示されます。その先の案内地までの距離と曲がる方向は左側に表示されます（ルートインフォメーション）。また、矢印（例：▶）にタッチすることで案内地の地図表示と音声案内を行います。



レーン情報を示しています。誘導レーンは緑色、推奨される誘導レーンは緑色に白の矢印で表示されます。

方面名称を案内する看板が表示されます。誘導中のレーンが緑色で表示されます。

現在いる市区町村名を表示します。機能設定を行うことで、「走行中の道路名」や「緯度経度」の表示に変更することもできます。また、何も表示しないように設定することもできます。

現在いる場所を示しています（自転車マーク）。また、自転車マークの向きによって進行方向を判断することができます。

進行方向



進行方向 ←



車の進行方向に対して300 m以内に存在する信号機を示しています。最大5力所まで表示され、通過すると自動的に消えます。

道路であることを示しています。また、道路種別を色で判断することができます。

有料道：■ 国道：■
主要地方道：■ 都道府県道：■
一般道：■ 細街路：■

安全上のご注意

マークの意味については、スタートブックをご覧ください。

走行中はナビゲーションの操作をしない

走行中に運転者が操作するのは、絶対におやめください。

走行中に制限される機能の操作は

安全な場所に車を止めてパーキングブレーキをかけてから操作してください。
ルート探索の設定などの複雑な操作は、安全のため、走行中にはできないように設計されています。(操作しようとすると、「走行中は操作できません」とメッセージが表示されます。)

操作はエンジンをかけたままで

エンジンを止めて本機を操作すると、バッテリー消耗の原因になります。本機の操作はエンジンをかけたままで行ってください。

交通規則に従って走行する

ルート探索をすると、自動的にルート/音声案内が設定されます。曜日、時刻規制などの交通規制情報はルート探索した時刻のものが反映されます。例えば、「午前中通行可」の道路でも時間の経過により、その現場を「正午」に走行すると、設定されたルートが通れないなど交通規制に反する場合があります。運転の際は必ず実際の交通標識に従ってください。

なお、冬期通行止めなどには一部対応していないものもあります。

画面に表示される情報は実際と異なる場合があります。

ナビゲーションの画面に表示される情報や建物や道路などの形状は実際と異なる場合があります。

安全上のご注意



自動車の運転中に地点登録・地点検索などの操作をしないでください。このような操作は、必ず安全な場所に車を停車させ、パーキングブレーキをかけてから行ってください。



ナビゲーションによるルート案内時は、実際の交通規則に従って走行してください。



目次

はじめに

地図の見かた	2
安全上のご注意	3
走行中はナビゲーションの操作をしない ...	3
交通規則に従って走行する	3
本書の見かた	10
本書の表記のしかた	10

基本操作

基本操作	12
基本的な操作のしかた	12
画面の切り換えかた	12
リスト画面の操作	13
文字の入力操作	15
文字の入力操作の流れ	15
文字の種類を切り換える	15
文字を入力する	15
無変換、変換を行う	17
文字入力を終了する	17
URLの入力について	17
かな漢字変換できる記号	18

ナビゲーション基本操作

ナビゲーションの基本操作	20
ナビメニューの操作	20
ショートカットメニューの操作	22
地図画面の操作	24
現在地画面を表示する	24
地図を動かす	25
地図のスケールを変える	26
地図の向きを変える	27
地図の表示方法を変える	27
サイドマップについて	29
走行中の音声案内	30
走行中表示される画面について	30
ハイウェイモードについて	31

走行中の道路を切り換える

自宅へ帰る	35
自宅を登録する	35
自宅までルート探索する	35

かんたん検索メニュー

かんたん検索メニューを使う	38
よく行く場所まで案内させる	38
買い物スポットまで案内させる	38
食事スポットまで案内させる	39
自宅	39

検索

場所を探す	42
地図で探す	42
名称で探す	42
住所で探す	43
ジャンルで探す	44
周辺施設を探す	45
電話番号で探す	46
登録地から探す	46
検索履歴から探す	47
詳細情報を見る	48

ルート

ルートを探索する	50
案内開始画面を表示する	50
ルート案内開始画面の見かた	50
ルート案内を開始する	51
ルートプロフィールで確認する	51
他のルートを選ぶ	51
ルート地図を表示する	52
立寄地を追加する	52
乗降IC（インターチェンジ）を 指定する	53
出発地を指定する	54
ルート探索機能について	54

ルート誘導・案内	56
ルート案内中の現在地画面	56
音声による誘導・案内	59
ルート案内中の操作と機能	61
ルートから外れたときに自動的に ルートを再探索する	61
次の案内地を確認する	61
ルート上の渋滞情報を案内させる ...	61
ルートを消去する	63
登録・編集操作	
場所を登録する	66
場所を登録する	66
登録地を編集する	68
登録地の登録内容を編集する	68
登録地を消去する	69
登録地を保存する	70
登録地を読み込む	70
よく行く場所を編集する	71
よく行く場所の 登録内容を編集する	71
よく行く場所を消去する	71
ルートを編集する	72
ルートをプロフィールで確認する ...	72
条件を変えて ルートを再探索させる	72
ルートを消去する	73
立寄地を先送りする	73
ルートをデモ走行で確認する	73
その他のデータを編集する	74
検索履歴を消去する	74
メモリダイヤルを消去する	74
ルートの学習内容を消去する	75
走行軌跡を消去する	76

各種情報の利用

FM-VICS情報を利用する	78
VICS情報とは	78
地図上でVICS情報を見る	79
ルート上の渋滞情報を案内させる ...	80
VICSの文字・図形情報を見る	81
放送局を選ぶ	82
その他の情報の利用	83
センサー学習状況を見る	83
接続状態を確認する	84
バージョン情報を表示する	85
eスタート案内を利用する	85
ETC利用履歴を見る	86

ナビゲーションの設定

ロゴマーク表示設定をする	88
機能設定をする	89
設定内容の詳細	90
通信設定をする	94
通信機器使用上のご注意	94
Bluetooth設定を行う	95
携帯電話を切り換える／削除する ...	96
パスキーを変更する	97
電波発射をON/OFFする	97
通信接続設定を行う	97
接続先を切り換える	99
ナビゲーションの 音量設定をする	100
簡単セットアップをする	101
簡単セットアップを行う	101
簡単セットアップを開始する	101
その他の設定をする	104
イルミネーションカラーを 設定する	104
車両情報を設定する	105
カメラの入力設定をする	106

自転車位置のずれを修正する	107
設定を初期状態に戻す	108

通信機能を使う

お天気情報を利用する	110
駐車場満空情報を利用する	111
ガススタ価格情報を利用する	112

オーディオ基本操作

オーディオの基本操作	114
AVソース画面を表示する	114
AVソースを切り換える	114
AVソースをOFFにする	115
本機で再生可能なメディアと ファイルの種類	116
走行中に制限される機能について	116

放送を受信する

ラジオを聞く	118
ラジオの放送を受信する	118
プリセットの種類を選ぶ	118
バンドを切り換える	119
放送局を手動で登録する	119
放送局の自動登録	119

交通情報を聞く	120
交通情報を受信する	120

ワンセグ放送を見る	121
ワンセグを受信する	121
プリセットの種類を切り換える	122
受信可能な中継局を探す	122
放送局を手動で登録する	123
サービスを切り換える	123
番組表を表示する	123
番組内容を表示する	124
放送局を自動で登録する (チャンネルスキャン)	124

字幕を切り換える	124
音声を切り換える	124
視聴者設定を消去する	125

音楽ディスクを使う

音楽CDを聴く	128
再生する	128
リストから選んで再生する	128
リピート再生	129
ランダム再生	129

ROM (WMA/MP3/AAC) を聴く	130
再生する	130
リストから選んで再生する	130
リピート再生	131
ランダム再生	131

映像ディスクを使う

DVDビデオを見る	134
再生する	134
ディスクメニューの操作 (ダイレクトタッチ)	135
ブックマークの登録	136
リピート再生	136
コマ送り再生	137
スロー再生	137
字幕言語の切り換え	137
音声言語の切り換え	138
音声出力の切り換え	138
アングルの切り換え	138
リターン再生	139
ダイレクトサーチ	139

DVD-VRを見る	140
再生する	140
リストからタイトルを選んで 再生する	141
CMバック/スキップ	141

リピート再生	141
コマ送り再生	142
スロー再生	142
字幕言語の切り換え	142
音声言語の切り換え	143
音声多重の切り換え	143
ダイレクトサーチ	143
DVDの機能設定	144
基本字幕言語	144
基本音声言語	144
メニュー言語	144
マルチアングル	145
テレビアスペクト	145
視聴制限	146
オートプレイ	147
言語コード表	148

SD / USBを使う

SD / USBの操作のしかた	150
音楽ファイルを再生する	150
映像ファイルを 再生する (SDのみ)	150
音楽ファイルと映像ファイルを 切り換える (SDのみ)	151
聴きたい曲や見たい映像を探す ...	151
ダイレクトサーチ (SDのみ)	152
リピート再生	152
ランダム再生	152

iPodを使う

iPodの操作のしかた	154
再生する	154
iPodミュージックと iPodビデオを切り換える	155
聴きたい曲や見たい映像を探す ...	155
リピート再生	156

シャッフル再生	156
コントロールモードを切り換える ...	156

BT AUDIOを使う

BT AUDIOの操作のしかた	158
BT AUDIO機器の登録	158
再生する	158
リピート再生	159
ランダム再生	160
BT AUDIO機器の接続について ...	160

その他の機器を使う

その他の機器の使いかた	162
VTRを使う	162
AUXを使う	162

オーディオの音質を設定する

オーディオの音質を設定する ...	164
フェーダー / バランス設定	164
ラウドネス設定	164
イコライザー設定	165
ソースレベルアジャスター設定 ...	167
音場設定 (VSC)	167

オーディオのシステムを設定する

オーディオのシステムを 設定する	170
ワイドモード設定	170
消音タイミング	171
消音レベル	171
VTR設定	171
AUX設定	172
ガイド / ハンズフリー SP設定 ...	172
SD映像出力設定	173

DVDビデオ機能設定	173
TV機能設定	173
iPodワイドスクリーン	173

バックカメラを使う

バックカメラを使う	176
バックカメラの映像を表示する ...	176
バックカメラ映像のガイド線の 表示/非表示を設定する	176
バックカメラ映像の ガイド線を調整する	177

携帯電話を使う

携帯電話を使う	180
ハンズフリー通話をする	180
電話の受けかた	180
電話のかけかた	181
メモリダイヤルを読み込む	183
通話中メニューの操作	184

その他の操作

画質を調整する	186
リアモニターを組み合わせる ...	187
リアモニターに表示される 映像について	187
タッチパネルの タッチ位置を調整する	188
設定内容の初期化と ユーザーデータの消去	189

付 録










再生できるディスクの種類	192
DVDに表示されている マークの意味	193
ディスクの操作について	193
ディスクの構成について	194
DVDビデオ	194

CD	194
WMA/MP3/AAC/ WAVファイルについて	195
フォルダーとWMA/MP3/AAC/ WAVファイルについて	195
WMAとは?	195
MP3とは?	196
AACとは?	197
WAVとは?	197
再生できる映像ファイルについて ...	198
ナビゲーションのしくみ	199
現在地がわかるしくみ	199
測位の精度を高めるためのしくみ ...	199
誤差について	200
故障かな?と思ったら	202
ナビゲーション	202
オーディオ	202
エラーメッセージと対処方法 ...	207
共通項目	207
ナビゲーション	207
ETC	208
オーディオ	209
センサーメモリーの リセットについて	212
センサー学習状態の リセットが必要な場合	212
センサー学習状態の リセットのしかた	212
その他の情報	213
検索における データベースについて	213
ルートに関する注意事項	213
VICS情報に関する注意事項	215
シティマップ(詳細市街地図) 収録エリア	215
阪神高速道路株式会社からの ご連絡	218

収録データベースについて	218
索引	222
メニュー索引	222
用語索引	224
記号・マーカー一覧	231

本書の見かた

本書の表記のしかた

表記	意味
	注意マーク 操作を行う状況において注意していただきたいことや、本製品の性能を維持する上で注意していただきたいことについて説明しています。
	メモ 操作する上で注意すべきことやヒント、便利な使いかたなどについて説明します。
	タッチキーを表します。 例：  にタッチする
	ナビゲーション本体についているボタンを表します。 例：  を押す
	ナビゲーション本体についているTRKボタンの早戻し／早送りどちらかを押すことを表します。 例：  を長く押す
→斜体	参照していただきたい本文タイトルやページ、または他の説明書を導きます。 例：→ <i>「場所を探す」(P42)</i>
	続きマーク 右ページにおいて、操作手順が次ページに続く場合を表します。
長く押す／ 長くタッチする	「ピッ」と音がするまで押す（タッチする）ことを示します。
押し続ける／ タッチし続ける	押ししている（タッチしている）間だけ動作していることを示します。

メモ

- 本書では、SDメモリーカード、SDHCメモリーカードを総称して「SDカード」と表記しています。
- 本書では、iPod、iPhoneを総称して「iPod」と表記しています。
- 本書で使っているイラストや画面例は、実際の製品と異なることがあります。
- 実際の製品の画面は、性能・機能改善のため、予告なく変更することがあります。
- 本書に記載している製品名などの固有名詞は各社の商標または登録商標です。

基本操作	12
基本的な操作のしかた	12
タッチパネルで操作する	12
ボタンで操作する	12
画面の切り換えかた	12
ナビゲーション画面と	
AVソース画面を切り換える	12
画面を一時的に消す(ナビスタンバイ)	13
リスト画面の操作	13
基本的なリストの操作	13
50音タブの操作	13
サイドマップ表示時の50音タブの操作	13
サイドメニューの操作	14
チェックリストの操作	14
インジケーター付リストの操作	14
情報更新タッチキーの操作	14
文字の入力操作	15
文字の入力操作の流れ	15
文字の種類を切り換える	15
文字を入力する	15
基本操作	15
全角・半角を切り換える	15
濁点、半濁点、大文字／小文字を切り換える	16
アルファベットの大文字／小文字を	
切り換える	16
カーソル位置を動かす	16
スペースを空ける	16
漢字表から入力する	16
文字を削除する	17
無変換、変換を行う	17
文字入力を終了する	17
URLの入力について	17
かな漢字変換できる記号	18

基本操作

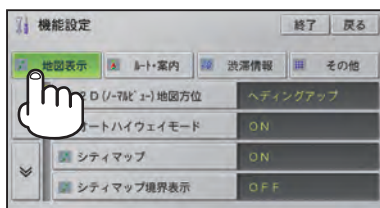
本機の基本操作について説明します。

基本的な操作のしかた

本機は、以下の操作方法が基本となります。

タッチパネルで操作する

画面上に表示されるマークや項目（操作タッチキー）に直接指で触れる（タッチすること）で操作することができます。



終了	現在開いているメニューなどを終了して元の画面に戻ります。
戻る	現在開いているメニューなどの画面を1つ前の画面に戻します。

ボタンで操作する

本機のボタンを使って、画面の切り換え、メニュー画面の表示、オーディオの操作などを行うことができます。

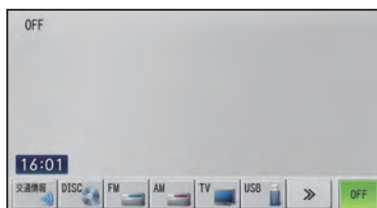
画面の切り換えかた

ナビゲーション画面とAVソース画面を切り換える

ナビゲーション画面（地図画面）とAVソース画面（オーディオ画面）をワンタッチで切り換えることができます。

1 ナビゲーション画面で **AV** を押す

AVソース画面が表示されます。



2 AVソース画面で **現在地** を押す

ナビゲーション画面が表示されます。



メモ

- AVソース画面を表示している状態でも、以下の情報が割り込み表示される場合があります。
 - VICS緊急情報の自動表示（→P80）
 - 交差点案内表示（→P57）
- AVソース画面への割り込み表示（交差点案内表示のみ）は、ON/OFFすることができます。
→「機能設定をする」(P89)

画面を一時的に消す (ナビスタンバイ)

夜間、画面がまぶしい場合など、一時的に画面を消すことができます。

1 現在地 を長く押す

画面が一時的に消えます。

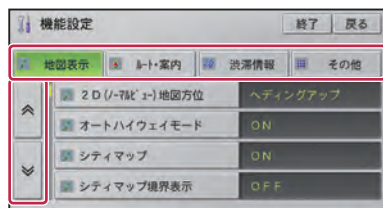
メモ

- ナビスタンバイ中に画面にタッチすると、元の画面に戻ります。また、**現在地**を押すとナビスタンバイを解除して現在地画面を表示します。**(AV)**を押すとナビスタンバイを解除してAVソース画面を表示します。
- ナビスタンバイ中は、ナビゲーションの音声案内も出力されません。オーディオの音声は出力されます。
- バックカメラ(→P176)を使用中は、一時的にナビスタンバイモードを解除します。バックカメラを解除した時点で、自動的にナビスタンバイモードに戻ります。

リスト画面の操作

操作中に表示されるリスト画面の共通操作について説明します。

基本的なリストの操作



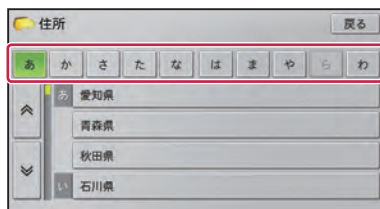
ページ送り
1画面ずつ移動します。

⏪ ⏩ にタッチする
(タッチし続けると、連続で移動します。)

タブ送り
タブ付きリストでは選んだタブのリストに切り換わります。

⏪ ⏩ にタッチする
(例: **ルート案内**) にタッチする

50音タブの操作



行送り
リストを行送りすることができます。

(例: あ→か→さ→た→な)

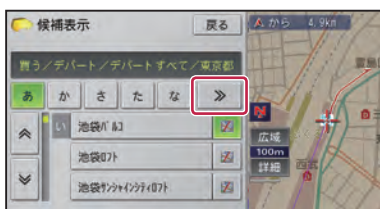
タブ(あ~わ)にタッチする

音送り
リストを音送りすることができます。

(例: あ→い→う→え→お)

タブ(例: あ)に繰り返しタッチする

サイドマップ表示時の50音タブの操作



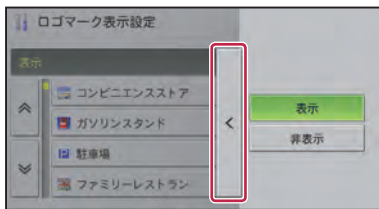
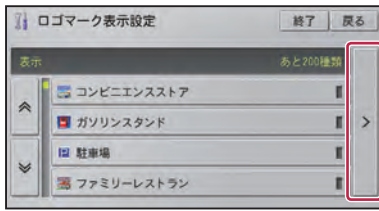
あかさたな送り
リストを次ページに送ることができます。

⏪ にタッチする
(例: あかさたな → はまやらわ)

メモ

- 前ページのリストに戻るには、⏪ にタッチします。
- サイドマップについては、「サイドマップについて」(→P29)を参照してください。

サイドメニューの操作



サイドメニュー

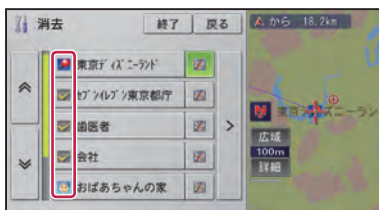
☑にタッチするときにサイドメニューを表示できます。リストの並べ替えや削除などの操作をすることができます。

☒にタッチするときにサイドメニューを閉じるには、☐にタッチする

メモ

- サイドメニューに表示される項目(表示/非表示など)は、リストによって異なります。

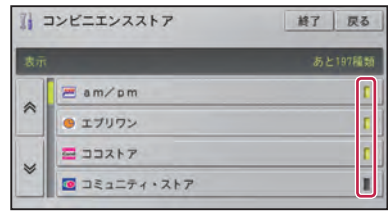
チェックリストの操作



チェックリストでは、項目にタッチすると☑(チェックマーク)が表示され、選択中であることを示します。もう一度項目にタッチすると☑が消え、選択が解除されます。

また、チェックリストでは、サイドメニューを表示できるものがあり、サイドメニューから**全選択**、**全解除**を操作することもできます。

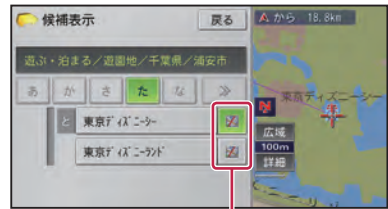
インジケーター付リストの操作



インジケーター付リストでは、項目を選ぶとリスト右側のインジケーターが点灯し、選択中であることを示します。もう一度項目を選ぶとインジケーターが消灯し、選択が解除されます。

情報更新タッチキーの操作

情報更新タッチキーにタッチすると、選んだリスト項目の位置を右画面に表示することができます。



情報更新タッチキー

文字の入力操作

検索時や編集時などに必要な文字の入力操作について説明します。

メモ

- ・英字、数字、カタカナ、ひらがな、漢字、記号、URLが入力できます。
- ・項目によっては、使用できる文字の種類が制限されることがあります。例えば、名称検索の場合、ひらがな入力以外は選べません。
- ・本機は、文字入力変換システムに、株式会社ジャストシステムの「ATOK®」を使用しています。

基本
操作

文字の入力操作の流れ

一般的な文字の入力操作の流れは、次のようになります。

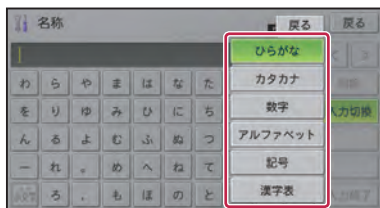
文字の種類を切り換える → 文字を入力する → 無変換、変換を行う → 文字入力を終了する

文字の種類を切り換える

1 入力切換 にタッチする



2 文字の種類にタッチする



文字の種類が切り換わります。

メモ

- ・漢字変換入力をするには、**ひらがな**にタッチします。

文字を入力する

基本操作

1 入力したい文字にタッチする



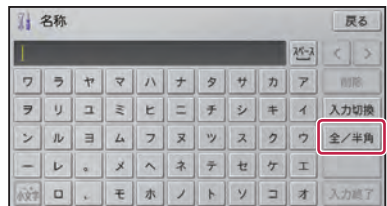
メモ

- ・入力済みの文字間に追加で入力したいときは、カーソル位置を移動 (→P16) してから入力してください。

全角・半角を切り換える

カタカナ、英字、数字、記号の場合は、全角・半角を切り換えることができます。

1 全/半角 にタッチする



タッチすることにより、全角と半角が切り換わります。

濁点、半濁点、大文字／小文字を切り換える

ひらがなやカタカナの場合は、選んだ文字により濁点・半濁点を追加したり、小文字に切り換えることができます。

1 小文字にタッチする

タッチするごとに、カーソル左側の文字が以下のように切り換わります。

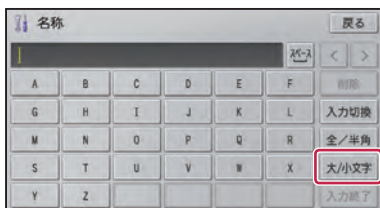
小文字 → 濁点 → 半濁点 → 元の文字に戻る

例1: ツ ツ → ッ → ゅ → ツ
例2: ハ ハ → バ → パ → ハ

アルファベットの大文字／小文字を切り換える

アルファベットの場合は、大文字／小文字を切り換えることができます。

1 大／小文字にタッチする



タッチするごとに、大文字と小文字が切り換わります。

カーソル位置を動かす

1 画面右上の◀・▶にタッチする

タッチした分だけカーソルの位置を移動することができます。

メモ

- 文字入力中の場合、カーソルは同じ色で表示されている文字の範囲内で動かすことができます。
- 一部のパスワード入力画面または伏字や検索中の入力画面の場合は、◀・▶でカーソルを移動させることはできません。
- 漢字変換中の場合は、変換する文字の範囲を変更できます。

スペースを空ける

1 スペースを空けたい文字の右側にカーソルを移動させ、**スペース**にタッチする

タッチした分だけスペースが挿入されます。

漢字表から入力する

JIS第二水準の漢字の一覧表から漢字入力します。

1 漢字表に切り換える(→P15)

2 漢字にタッチする



メモ

- 入力パレットの◀または▶にタッチすると、前のページまたは次のページが表示されます。

文字を削除する

1 削除したい文字の右側にカーソルを移動させ、**削除**にタッチする

タッチすることにより、カーソルの左側の文字が1文字ずつ削除されます。カーソルが左端にある場合は、右端の文字が削除されます。必要な分だけ文字を削除して、入力をやり直します。

メモ

- **削除**に長くタッチすると、全ての文字を一度に削除することができます。

無変換、変換を行う

入力したひらがなを、漢字に変換するかそのままひらがなとするか操作することができます。

1 ひらがなのままの場合は**無変換**、漢字に変換の場合は**変換**にタッチする

2 **変換**にタッチした場合は**次候補**と**前候補**で漢字を選んで、**確定**または**全確定**にタッチする



文字が入力されます。

文字入力を終了する

1 **入力終了**にタッチする



URLの入力について

URLの入力が必要な場合は、自動的にURL入力画面が表示されます。URL入力画面は2ページあり、**次ページ****前ページ**で切り換えます。



かな漢字変換できる記号

学術記号

読み	記号
いこーる	=
ごうどう	≡
だいなり	>
しょうなり	<
ばつ	×
ふとうごう	≠ < > ≦
	≧ ≪ ≫
ぶらす/たす	+
まいなす/ひく	-
ぶらすまいなす	±
むげん/むげんだい	∞
なぜならば	∴
ゆえに	∵
かける	×
わる	÷

ギリシア文字

読み	記号
あるふあ/あるふあー	A α
いーた	H η
いおた	I ι
いぶしろん	E ε
うぶしろん	Y υ
おーむ/おめが	Ω ω
おみくろん	O o
かい/きー	X x
かっぱ	K κ
がんま/がんまー	Γ γ
くしー/ぐざい	Ξ ξ
しーた	Θ θ
じーた	Z ζ
しぐま	Σ σ
たう	T τ
でるた	Δ δ
にゅー	N ν
ばい/ぴー	Π π
ふあい/ふいー	Φ φ
ぶさい/ぶしー	Ψ ψ
べーた	B β
みゅー	M μ
らむだ	Λ λ
ろー	P ρ

括弧

読み	記号
かっこ	" " ' ' () []
	{} <> <>
	「」 『』 []

記号・マーク

読み	記号
くろぼし	★
くろまる	●
しろぼし	☆
しろまる	○
さんかく	△ ▲ ▽ ▼
しかく	◇ ◆ □ ■
ずけい	☆ ★ ○ ●
	◎ ◇ ◆ □
	■ ▲ ▽ ▼
まる	○ ● ◎
にじゅうまる	◎
ひしがた	◇ ◆
ほし	☆ ★
おす	♂
めす	♀
ゆうびん	〒

単位

読み	記号
えん	¥
おんぐすとろーむ	Å
せっし	℃
せんと	¢
たんい	° ' " °C
	¥ \$ € £
	%
ど	° °C
どる	\$
ばーせんと	%
ばーみる	‰
びょう	”
ふん	′
ぼんど	£

点

読み	記号
だくてん	°
てん	、 , … …
はんだくてん	°
まる	。 .

矢印

読み	記号
やじるし	→ ← ↑ ↓

その他

読み	記号
あすたりすく/あすてりすく	*
あっとまーく	@
あんぱさんど	&
おんぷ	♪
から/ないし	~
こめ/ほし	※
しゃーぷ	#
しゃせん	/ \
せくしょん	§
だがー	†
だぶるだがー	‡
ふらっと	b

ナビゲーション基本操作

ナビゲーションの基本操作	20
ナビメニューの操作	20
通信メニュー	20
くわしい検索メニュー	20
かんたん検索メニュー	21
設定メニュー	21
ショートカットメニューの操作	22
地図画面の操作	24
現在地画面を表示する	24
現在地画面の見かた	24
地図を動かす	25
スクロール画面の見かた	26
地図のスケールを変える	26
地図の向きを変える	27
地図の表示方法を変える	27
表示方法の種類	28
100 mスケール一方通行表示をON/OFFする	28
文字拡大表示をON/OFFする	29
サイドマップについて	29
走行中の音声案内	30
走行中表示される画面について	30
信号機が近づくと	30
有料道路を走行すると	30
ハイウェイモードについて	31
ハイウェイモード現在地画面の見かた	31
料金表示について	31
先の施設情報を見る	31
ジャンクションの分岐先の情報を見るには	32
サービスエリアやパーキングエリアで 表示される情報	32
施設のイラスト表示について	33
渋滞情報表示について	33
有料道路の料金所に近づくと	33
走行中の道路を切り換える	34
自宅へ帰る	35
自宅を登録する	35
自宅までルート探索する	35

ナビゲーションの基本操作

ナビメニューの操作

本機のいろいろな機能を使うには、はじめにナビメニューを表示させます。

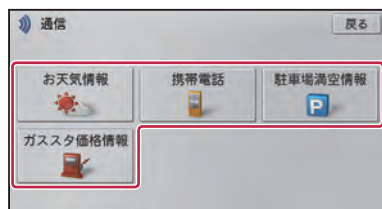
1 ナビゲーション画面でメニューを押す

ナビメニューが表示されます。



通信	お天気情報、駐車場満空情報、ガススタ価格情報を取得したり、携帯電話機能を使うためのメニューを表示します。
くわしい検索メニュー	目的地や場所を探すためのメニューを表示します。
かんたん検索メニュー	普段の生活に必要な場所をかんたんに探すためのメニューを表示します。
設定	各種情報の表示や各種設定・編集を行うためのメニューを表示します。

通信メニュー



お天気情報	お天気情報による天気予報データを取得します。(→P110)
携帯電話	携帯電話機能を使用できます。(→P180)

駐車場満空情報	駐車場の空き状況を確認できます。(→P111)
ガススタ価格情報	ガソリンの価格情報を確認できます。(→P112)

くわしい検索メニュー



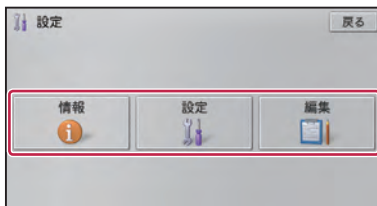
名称	目的地の名称を入力して検索します。(→P42)
住所	目的地の住所を入力して検索します。(→P43)
ジャンル	目的地のジャンルを指定して検索します。(→P44)
周辺施設	自車周辺施設のジャンルを指定して検索します。(→P45)
電話番号	目的地の電話番号を入力して検索します。(→P46)
登録地	登録地から目的地を選んで検索します。(→P46)
検索履歴	検索履歴から目的地を選んで検索します。(→P47)
自宅	自宅までのルートを探します。自宅が未登録の場合は自宅の登録を行います。(→P35)
ルート消去	案内中のルートが消去(中止)します。(→P63)

かんたん検索メニュー



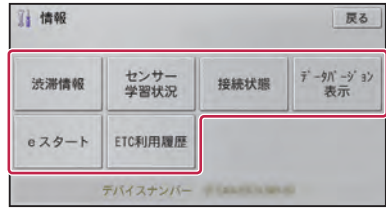
よく行く場所	あらかじめユーザーが本機に登録した「よく行く場所」のリストを表示します。(→P38)
買い物	現在地やスクロール地点など、操作を行う時点で地図画面に表示されている場所周辺の買い物スポットのジャンルを表示します。(→P38)
食事	現在地やスクロール地点など、操作を行う時点で地図画面に表示されている場所周辺の食事スポットのジャンルを表示します。(→P39)
自宅	自宅が登録済みの場合は、自宅までのルートが1本だけ探索され、案内を開始します。 自宅が登録されていない場合は、操作を行う時点で地図画面に表示されている場所を、自宅として登録するかどうかの確認メッセージが表示されます。(→P39)

設定メニュー



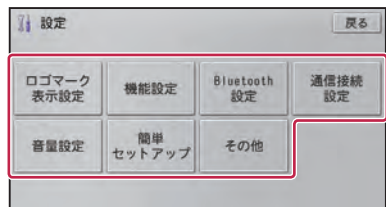
情報	各種情報などを表示するメニューです。
設定	ナビゲーションや通信機能に関する設定を行うメニューです。
編集	ルートや登録地点の編集・消去などを行うメニューです。

情報トップメニュー



渋滞情報	渋滞情報の確認を行います。(→P81～82)
センサー学習状況	ナビゲーションのセンサー学習状況を確認できます。(→P83)
接続状態	ナビゲーションに接続された機器の情報を確認できます。(→P84)
データバージョン表示	本機に収録された地図データのバージョン情報を表示します。(→P85)
eスタート	eスタートの状況を確認できます。(→P86)
ETC利用履歴	本機に別売のETCユニットを接続したときに表示され、ETCの利用履歴を確認できます。(→P86) ただし、ETCユニットにETCカードが挿入されていない場合は選択できません。

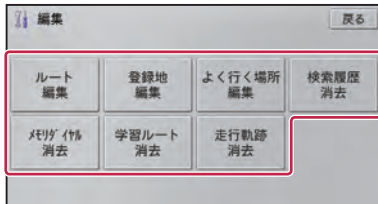
設定トップメニュー



ロゴマーク表示設定	ロゴマークの表示/非表示の設定を行います。(→P88)
機能設定	ナビゲーションに関する設定を行います。(→P89)
Bluetooth設定	Bluetooth機器の登録や変更、削除などを行います。(→P95)
通信接続設定	通信機能を使うためのプロバイダを設定します。(→P97)

音量設定	ナビゲーションの案内音声や操作音の設定を行います。(→P100)
簡単セットアップ	画面の案内に従って、本機の基本設定を行うことができます。(→P101)
その他	イルミネーションカラーの設定やカメラの入力設定、設定の初期化などを行います。(→P104～108)

編集トップメニュー



ルート編集	設定したルートを編集します。(→P72)
登録地編集	登録地の情報を編集します。(→P68)
よく行く場所編集	よく行く場所として登録した地点の情報を編集します。(→P71)
検索履歴消去	検索履歴を消去します。(→P74)
メモリアルダイアル消去	お使いの携帯電話から本機に読み込んだメモリアルダイアル情報を消去します。(→P74)
学習ルート消去	学習したルート(ルート案内時に良く使う道)情報を消去します。(→P75)
走行軌跡消去	地図画面に表示される走行軌跡を消去します。(→P76)

ショートカットメニューの操作

現在地画面や場所を探した後に操作するメニューです。ルート探索や地点登録、詳細情報の表示などを行うことができます。

1 現在地画面またはスクロール画面で \uparrow にタッチする

十字カーソル位置または現在地に対して、それぞれの状況に応じたメニュー項目が表示されます。

メモ

- 戻る または \downarrow にタッチすると、ショートカットメニューを閉じることができます。

現在地画面のとき



ここを登録する	現在いる場所を本機に登録することができます。(→P66)
周辺施設を探す	現在いる場所周辺の施設をジャンルを選んで検索することができます。(→P45)
別道路切換	一般道路と有料道路が並行している場所を走行中、自転車位置が実際と異なる種別の道路に乗ってしまった場合に、自転車位置を一般道路または有料道路へ切り換えることができます。(→P34)

自宅	自宅が登録済みの場合は、自宅までのルートが1本だけ探索され、案内を開始します。自宅が登録されていない場合は、自転車位置を、自宅として登録するかどうかの確認メッセージが表示されます。登録する場合は はい に、登録しない場合は いいえ にタッチしてください。(→P35)
-----------	---

スクロール画面のとき



ここへ行く	スクロールした場所を目的地として、ルート探索を行います。(→P50)
ここを登録する	スクロールした場所を本機に登録することができます。(→P66)
周辺施設を探 す	スクロールした場所周辺の施設をジャンルを選んで検索することができます。(→P45)
自宅	自宅が登録済みの場合は、自宅までのルートが1本だけ探索され、案内を開始します。自宅が登録されていない場合は、スクロールした場所を、自宅として登録するかどうかの確認メッセージが表示されます。登録する場合は はい に、登録しない場合は いいえ にタッチしてください。(→P35)

検索結果画面のとき



ここへ行く	検索した場所を目的地として、ルート探索を行います。(→P50)
ここを登録する	検索した場所を本機に登録することができます。(→P66)
詳細情報を見る	検索した場所に詳細情報のデータが収録されている場合は、確認することができます。(→P48)
周辺施設を探 す	検索した場所周辺の施設をジャンルを選んで検索することができます。(→P45)

地図画面の操作

ナビゲーションの地図表示には、自分の車(自車)の現在地を表示する「現在地画面」と見たい場所を表示する「スクロール画面」があります。

現在地画面を表示する

どの画面を表示していても、すばやく現在地画面に戻ることができます。

1 現在地 を押す

現在地の地図が表示されます。

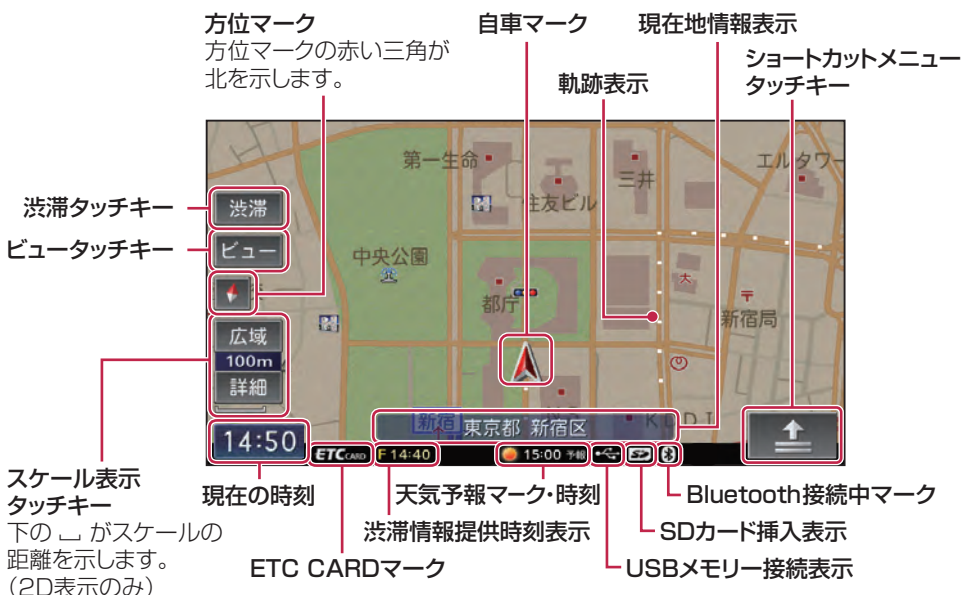


メモ

- 現在地画面を表示している状態で**現在地**を押すと、登録した地図スケール(→P27)に切り換わります(登録スケールで表示している場合は動作しません)。

現在地画面の見かた

ノーマルビュー



メモ

- 本機を初めて使うときや、長期間使っていなかったときは、現在地を表示するまでに5分程度かかることがあります。
- 自車マークは、実際の現在地からずれる場合があります。
- 軌跡表示は、今までに通った約250 km分の走行軌跡が表示できます。通常は白、車の速度が5 km/h未満のときは赤、5 km/h以上20 km/h未満のときは橙の点で表示されます。
- 現在地情報表示は、地図スケール表示が100 m～1 kmのときに市区町村名まで表示されます。10 m～50 mの詳細市街地図を表示中は、市区町村名、住所名、丁目まで表示されます。2 km以上の場合は表示されません。場所によっては表示されないところもあります。
- 現在地情報表示は、「市区町村名」以外にも「走行道路名」「緯度経度」「OFF (何も表示しません)」の切り換えができます。→「機能設定をする」(P89)
- ETC CARDマークは、本機に別売のETCユニット「EP-8000シリーズ」、「EP-700シリーズ」などが接続され、かつETCカードが挿入済みの場合のみ表示されます。
- 現在の時刻は、GPS衛星からの情報に基づいて表示しています。時刻の変更はできません。

地図を動かす

地図上の見たい場所に地図を動かします(スクロール)。

1 地図上の見たい方向にタッチする

タッチした場所が中心となるように地図が動きます。

**メモ**

- 画面にタッチしたまま指を動かしスクロールすることも、画面中央のカーソルから離れた場所にタッチするほど、スクロールする速度が速くなります。ただし、走行中はタッチした場所までしかスクロールできません。
- 8方向矢印表示中またはシティマップ(→P28)の場合、走行中にスクロール操作を行うことはできません。

2 位置を微調整したい場合は、微調整にタッチしてから、微調整したい方向の矢印(8方向)にタッチする

矢印にタッチするごとに、地図が少しずつ動きます。

もう一度「微調整」にタッチすると、8方向の矢印が消えます。

メモ

- 微調整の操作は、地図の表示モードがノーマルビューの場合(→P28)のみ可能です。

スクロール画面の見かた

ノーマルビュー

現在地から
十字カーソル
位置までの
直線距離



十字カーソル

現在地から十字カーソルを結んだ線

十字カーソル位置の地名

スクロール画面は、地図を移動させたときに表示されます。→「地図を動かす」(P25)

地図のスケールを変える

10 m ～ 500 kmの範囲で地図のスケールを変えることができます。

1 詳細または広域にタッチする



メモ



- **詳細**や**広域**にタッチするごとに、10 m、25 m、50 m、100 m、200 m、500 m、1 km、2 km、5 km、10 km、20 km、50 km、100 km、200 km、500 kmとスケール表示が変わります。
- **詳細**や**広域**にタッチし続けると、連続してスケールを変えることができます。

詳細 より詳しい地図が表示されます。表示される範囲は狭くなります。

広域 より広い範囲で地図が表示されます。細い道路などは表示されません。

地図の向きを変える

ノーマルビューでの地図表示の向きは次の2種類があります。

-  **ヘディングアップ**
「進行方向」が常に上になるように、地図が自動的に回転する。
-  **ノースアップ**
「北」が常に上になるように表示される。

マークにタッチするごとに向きが切り換わります。工場出荷時は「ヘディングアップ」です。

地図の表示方法を変える

さまざまな状況に応じて地図の表示方法を変えることができます。

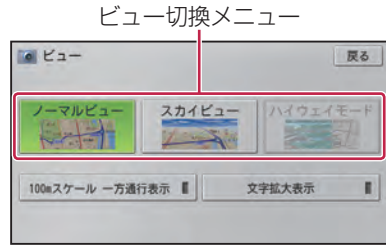
1 ビュー にタッチする



メモ

- **ビュー** に長くタッチすると、現在の地図スケールを登録します。登録したスケールは、現在地画面の場合でかつ登録したスケール以外のスケールで表示中に **(現在地)** を押すと呼び出すことができます。

2 地図の表示方法にタッチする



ビュー切替メニュー	選んだ表示方法で地図を表示します。
100mスケール 一方通行表示	100 mスケール時の一方通行マークの表示をON/OFFします。(→P28)
文字拡大表示	地図画面に表示される文字の拡大表示をON/OFFします。(→P29)

メモ

- ハイウェイモードは、有料道路走行中のみ選択できます。

表示方法の種類

ノーマルビュー

通常の地図(2Dの地図)で表示されます。



シティマップ(詳細市街地図)収録エリア(→P215)では、10m～50mスケールのときに詳細な市街地図が表示されます(シティマップ)。



メモ

- シティマップの境界付近では自動的に通常地図に表示が切り換わります。シティマップの境界を表示させることもできます。その場合、境界付近ではシティマップのみ表示され、境界の外側は何も表示されません。
- シティマップ表示およびシティマップ境界表示は、ON/OFFできます。→「機能設定をする」(P89)

スカイビュー

上空から見るような地図(3Dの地図)が表示されます。



ハイウェイモード

有料道路走行時の専用画面です。

前方の有料道路施設までの距離や料金、予想到着(通過)時刻、分岐方向などが表示されます。ハイウェイモードについては、「ハイウェイモードについて」(→P31)をご覧ください。



100mスケール一方通行表示をON/OFFする

シティマップ(→P28)で表示される一方通行マーク(→)を、100mスケール時でも表示させることができます。工場出荷時は表示しない設定です。

1 100mスケール一方通行表示にタッチする(→P27)

タッチするごとに100mスケール一方通行表示の表示/非表示が切り換わります。



メモ

- ハイウェイモードのサイドマップの場合は、表示できません。
- 地図のスケールを100m以外に設定している場合、表示する設定にすると自動的に100mスケールに切り換わります。

文字拡大表示をON/OFFする

地図画面上に表示される地名や施設名の文字を拡大表示することができます。工場出荷時は拡大表示しない設定です。

1 文字拡大表示にタッチする (→P27)

タッチすることにより文字拡大表示のON/OFFが切り換わります。



サイドマップについて

ハイウェイモード表示および場所を探すリスト画面、情報画面などを表示している場合は、画面右側に地図画面が表示されます(サイドマップ)。

メモ

- リストの基本的な操作については、「**基本的なリストの操作**」(→P13)をご覧ください。
- サイドマップ画面のスケールは変更することができます。スケール変更の操作については、「**地図のスケールを変える**」(→P26)をご覧ください。

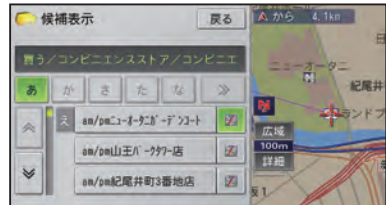
ハイウェイモード

ハイウェイモードでは、現在地またはスクロール先の施設の地図がサイドマップに表示されます。



リスト画面

場所を探す場合などのリスト画面では、情報更新タッチキーが選択されている施設の周辺の地図がサイドマップに表示されます。サイドマップには、現在地や選んだ場所からの距離が表示されます。



候補表示画面

周辺検索時の候補表示画面などでは、情報更新タッチキーが選択されている施設に矢印マークが付きます。



情報画面

VICSの図形情報や文字情報画面では、情報画面とともに自車位置周辺の地図がサイドマップに表示されます。



走行中の音声案内

運転の状況に応じて音声で案内を行います(セーフティインフォメーション)。

有料道注意地点・ 県境案内	<ul style="list-style-type: none"> ここからおおよそ〇キロ先までは、十分運転に注意してください。 この先、右からの合流があります。ご注意ください。 この先、左からの合流があります。ご注意ください。 この先、合流があります。ご注意ください。 〇〇県に入ります。
踏切案内	この先踏切です。ご注意ください。
リフレッシュ案内	そろそろ2時間になります。休憩しませんか？
ライト点灯案内	まもなく日が暮れます。ライトの確認をしてください。
eスタート案内	急発進です。安全運転を心がけましょう。

メモ

- 有料道注意地点・県境案内は、有料道路を走行中のみ行われます。
- 踏切案内は、走行中の道路の先に踏切がない場合でも近くに踏切があれば案内されます。また、すべての踏切で案内されるわけではありません。
- 日没時刻にすでにライトを点灯している場合は、ライト点灯案内は行われません。
- それぞれの案内についてはON/OFFできます。→「機能設定をする」(P89)

走行中表示される画面について

信号機が近づくと

進行方向に対して、約300 m以内の信号機のマークが最大5カ所まで表示されます。



有料道路を走行すると

有料道路を走行すると、自動的にハイウェイモードに切り換わります(オートハイウェイモード)。



メモ

- オートハイウェイモードは、ON/OFF できません。→「機能設定をする」(P89)
- 一部表示対象外の有料道路もあります。
- 手動でハイウェイモードに切り換えるには、有料道路走行中にビュー切り換えメニューで「ハイウェイモード」を選びます。→「地図の表示方法を変える」(P27)

ハイウェイモードについて

ハイウェイモードでは、現在向かっているインターチェンジやサービスエリアまでの距離、および施設情報などを確認できます。また、車の走行に合わせて、自動的に次の施設情報に切り換わります。本線上や分岐先の施設情報も、見ることができます。

ハイウェイモード現在地画面の見かた



- ルート案内中は、有料道路出口のおよそ1km手前になると有料道路出口の案内が表示され、出口を通過すると自動的にハイウェイモードは解除されます。
- **ビュー** にタッチすると、他の地図表示を選んで切り換えることができます。また、他の地図表示からハイウェイモードに戻すと、右画面は直前の地図表示の角度で表示されます。(例えば直前の地図表示がスカイビューの場合、ハイウェイモードの右画面は3Dで表示されます。)

料金表示について

- 有料道路上でルートを設定した場合は、料金が表示されない場合があります。
- 料金表示が可能なのは、都市高速、都市間高速、一部の有料道路です。→「**有料道路料金データについて**」(P221)
- 料金表示は、車両設定により、中型車、普通車、軽自動車に切り換えられます。→「**車両情報を設定する**」(P105)
- 各種ETC割引料金については対応していません。

メモ

- ハイウェイモードのサイドマップの地図方位はヘディングアップ(→P27)固定となります。
- ハイウェイモードでは、それぞれの施設の種類の(IC/PA/SA/JCT/ランプ/料金所/スマートIC)と施設名および現在地からの距離と予想到着(通過)時刻が表示されます。
- 次の施設には、施設のサービス情報(→P32)と料金(IC/PA/SA/JCT/料金所/スマートICの場合)が表示されます。
- 次の施設にタッチすると、次の施設周辺の地図を表示させることができます。
- 次の施設にイラスト情報が収録されている場合は、イラストが表示されます。また併設している分岐施設がある場合は、施設を選択する画面が表示されます。
- 次の施設にジャンクションとSA/PAが併設されている場合は、どちらかを選択する画面が表示されます。
- 渋滞情報を取得している場合は、渋滞情報(→P33)が表示されます。

先の施設情報を見る

ハイウェイモード中は、施設を先送りさせて先の施設情報を見ることができます。

1 ▲、▼ にタッチして、表示させたい施設を選ぶ



選択中の施設

メモ

- 先の施設にタッチして、その施設を選択することもできます。
- サイドマップ(→P29)には選択中の施設周辺の地図が表示されます。

- ルート案内中は、ルートに沿って施設が送られます。
- 選択中の施設にタッチすると、選択中の施設周辺の地図を表示させることができます。地図表示した施設は、検索履歴(→P47)に登録されます。
- 選んだ施設にイラスト情報が収録されている場合は、イラストが表示されます。また併設している分岐施設がある場合は、施設を選択する画面が表示されます。
- 100施設先まで見ることができます。
- 選んだ施設にジャンクションとSA/PAが併設されている場合は、どちらかを選択する画面が表示されます。
- **現在地**を押すと、ハイウェイモードの現在地画面が表示されます。

メモ

- **地図表示**にタッチすると、ジャンクションがある地点の地図を表示します。確認後、**戻る**にタッチすると、分岐先を選ぶメニュー画面に戻ります。

分岐先の路線が表示されます。

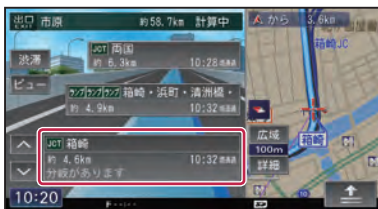


ジャンクションの分岐先の情報を見るには

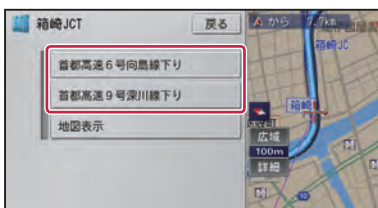
ルートが設定されていない場合は、走行中の路線に沿った施設情報を見ることができます。

ルートの有無に関係なく途中でジャンクションがある場合は、分岐先を選んで先の情報を見ることができます。

1 ジャンクションを選んで施設名にタッチする



2 見たい分岐先にタッチする



サービスエリアやパーキングエリアで表示される情報

	店舗情報
	身障者用トイレ
	レストラン
	ショッピングコーナー
	ハイウェイオアシス
	ドッグラン
	仮眠休憩所
	スナックコーナー
	インフォメーション
	ハイウェイ情報ターミナル
	風呂
	ファクシミリ
	郵便ポスト
	キャッシュサービス
	トイレ

メモ

- 店舗情報は、施設への到着予想時刻と営業時間が考慮され、利用できる施設(例:)と利用できない施設(例:)が区別されて表示されます。(営業時間考慮表示)
- 同時に表示される情報は8個までです。9個以上の情報がある場合は、上表の並び順に優先表示され、9個目以降は表示されません。

施設のイラスト表示について

SAやPAなどの施設にタッチしたときに、施設のイラスト情報が収録されている場合に表示されます。



メモ

- **地図表示** にタッチすると、SAやPAがある地点の地図を表示します。

渋滞情報表示について

渋滞情報を取得している場合は、自車位置に最も近い混雑状況（渋滞または混雑）および規制情報がそれぞれ1つずつ画面に表示されます。



メモ

- 施設間で交通規制があるときは、渋滞情報マーク(→P80)が表示されます。

有料道路の料金所に近づく

ETCレーンがある本線上の料金所、または出口料金所に近づく、ETCレーン案内が表示されます。



メモ

- ETCレーン案内表示は、実際の看板と異なる場合があります。
- ETCレーン案内表示は、ETCユニットが接続されていなくても表示されます。
- ETCレーン案内表示はON/OFFできます。→「機能設定をする」(P89)
- 地点によりイラストデータが収録されていない場合は、表示されません。

走行中の道路を切り換える

一般道路と有料道路が並行している場所を走行中、自転車位置が実際と異なる種別の道路に乗ってしまった場合に、自転車位置を一般道路または有料道路へ切り換えることができます。

1 ショートカットメニュー (→ P22) の **別道路切換** にタッチする



異なる種別の道路へ自転車位置が修正されます。

メモ

- 自転車位置が修正できない場合もあります。
- ルート案内中は、自転車位置を修正後ルートを探し直します。

自宅へ帰る

自宅を登録すると、全国どこへ出かけていてもかんたんな操作で自宅までのルート案内を行うことができます。

自宅を登録する


自宅を登録しておくで、かんたんな操作で自宅へのルート探索ができます。

1 自宅に車を止め、ナビゲーション画面で「メニュー」を押し、**くわしい検索メニュー**—**自宅**—**はい**にタッチする



▼
自宅が登録されます。

メモ

- 自宅が登録済みの場合に本操作を行うと、最大6本のルートが探索され、案内開始画面(→P50)が表示されます。**案内開始**にタッチするかパーキングブレーキを解除すると、ルート案内を開始します。
- 自宅を新規に登録すると、「自宅」という名前と自宅マークが自動的に入力されます。
- 自宅以外の場所に停車しているときは、「場所を探す」(→P42)を参照して自宅の場所を探してください。
- 自宅の登録は、簡単セットアップ(→P101)、かんたん検索メニュー(→P38)、ショートカットメニュー(→P22)で行うこともできます。
- 場所を探して登録するときに、自宅として登録することもできます。→「場所を登録する」(P66)
- 自宅の位置は変更できます。→「登録地の登録内容を編集する」(P68)

- くわしい検索メニュー、かんたん検索メニューおよびショートカットメニューの操作で自宅を登録し直す場合は、登録済みの自宅を削除(→P69)してから行ってください。場所を登録する操作および簡単セットアップで自宅を登録し直す場合は、自宅を上書きできます。

自宅までルート探索する

登録した自宅を目的地として、ルート探索を行います。

1 ショートカットメニュー(→P22)の**自宅**にタッチする



▼
自宅までのルートが1本だけ探索されます。探索が終了すると自動的にルート案内が開始され、状況に応じて画面と音声でルート案内が行われます。自宅に近づくるとルート案内は終了します。

メモ

- 自宅へのルート探索は、かんたん検索メニュー(→P38)から行うこともできます。

かんたん検索メニュー

かんたん検索メニューを使う	38
よく行く場所まで案内させる	38
買い物スポットまで案内させる	38
食事スポットまで案内させる	39
自宅	39

かんたん検索メニューを使う

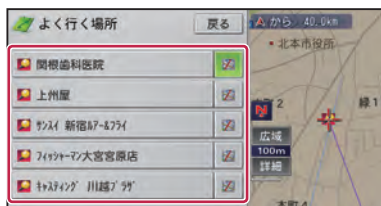
かんたん検索メニューとは、あらかじめ登録しておいた「よく行く場所」や「自宅」へのルート案内、「食事」「買い物」でのスポット検索など、生活に便利な機能をかんたんな操作で使うことができるメニューです。

よく行く場所まで案内させる

会社や友人宅など、あらかじめよく行く場所として本機に登録した地点までルート探索・案内を行います。

1 ナビゲーション画面で**メニュー**を押し、**かんたん検索メニュー**—**よく行く場所**にタッチする

2 目的の場所にタッチする



▼
選んだ場所までのルートが1本だけ探索され、案内を開始します。

メモ

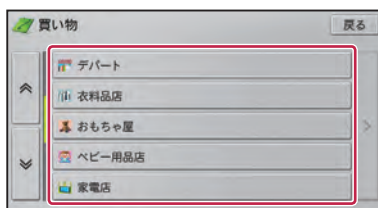
よく行く場所の登録方法については、「場所を登録する」(→P66)をご覧ください。

買い物スポットまで案内させる

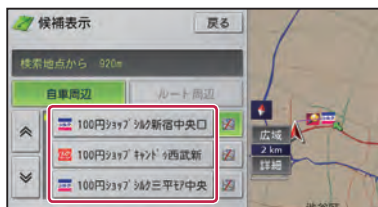
操作を行う時点で地図画面に表示されている場所周辺の買い物スポットをジャンル検索し、選んだ場所までルート探索・案内を行います。

1 ナビゲーション画面で**メニュー**を押し、**かんたん検索メニュー**—**買い物**にタッチする

2 買い物のジャンルを絞り込む



3 目的の施設にタッチする



▼
施設付近の地図とショートカットメニューが表示されます。

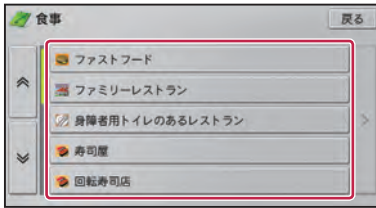
以降の操作は、ショートカットメニューの操作(→P22)を参照してください。

食事スポットまで案内させる

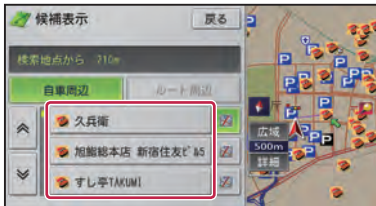
操作を行う時点で地図画面に表示されている場所周辺の食事スポットをジャンル検索し、選んだ場所までルート探索・案内を行います。

1 ナビゲーション画面で「メニュー」を押し、「かんたん検索メニュー」→「食事」にタッチする

2 食事のジャンルを絞り込む



3 目的の施設にタッチする



施設付近の地図とショートカットメニューが表示されます。

以降の操作は、ショートカットメニューの操作(→P22)を参照してください。

自宅

自宅へのルート探索・案内または自宅の登録を行います。

1 ナビゲーション画面で「メニュー」を押し、「かんたん検索メニュー」→「自宅」にタッチする

自宅が登録済みの場合は、自宅までのルートが1本だけ探索され、案内を開始します。

自宅が登録されていない場合は、操作を行う時点で地図画面に表示されている場所を、自宅として登録するかどうかの確認メッセージが表示されます。登録する場合は「はい」に、登録しない場合は「いいえ」にタッチしてください。

メモ

- 自宅に関する操作については、「自宅へ帰る」(→P35)もご覧ください。

場所を探す	42
地図で探す	42
名称で探す	42
住所で探す	43
ジャンルで探す	44
周辺施設を探す	45
ロゴマークの表示を解除するには	46
電話番号で探す	46
登録地から探す	46
検索履歴から探す	47
詳細情報を見る	48

場所を探す

ナビゲーションの操作は場所(行き先、立寄地などの目的地)を探すことから始まります。目的地の地図を表示させることができれば、そこまでのルートを設定したり、詳細情報を見たりすることができます。

メモ

- 検索した場所によっては、表示された地図が目的地を中心にしたピンポイントの地図ではない場合があります。その場合は、ピンポイントでない旨のメッセージが表示され、代表地点の地図が表示されます。
- 施設を検索した場合、検索後はそのままスクロールせずに目的地に設定してください。例えば高速道路上の施設を検索後にスクロールさせて目的地に設定すると、一般道路上が目的地になる場合があります。
- 自然を対象とした検索では、周囲に道路がないポイントが表示されることがあります。このような場所では、地図をスクロールして近くの道路の上に目的地を設定してください。周囲に道路がない場所を目的地にすると、ルート探索できないことがあります。
- 場所(施設など)を検索したときに、十字カーソルから少し離れた場所に旗のマークが表示されることがあります。そのような施設では、スクロールせずにそのまま目的地に設定すると、表示されている旗のマークの場所が目的地に設定されます。(駐車場ポイントリンク)

地図で探す

地図上で探すことができます。

1 地図をスクロールさせて、目的の場所に十字カーソルを合わせる

2 ↑ にタッチする



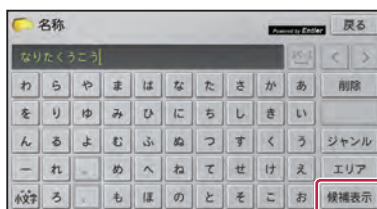
以降の操作は、ショートカットメニューの操作(→P22)を参照してください。

名称で探す

宿泊施設やレジャー施設など、各種施設の名称で探すことができます。

1 ナビゲーション画面で「メニュー」を押し、「**くわしい検索メニュー**」名称にタッチする

2 施設の名称をひらがなで入力し、「**候補表示**」にタッチする



ジャンル ジャンルによる絞り込みができます。

エリア 都道府県による絞り込みができます。

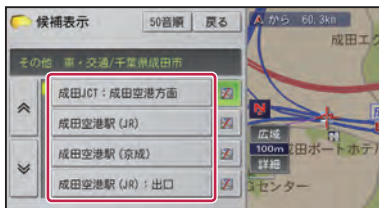
メモ

- ひらがな以外の入力はできません。カタカナ、漢字、ローマ字、数字などを含む施設を探すときも、すべてひらがなで入力します。
- 名称はわかっている部分だけ入力して、検索することができます（キーワード検索）。
- 濁音(゜)や半濁音(゜)の入力は省略できます。また、促音(ょ)などは(よ)などで代用できます。
- 名称を10文字目まで入力すると、自動的に検索対象を絞り込んでリスト表示します。
- 目的の施設をうまく探せない場合は、以下の例を参考にしてください。

例)

- 検索する施設の名称をできるだけ正確に入力し、**候補表示**にタッチする。
- 目的の施設がある都道府県や市区町村、またはジャンルがわかっている場合は、**エリア**、**ジャンル**にタッチして絞り込み、**候補表示**にタッチする。
- 入力された内容や絞り込み条件によっては、検索の結果、該当するデータが無い旨のメッセージが表示される場合があります。

3 目的の施設をリストから探す



50音順 入力された名称を含む施設を50音順で再検索します。

4 施設名称にタッチする

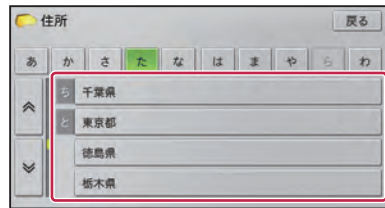
施設付近の地図とショートカットメニューが表示されます。

以降の操作は、ショートカットメニューの操作(→P22)を参照してください。

住所で探す

住所や地名で探すことができます。

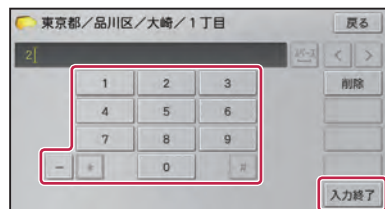
- 1 ナビゲーション画面で**メニュー**を押し、**くわしい検索メニュー**—**住所**にタッチする
- 2 都道府県名、市区町村名、地名の順にタッチする



メモ

- 主要部**にタッチすると、選んだ地域の代表地点の地図が表示されます。

- 3 番地、号を入力し、**入力終了**にタッチする



メモ

- 番地を入力しないで**入力終了**にタッチすると、丁目または住所名の代表地点が検索されます。
- 住所に大字・小字を含む場合は、それぞれを入力します。

入力した住所を中心とした地図とショートカットメニューが表示されます。

以降の操作は、ショートカットメニューの操作(→P22)を参照してください。

ジャンルで探す

ジャンルリストから各種施設を探すことができます。

検索できるジャンル

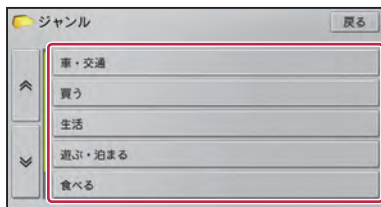
- 車・交通
- 買う
- 生活
- 遊ぶ・泊まる
- 食べる
- 新規スポット

メモ

- ジャンル検索では、必ず「ジャンル」→「都道府県・市区町村（または路線）」の順に指定しますが、選んだジャンルと都道府県・市区町村（または路線）の組み合わせによっては、検索の結果、該当するデータが無い旨のメッセージが表示される場合があります。

1 ナビゲーション画面で「メニュー」を押し、**くわしい検索メニュー**—**ジャンル**にタッチする

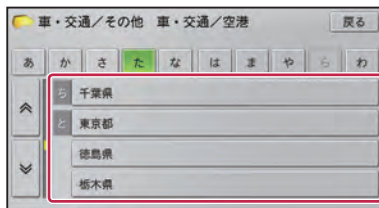
2 探している施設のジャンルを絞り込む



メモ

- 選んだジャンル内すべての施設を検索したい場合は、詳細ジャンルの先頭に表示される **〇〇〇すべて** にタッチします。

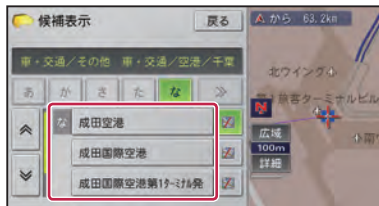
3 都道府県、市区町村の順にタッチする



メモ

- 車・交通機関のジャンルから「駅」または「高速道路施設」を選んだ場合は、路線別を選ぶリストが表示されます。
- 選んだ都道府県内すべての施設を検索したい場合は、都道府県リストの先頭に表示される **〇〇県すべて** にタッチします。

4 目的の施設にタッチする



施設付近の地図とショートカットメニューが表示されます。

以降の操作は、ショートカットメニューの操作(→P22)を参照してください。

周辺施設を探す

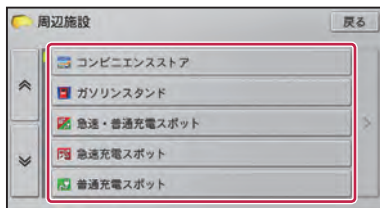
ガソリンスタンドやレストランなど、現在地やルート周辺、スクロール先周辺の施設を最大100件まで探すことができます。

メモ

- ・ショートカットメニュー (→P22) の **周辺施設を探す** にタッチして操作することもできます。

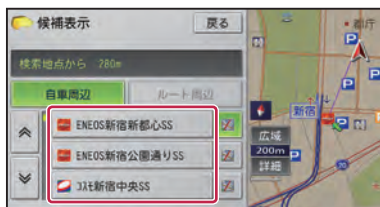
1 ナビゲーション画面で **メニュー** を押し、**くわしい検索メニュー** **— 周辺施設** にタッチする

2 ジャンルにタッチする



3 詳細ジャンルがある場合は、ジャンルを絞り込む

4 目的の施設にタッチする



自車周辺	自車周辺の施設を検索します。
ルート周辺	案内中のルート周辺の施設(ルート案内中のみ)を検索します。

選んだ施設を中心とした地図とショートカットメニューが表示されます。

また検索した施設のロゴマークが、地図上に表示されます。

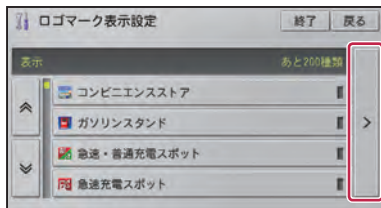
以降の操作は、ショートカットメニューの操作(→P22)を参照してください。

メモ

- ・スクロール位置から操作した場合は、**自車周辺** および **ルート周辺** は表示されません。
- ・駐車場、ATM、コンビニ、ガソリンスタンド、ファミリーレストラン、ファストフードを検索すると、営業時間が考慮され、現在利用できる施設(例: 🚗)と利用できない施設(例: 🚫)が区別されて表示されます。(営業時間考慮検索)
- ・隔週定休日、不定期な休日および不定期な営業時間には対応していません。また実際の営業時間とは異なる場合があります。
- ・コンビニでは、酒(🍷)・タバコ(🚬)を取り扱う店がわかるように表示されます。
- ・ファストフードでは、ドライブスルー(🚗)対応の店がわかるように表示されます。
- ・🚗、🍷、🚬、🚗 は一部表示されない施設もあります。
- ・駐車場は、「車両情報を設定する」(→P105)の「駐車制限」を考慮して検索されます。利用できない駐車場は(🚫)と表示されます。(実際の車両設定と異なる場合があります。)
- ・駐車場の詳細選択でデパート提携駐車場を検索することもできます。
- ・ルート案内中で自車がルート上にあるときは、ルート周辺を優先して検索します。自車の周辺で探す場合は **自車周辺** にタッチします。
- ・ルート周辺で探す場合は、案内中のルート前方両側約200 m以内、前方約30 km以内の範囲から検索されます。自車周辺またはスクロール位置で探す場合は、自車位置またはスクロール位置の半径約10 kmの範囲から検索されます。半径約10 kmの範囲内に施設が見つからなかった場合は、半径約30 kmの範囲から検索されます。

ロゴマークの表示を解除するには

- 1 「周辺施設を探す」手順 2 または手順 3 で ▶ — 結果消去 にタッチする



ロゴマークが消去されます。

メモ

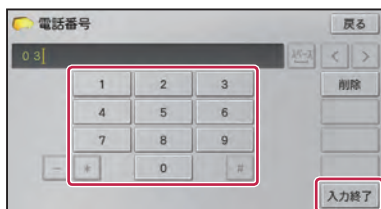
- 車のエンジンスイッチをOFF/ONすることで、ロゴマーク表示を解除することもできます。

電話番号で探す

行き先の電話番号を入力して探すことができます。

- 1 ナビゲーション画面で **メニュー** を押し、**くわしい検索メニュー** — **電話番号** にタッチする

- 2 電話番号を入力する



電話番号を全桁入力すると自動的に検索を始めます。自動的に検索を開始しない場合は、**入力終了** にタッチします。

メモ

- 市外局番と市内局番は必ず入力してください。
- 10桁まで入力できます (090、080、070、050で始まる電話番号は11桁まで入力できます)。
- ダイヤルQ2 (0990-〇〇)、携帯電話、短縮ダイヤルは、対象外です。ただし、該当する電話番号が登録地点に登録されている場合は検索できます。

該当する地図とショートカットメニューが表示されます。

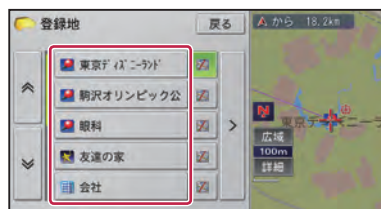
以降の操作は、ショートカットメニューの操作(→P22)を参照してください。

登録地から探す

登録地のリストから探すことができます。

- 1 ナビゲーション画面で **メニュー** を押し、**くわしい検索メニュー** — **登録地** にタッチする

- 2 目的の場所にタッチする



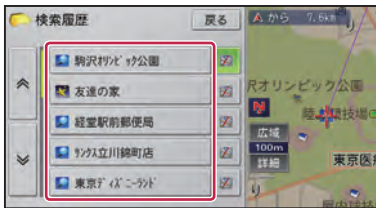
選んだ場所を中心とした地図とショートカットメニューが表示されます。

以降の操作は、ショートカットメニューの操作(→P22)を参照してください。

検索履歴から探す

過去に検索した場所や目的地とした場所、ハイウェイモード中に地図表示した施設から探すことができます。

- 1 ナビゲーション画面で**メニュー**を押し、**くわしい検索メニュー**—**検索履歴**にタッチする
- 2 目的の施設(履歴名)にタッチする



▼
選んだ場所を中心とした地図とショートカットメニューが表示されます。
以降の操作は、ショートカットメニューの操作(→P22)を参照してください。

詳細情報を見る

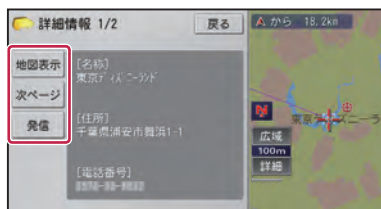
くわしい検索メニュー（→P42）またはかんたん検索メニュー（買い物／食事のみ）（→P38）から場所を探した場合、探した場所の詳細情報を見ることができます。

1 ショートカットメニュー（→P22）の**詳細情報を見る**にタッチする

メモ

- 探した施設によっては、詳細情報が無いものもあります。

2 情報を確認する



地図表示	地図画面が表示されます。
次ページ	次のページに切り換えます。
発信	登録されている電話番号に電話をかけます。（→P182）

メモ

- 登録地や検索履歴の詳細情報を表示した場合は、**消去**が表示され、登録地や検索履歴を消去することができます。

ルートを探索する	50
案内開始画面を表示する	50
ルート案内開始画面の見かた	50
ルート案内を開始する	51
ルートプロフィールで確認する	51
他のルートを選ぶ	51
スクロール確認画面の操作	51
ルート地図を表示する	52
立寄地を追加する	52
乗降IC（インターチェンジ）を指定する	53
乗降IC指定を解除するには	53
出発地を指定する	54
出発地を解除するには	54
ルート探索機能について	54
学習ルート探索	54
スマートICを考慮したルート探索	55
渋滞情報を考慮したルート探索 （渋滞考慮ルート探索）	55
時間規制を考慮したルート探索	55
ルート誘導・案内	56
ルート案内中の現在地画面	56
案内地に近づくと	57
案内地のイラスト表示	57
都市高速道路の入口に近づくと	57
有料道路の分岐に近づくと	58
有料道路の入口や出口の料金所に近づくと	58
有料道路の出口や料金所を通過すると	58
音声による誘導・案内	59
進行方向案内	59
一般道路走行時の案内	59
有料道路走行時の案内	60
ルート案内中の操作と機能	61
ルートから外れたときに 自動的にルートを再探索する	61
次の案内地を確認する	61
ルート上の渋滞情報を案内させる	61
渋滞オートガイド	61
渋滞チェック	61
ルートを消去する	63

ルートを探索する

検索した場所を「目的地」として設定すると、現在地から目的地までのルートが探索され、ルート案内開始画面が表示されます。

案内開始画面を表示する

1 ショートカットメニューの「**ここへ行く**」にタッチする(→P22)

▼
ルート案内開始画面が表示されます。

メモ

- 目的地の近くに有料道路があるときは、[一般道路]か[有料道路]を確認する画面が表示される場合があります。その場合はどちらかを選んでください。

- ルート探索では、渋滞情報を考慮して複数のルートを探索します。→「**渋滞情報を考慮したルート探索(渋滞考慮ルート探索)**」(P55)
- すでにルートが設定されている場合は、探した場所を目的地にするか立寄地にするかのポップアップ画面が表示されます。「**目的地**」にタッチすると、現在の目的地を消去し、新しい目的地を行き先としてルートを探索します。「**立寄地**」にタッチすると、目的地はそのまま、探した場所に立ち寄るルートを探索します。

ルート案内開始画面の見かた



メニュー表示
案内開始
ルート 07マイル
他のルート
詳細ルート設定

探索条件
現在選ばれているルートの探索条件が表示されます。

ルート表示
現在選ばれているルートが概略表示されます。

IC表示(インターチェンジ)
利用する有料道路の最初のICと最後のICが表示されます。

距離:
選ばれているルートの総距離が表示されます。

所要時間:
渋滞情報(→P78)や機能設定の到着予想時刻速度(→P91)を元に計算した所要時間が表示されます。

料金:
利用する有料道路の料金区分と料金が表示されます。

推奨/有料標準/フェリ-標準ルート

戻る

葛西777

新宿777

距離 25.5km

所要時間 49分

¥ 料金 700円

メモ

- 案内開始画面は、ノースアップ(→P27)となります。
- 最初に表示されるルートは、「ルート探索基準」、「有料道路使用条件」、「フェリ-航路使用条件」(→P91)の探索条件に従ったルートになります。
- 立寄地や乗降ICを指定した場合、探索されるルートは1本のみとなります。
- 料金区分と料金表示は、「**車両情報を設定する**」(→P105)の「有料道路料金区分」で設定された内容をもとに表示されます。
- 表示される料金は、各種ETC割引料金に対応していません。ただし、本機に別売のETCユニットを接続している場合は、音声で割引料金が案内されることがあります。(→P59)
- 料金非対応路線を含むルートの場合は、「〇〇円以上」と表示されたり、「不明」と表示されることがあります。
- サービスエリアなどの有料道路施設を行き先とした場合、料金が表示されないことがあります。

ルート案内を開始する

現在選ばれているルートで案内を開始します。

- 1 ルート案内開始画面を表示し、**案内開始**にタッチするか、**パーキングブレーキ**を解除する

状況に応じて画面と音声でルート案内を行います。目的地に近づくとルート案内は終了します。

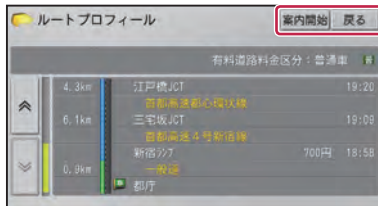
メモ

- ルート案内を中止するには、ルートを消去します。(→P63, 73)

ルートプロフィールで確認する

出発地から行き先までの間に通る道路名や区間距離、有料道路の料金(有料道路を使用する場合)や通過予想時刻などの情報を確認できます。

- 1 ルート案内開始画面を表示し、**ルートプロフィール**にタッチする
- 2 ルート情報を確認し、**案内開始**または**戻る**にタッチする



他のルートを選ぶ

現在選ばれているルートとは異なる探索条件のルートを選ぶことができます。

- 1 ルート案内開始画面を表示し、**他のルート**にタッチする
- 2 **1 ~ 6**の番号でルートを選び**決定**にタッチする



地図スクロール スクロール確認画面でスケール変更と地図のスクロールができます。

メモ

- 最大6本の候補ルートから選ぶことができます(候補ルートが同じになる場合もあります)。
- 現在選ばれているルートの探索条件は画面に表示されます。
- 推奨ルートは必ずしも最短時間になるルートとは限りません。

スクロール確認画面の操作

スクロール確認画面では、地図のスクロール(→P25)とスケール変更(→P26)ができます。また、**候補切換**にタッチすると、ルートが切り換わり、**決定**にタッチすると選んだルートに設定します。



ルート地図を表示する

立寄地などを指定して、探索されたルートが1本の場合、ルート全体が1画面におさまるように表示されます。

1 ルート案内開始画面を表示し、**ルート地図**にタッチする

2 **決定**または**戻る**にタッチする



ルート地図画面では、地図のスクロール(→P25)とスケール変更(→P26)ができます。

立寄地を追加する

ルート上に立寄地を追加して、立寄地を経由するルートを案内させることができます。

メモ

- ショートカットメニュー(→P22)の**ここへ行く** - **立寄地**にタッチして操作することもできます。その場合は、その場所へ最初に立ち寄るルートとなります。
- 立寄地の追加を行うと、その時点で通過済みの立寄地はすべて自動的に削除されます。

1 ルート案内開始画面を表示し、**詳細ルート設定 - 立寄地指定**にタッチする



2 **追加**にタッチする



3 場所を探して(→P42)立寄地を決め、**決定**にタッチする



メモ

- 立ち寄る順番に指定します。
- あとから順番を並べ替えることもできます。

4 **探索開始**にタッチする



追加	さらに立寄地を追加します。
削除	立寄地を削除します。
並べ替えオート	前の立寄地から近い順に並べ替えます。
並べ替えマニュアル	立ち寄る順番を指定して並べ替えます。

メモ

- ・さらに立寄地を追加するとき、手順 **2** ~ **3** の操作を繰り返します。
- ・立寄地は最大5カ所まで指定することができます。
- ・乗降ICを指定 (→P53) した場合は、それぞれが立寄地として扱われます。また、**並べ替え** - **オート** は選択できません。

指定した立寄地に立ち寄るルートが1本だけ探索され、案内開始画面 (→P50) が表示されますので、**案内開始** にタッチします。

乗降IC(インターチェンジ)を指定する

有料道路を使うルートを設定した場合は、入口と出口のインターチェンジを指定することができます。

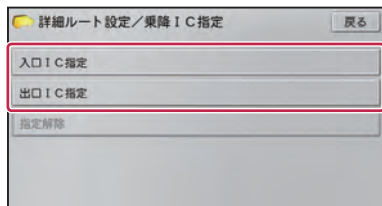
メモ

- ・指定されたインターチェンジは、通常の立寄地として追加されます。
- ・指定できるインターチェンジは、最初に探索されたルートの最初の入口、最後の出口、またその入口/出口の前後3施設の計7施設から選択することができます。複数の有料道路を使用するルートの場合、途中のインターチェンジは、変更できません。
- ・スマートIC考慮ルート探索が機能している場合は、スマートICを乗降ICとして指定することもできます。→「スマートICを考慮したルート探索」(P55)

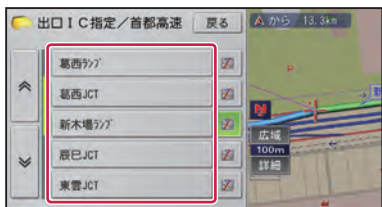
1 ルート案内開始画面を表示し、**詳細ルート設定** - **乗降IC指定** にタッチする



2 **入口IC指定** または **出口IC指定** にタッチする



3 入口または出口となるインターチェンジにタッチする



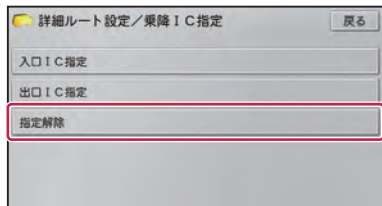
指定したインターチェンジを通るルートが探索されます。

メモ

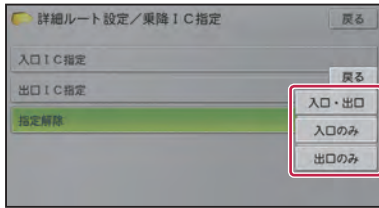
- ・ジャンクション (JCT) を選ぶと、分岐先の有料道路のインターチェンジリストが表示されず。

乗降IC指定を解除するには

1 「乗降IC (インターチェンジ) を指定する」の手順 **2** で **指定解除** にタッチする



2 入口・出口 / 入口のみ / 出口のみ にタッチする



3 はい にタッチする

乗降IC指定を解除して、ルートが探索されます。

出発地を指定する

指定した出発地からルートを探索することができます。

1 ルート案内開始画面を表示し、**詳細ルート設定 - 出発地指定** にタッチする



2 場所を探して (→P42) 出発地を決め、**決定** にタッチする



指定した場所を出発地としたルートが探索されます。

出発地を解除するには

1 「出発地を指定する」の手順 1 で **出発地指定解除** にタッチする



2 はい にタッチする

出発地指定を解除して、ルートが探索されます。

ルート探索機能について

学習ルート探索

出発地、立寄地、目的地付近でよく使う道を考えてルート探索を行います。

メモ

- 学習ルート探索はON/OFFできます。→「機能設定をする」(P89)
- 学習した道が必ず使われるとは限りません。
- よく使う道が無くなってしまったときや変更した場合などは、学習ルートを消去 (→P75) してから新しいルートを学習させてください。ただし、消去を行うと学習したすべてのルートが消去されますのでご注意ください。

スマートICを考慮したルート探索

スマートICとは、ETC専用の簡易インターチェンジのことを言います。スマートIC考慮ルート探索が「ON」に設定されている場合は、スマートICを乗降ICの対象としてルート探索を行います。

メモ

- スマートIC考慮ルート探索は、ON/OFFできます。→「機能設定をする」(P89)
- スマートIC考慮ルート探索では、スマートICの営業時間は考慮されないため、実際のスマートICが営業時間外であっても乗降ICの対象となる場合があります。その場合は、実際のスマートICの状況に従ってください。
- すでに案内中のルートがある場合は、設定変更できません。
- 簡単セットアップ(→P101)のETC取付状態設定で、「車に取り付けている」に設定した場合は、自動的にスマートIC考慮ルート探索の設定が「ON」になります。

渋滞情報を考慮したルート探索 (渋滞考慮ルート探索)

FM多重放送による規制情報(→P78)をもとに渋滞や交通規制を考慮してルート探索を行います。

メモ

- 渋滞考慮ルート探索は、ON/OFFできます。→「機能設定をする」(P89)
- 渋滞情報が取得できないときは、渋滞考慮ルート探索はできません。
- 必ずしも実際の渋滞を避けるルートになるとは限りません。

時間規制を考慮したルート探索

通行規制の地域や時刻を考慮したルート探索を行います。

メモ

- 目的地によっては、時間規制考慮ルート探索の結果、探索が失敗する場合があります。その場合はメッセージが表示され、規制を無視するか無視しないかを選ぶことができます。
- 時間・曜日・月日の条件付きで時間規制考慮ルート探索を行う場合は、探索開始時刻をもとに考慮します。

ルート誘導・案内

ルート案内中の表示や音声案内について説明します。

ルート案内中の現在地画面



メモ

- 案内中のルートは、一般道が緑色で有料道路は青色で道塗り表示されます。また、出発地付近、立寄地付近、目的地付近は細街路まで探索され、細街路はピンク色で表示されます。場所によっては道塗りされない場合もあります。
- 到着予想時刻には、渋滞情報(→P78)や「機能設定をする」(→P89)で設定した到着予想時刻速度と走行中の平均速度の内容がそれぞれ反映されます。表示される時刻はあくまでも推測時刻で実際の到着時刻とは異なります。
- 目的地までの距離と到着予想時刻の表示は、「機能設定をする」(→P89)の「道のり・到着予想時刻表示」を「立寄地」とすることで、立寄地までの距離と到着予想時刻の表示に変更することができます。
- ルートインフォメーションには、次の案内地までの距離と曲がる方向および交差点名が表示されます。また、左側にさらにその先の案内地までの距離と曲がる方向が表示されます。交差点によっては、交差点名が「案内地」と表示される場合があります。
- 案内地に近づく(一般道：約700 m、有料道：約2 km)と、交差点案内表示には次の案内地のレーン情報、方面看板(一般道走行中)が表示されます。情報の無い交差点では表示されません。
- 方面看板表示は、ルート案内中でないと表示されません。
- レーン情報表示は、誘導中のレーンが緑色で表示されます。通行が推奨される誘導レーンは緑色に白の矢印で表示されます。有料道路走行中のレーン情報表示は青色で表示されます。
- ルート探索については、「ルートに関する注意事項」(→P213)を参照してください。

案内地に近づく

案内地の手前約500 mに近づく、交差点案内表示の画面に切り換わり、曲がる方向や目印となる施設が表示されます。

アローガイド (工場出荷時の設定)



拡大図



メモ

- 交差点案内表示は、アローガイド／拡大図の変更ができます。→「機能設定をする」(P89)
- 「アローガイド」では、案内対象の交差点に情報がある場合、信号機マークが表示されます。また、次の案内地の情報がある場合は、画面上部に表示されます。
- 「拡大図」では、目印になる施設がある場合、ランドマークが表示されます。
- 交差点案内表示は、AVソース画面を表示している状態でも割り込み表示される場合があります。
- AVソース画面への交差点案内表示割り込み表示はON/OFFできます。→「機能設定をする」(P89)

案内地のイラスト表示

進行方向に立体交差になる側道がある場合や、交差点イラストのデータが収録されている場合は、交差点案内図の代わりに立体的に描画されたイラストが表示されます。

交差点イラスト



立体交差イラスト



都市高速道路の入口に近づく

ルート上の都市高速道路入口の手前約300 mに近づく、イラストが表示されます。



メモ

- 一部の都市高速入口において、イラストが表示されないことがあります。
- 都市高速入口の直前に案内地点がある場合には、イラストが表示されないことがあります。

有料道路の分岐に近づく

ルート上の有料道路分岐の手前約2 kmに近づく、ルートの進行方向の方面名称を表示します。



メモ

- 地点によりデータが収録されていない場合は、表示されません。

また都市高速・都市間高速では分岐の手前約1 kmに近づく、イラストが表示されます。場所によっては、実際の分岐地点に設置されている方面看板をイメージしたリアルなイラストが表示される場合があります。



メモ

- 地点によりイラストデータが収録されていない場合は、表示されません。

有料道路の入口や出口の料金所に近づく

本機に別売のETCユニットを接続して、かつETCの情報が受信できている場合は、ETCの利用可否と料金が音声案内されます。また、料金についてはメッセージ表示も行います。

メモ

- ETCの料金表示は、現在地画面の場合のみ表示されます。
- ETCレーン案内表示機能については(→P33)をご覧ください。

有料道路の出口や料金所を通過すると

ルート上の有料道路の出口や料金所を通過後に分岐情報がある場合は、進行方向を示すイラストが表示されます。



メモ

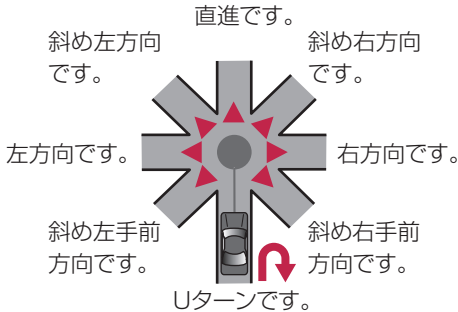
- 地点により、イラストデータが収録されていない場合は、表示されません。

音声による誘導・案内

ルート走行中は、運転の状況や車の速度に応じて、きめ細かく音声案内が行われます。

進行方向案内

進行方向(8方向)は、音声で以下のように案内されます。



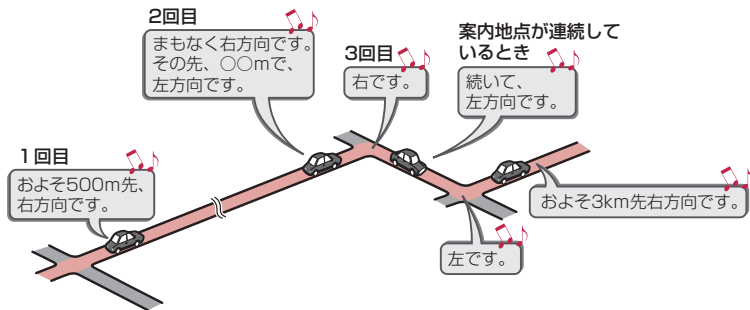
種類	案内例
側道案内	およそ〇〇m先、側道を左方向です。
有料道路入口・出口案内	およそ〇〇m先、左方向、入口です。
有料道路料金所案内	およそ〇〇km先、料金所です。
ETC料金案内	料金は、〇〇円でした。ETC利用料金が〇〇円割り引きされました。
スマートIC案内	その先、スマートICです。実際の案内標識に従ってお進みください。

メモ

- 右方向や左方向などの案内だけではうまく案内できない地点においては、走行すべきレーンなども案内します。
- 誘導される右左折の方向は、実際の道路の形状とは合わない場合があります。
- 本機のETC情報案内機能を利用するには、本機に別売のETCユニットを接続する必要があります。
- ETC情報案内は、情報提供施設からの情報により、案内が行われます。

一般道路走行時の案内

車の速度に合わせ、交差点の手前で最大3回、音声案内が流れます。また、そのタイミングに合わせて交差点案内(→P57)が表示されます。

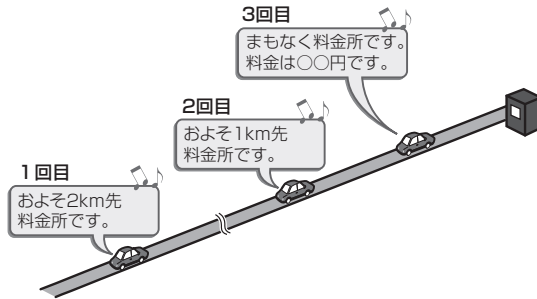


立寄地に近づいたら

立寄地の約300 m手前に近づくと、「まもなく立寄地点です。」と音声案内が流れます。

有料道路走行時の案内

車の走行に合わせ、分岐や出口、料金所の手前で最大3回、音声案内が流れます。また、そのタイミングで方面名称や分岐イラスト(→P58)などが表示されます。



メモ

- 料金案内では、有料道路に入る前にルートを設定した入口から出口までの料金が案内されます。有料道路に入ってからルートを設定した場合は、料金案内が実際と異なったり、料金が案内されないことがあります。
- 一般有料道路では、“まもなく料金所です。”および“料金は〇〇円です。”の音声案内は行いません。

ルート案内中の操作と機能

ルート案内中にできる操作と、いろいろな機能を説明します。

ルートから外れたときに自動的にルートを再探索する

案内中のルートから外れた場合、自動的にルートを再探索します(オートリルート)。

メモ

- ドライバーが意図的にルートを外れたのか、道を間違えたのかを内部で判断し、全ルート再探索または復帰ルート再探索を行います(インテリジェントリルート)。

ルート上の渋滞情報を案内させる

ルート上に発生したVICISの渋滞・規制情報を音声や地図表示で案内させることができます。

メモ

- VICIS情報が取得できないときなどは動かないことがあります。
- 音声では、例：“およそ3 km先、1 kmの渋滞が発生しています。通過に5分ほどかかります。”と案内されます。

次の案内地を確認する

ルートインフォメーションの矢印にタッチすると、次の案内地を音声と地図表示で案内します。



メモ

- 次の案内地の情報は、交差点案内表示(アローガイドの場合のみ)で確認することもできます。(→P57)

渋滞オートガイド

ルート上に発生した渋滞情報を自動的に音声で案内します。

メモ

- 渋滞オートガイドは、ON/OFFできます。→「機能設定をする」(P89)
- 案内中のルートが無い場合は、案内されません。

渋滞チェック

渋滞にタッチすると、ルート上に発生している渋滞情報を地図表示と音声案内で確認することができます。



つづく→



メモ

- 渋滞にタッチすることにより、最大5カ所先の情報まで順に案内させることができます。
- 案内中のルートが無い場合は、自車周辺の規制情報のみを表示・案内します。

ルートを消去する

ルート案内を中止したい場合は、設定したルートを消去します。

メモ

・ルート編集メニューから消去することもできます。(→P73)

1 ナビゲーション画面で**メニュー**を押し、**くわしい検索メニュー**にタッチする

2 **ルート消去**にタッチする



3 **はい**にタッチする



案内中のルートが消去されます。

メモ

・消去したルートを元に戻すことはできません。

場所を登録する	66
場所を登録する	66
選べる登録方法について	67
よく行く場所に登録すると	67
登録地を編集する	68
登録地の登録内容を編集する	68
登録地の名称を地図上に表示させる	69
効果音の鳴りかた	69
登録地を消去する	69
登録地を保存する	70
登録地を読み込む	70
よく行く場所を編集する	71
よく行く場所の登録内容を編集する	71
よく行く場所を消去する	71
ルートを編集する	72
ルートをプロフィールで確認する	72
条件を変えてルートを再探索させる	72
ルートを消去する	73
立寄地を先送りする	73
ルートをデモ走行で確認する	73
その他のデータを編集する	74
検索履歴を消去する	74
メモリダイヤルを消去する	74
ルートの学習内容を消去する	75
走行軌跡を消去する	76

場所を登録する

自宅や友人宅などの覚えておきたい場所を登録地として登録しておく、ルート設定などの操作がかんたんになります。

メモ

- 本機に登録可能な件数は、自宅1件、任意の場所1000件、よく行く場所5件です。
- 登録地の情報をSDカードに保存したり、登録地のデータをSDカードから、本機に読み込ませたりすることができます。→「登録地を保存する」、「登録地を読み込む」(P70)
- 登録地の名称やマークは変更することができます。→「登録地の登録内容を編集する」(P68)

場所を登録する

探した場所やドライブで訪れた場所を登録しておく、次回そこへ行くときにかんたんにルートを探索することができます。

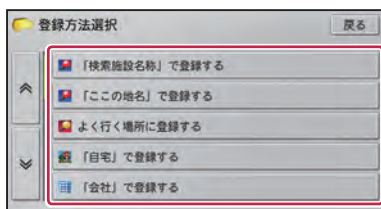
また、登録地へ電話をかけたり近づくと自動的に音を鳴らすこともできます。

1 ショートカットメニューの **ここ** を登録する にタッチする (→ P22)

メモ

- 走行中は、手順1の操作後に地点が登録されます。手順2の画面は表示されません。

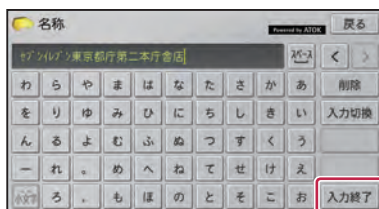
2 登録方法を選んでタッチする



メモ

- 「自宅」と「よく行く場所」以外の登録方法については、すでに1000件登録済みの場合選択することができません。利用する予定の無くなった場所などを消去(→P69)してから操作してください。
- 「自宅」と「よく行く場所」については、それぞれ上書き登録を行うことができるため、登録件数の制限に達している場合でも選択することができます。

3 入力終了 にタッチする



メモ

- ジャンル検索などで呼び出した施設に電話番号のデータがあれば、自動的にその電話番号も登録されます。
- 登録名称を任意で変更したい場合は、「文字の入力操作」(P15)をご覧ください。登録名称を入力してください。

選べる登録方法について

登録方法	登録内容
「検索施設名称」で登録する	「探した場所の施設名称」
「この地名」で登録する	「探した場所の地名」
よく行く場所に登録する	よく行く場所として登録することができます。(→P67)
「自宅」で登録する	「自宅」
「会社」で登録する	「会社」
「実家」で登録する	「実家」
「友達の家」で登録する	「友達の家」
「おじいちゃんの家」で登録する	「おじいちゃんの家」
「おばあちゃんの家」で登録する	「おばあちゃんの家」
「おじさんの家」で登録する	「おじさんの家」
「おばさんの家」で登録する	「おばさんの家」
「田舎」で登録する	「田舎」
「ふるさと」で登録する	「ふるさと」
「彼女の家」で登録する	「彼女の家」
「彼氏の家」で登録する	「彼氏の家」
名前をつけて登録する	お好みの名前をつけて登録することができます。

メモ

- 自宅は、くわしい検索メニュー (→P35) やかんたん検索メニュー (→P39)、ショートカットメニュー (→P22) から登録することもできます。

よく行く場所に登録すると

会社や学習塾など毎日のように行く場所は、よく行く場所として本機に登録しておくこと、かんたんに呼び出して目的地とすることができます。→「かんたん検索メニューを使う」(P38)

メモ

- よく行く場所は最大5件まで登録できます。
- すでに5件登録されている状態で**よく行く場所に登録する**を選択した場合は、上書きする地点を選ぶリスト画面が表示されます。上書きしてもよい地点を選択することで、新しい地点を登録することができます。
- よく行く場所の登録内容は、あとから編集することができます。→「よく行く場所の登録内容を編集する」(P71)

登録地を編集する

登録地に関する情報(名称、電話番号、マーク、効果音、位置)を変更したり、登録地を保存・読み込み・消去したりすることができます。

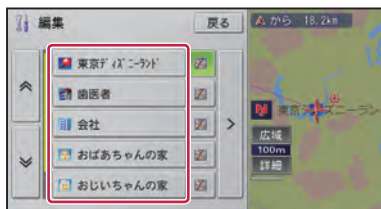
登録地の登録内容を編集する

登録時に設定された内容を編集することができます。

1 ナビゲーション画面で **メニュー** を押し、**設定** にタッチする

2 **編集** - **登録地編集** - **編集** にタッチする

3 登録内容を編集したい地点にタッチする

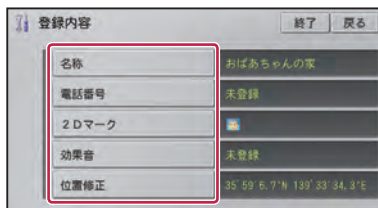


メモ

- **メニュー** にタッチするとリストを並べ替えることができます。

呼出日時順	呼び出した日時順に並べ替えます。
自車位置から近い順	自車位置から近い順に並べ替えます。
2Dマーク順	マークの種類ごとに並べ替えます。

4 変更したい項目にタッチする



名称	変更したい名称を全角で20文字(半角で40文字)まで入力できます。
電話番号	電話番号を入力します。電話番号を設定しておく、電話番号検索(→P46)でその場所を検索できるようになります。また、携帯電話を接続していれば、その場所に電話をかけることができます。(→P181)
2Dマーク	地図上に表示される登録地の2Dマークを変更します。
効果音	登録地に近づいたときに鳴らす効果音を設定できます。
位置修正	登録地の位置を修正します。

5 **終了** にタッチする

地図画面に戻ります。

登録地の名称を地図上に表示させる

2Dマークリスト上の **□** マークを選ぶと、マークに加え登録地の名称も地図上に表示されます(プライベートマッピング)。



▼
プライベートマッピング



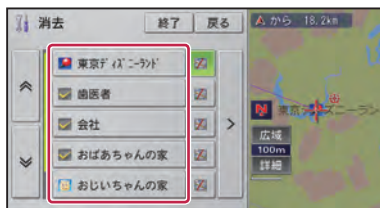
効果音の鳴りかた

- 登録地に効果音を設定すると、自転車が登録地の約500 m以内に近づくと効果音が鳴ります。
- 自転車から約500 m以内に登録地が複数ある場合は、近いものから効果音が鳴ります。
- 一度効果音が鳴ると、30分経過するか本機の電源を入れ直さないと(エンジンをかけ直さないと)効果音は鳴りません。
- 登録地の効果音よりも、ルート、VICSの音声案内が優先されます。
- 「あいさつ」に設定すると、時刻によって効果音が変わります。

登録地を消去する

登録地を消去することができます。

- 1 ナビゲーション画面で**メニュー**を押し、**設定**にタッチする
- 2 **編集** - **登録地編集** - **消去**にタッチする
- 3 消去したい地点にタッチする



▼
選んだ地点には、チェックマーク が付き、引き続き選ぶことができます。

メモ

- ▶ にタッチすると項目の全選択/全解除やリストを並べ替えることができます。

全選択	すべての地点が選択されます。
全解除	選択されている地点すべてを解除します。
呼出日時順	リストを呼び出した日時順に並べ替えます。
自転車位置から近い順	リストを自転車位置から近い順に並べ替えます。
2Dマーク順	マークの種類ごとに並べ替えます。

つづく→

4 終了にタッチする

▼
確認メッセージが表示されます。

5 はいにタッチする

▼
登録地が消去されます。

メモ

- 詳細情報から消去することもできます。→「詳細情報を見る」(P48)

登録地を保存する

本機に挿入したSDカードへ登録地を保存することができます。

メモ

- 自宅 (→P35) とよく行く場所 (→P67) は、SDカードに保存されません。

1 ナビゲーション画面で **メニュー** を押し、**設定** にタッチする

2 **編集** - **登録地編集** - **保存** にタッチする

▼
確認メッセージが表示されます。

3 はいにタッチする

▼
SDカードに登録地が保存されます。

注意

- 登録地の保存中は、本機の電源をOFFにしたり、SDカードを抜いたりしないでください。

登録地を読み込む

本機に挿入したSDカードから登録地を読み込むことができます。

1 ナビゲーション画面で **メニュー** を押し、**設定** にタッチする

2 **編集** - **登録地編集** - **読込** にタッチする

▼
確認メッセージが表示されます。

3 はいにタッチする

▼
SDカード内の登録地が本機に読み込まれます。

注意

- 登録地の読み込み中は、本機の電源をOFFにしたり、SDカードを抜いたりしないでください。

メモ

- **中止** にタッチすると、登録地の読み込みを中止できます。
- SDカード内の登録地データが本機に登録済みの場合は、重複して読み込まれます。(登録地リストには同じ登録地名称が複数表示されます。)

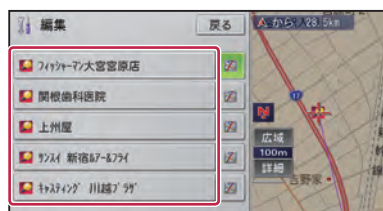
よく行く場所を編集する

よく行く場所に関する情報（名称、電話番号、効果音、位置）を変更したり、よく行く場所を消去したりすることができます。

よく行く場所の登録内容を編集する

よく行く場所として登録した情報を編集することができます。

- 1 ナビゲーション画面で **メニュー** を押し、**設定** にタッチする
- 2 **編集** - **よく行く場所編集** - **編集** にタッチする
- 3 登録内容を編集したい地点にタッチする

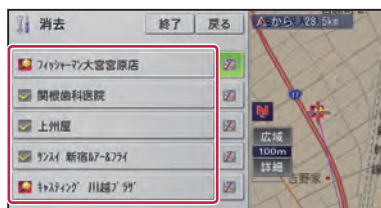


以降の手順は、「登録地の登録内容を編集する」(→P68)の手順 **4** 以降と同様です。

よく行く場所を消去する

よく行く場所を消去することができます。

- 1 ナビゲーション画面で **メニュー** を押し、**設定** にタッチする
- 2 **編集** - **よく行く場所編集** - **消去** にタッチする
- 3 消去したい地点にタッチする



選んだ地点には、チェックマーク が付き、引き続き選ぶことができます。

- 4 **終了** にタッチする

確認メッセージが表示されます。

- 5 **はい** にタッチする

選んだ地点が消去されます。

ルートを編集する

設定したルートを確認したり、立寄地や出発地、乗降ICなどを指定したり、ルートを編集することができます。

ルートをプロフィールで確認する

設定したルートを確認することができます。

- 1 ナビゲーション画面で **メニュー** を押し、**設定** にタッチする
- 2 **編集** - **ルート編集** - **ルートプロフィール** にタッチする
- 3 ルートを確認して **終了** または **戻る** にタッチする

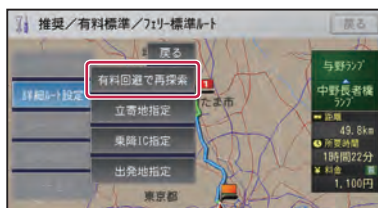


条件を変えてルートを再探索させる

案内中のルートの探索条件を一時的に変えて、再探索することができます。ただし、通過済みの立寄地は、ルートを再探索しても考慮されません。

「立寄地指定」、「乗降IC指定」、「出発地指定」の操作方法は、「ルートを探索する」の「立寄地を追加する」(→P52)、「乗降IC(インターチェンジ)を指定する」(→P53)、「出発地を指定する」(→P54)と同様です。

- 1 ナビゲーション画面で **メニュー** を押し、**設定** にタッチする
- 2 **編集** - **ルート編集** - **詳細ルート設定** - **有料回避で再探索** または **有料標準で再探索** にタッチする



メモ

- 上記探索条件の変更は一時的なもので、機能設定の「ルート探索基準」(→P90)には反映されません。

ルートを消去する

案内中のルートを消去することができます。

- 1 ナビゲーション画面で**メニュー**を押し、**設定**にタッチする
- 2 **編集**—**ルート編集**—**ルート消去**にタッチする
- 3 **はい**にタッチする



ルートが消去されます。

メモ

- ・消去したルートを元に戻すことはできません。

立寄地を先送りする

登録された立寄地に立ち寄る必要が無くなった場合などは、立寄地を通過済みとして、ルートを探索し直すことができます。

- 1 ナビゲーション画面で**メニュー**を押し、**設定**にタッチする
- 2 **編集**—**ルート編集**—**立寄地送り**にタッチする

次の立寄地を通過済みにして、ルートが探索されます。

ルートをデモ走行で確認する

出発地から行き先までのルートを擬似走行させて、ルートを確認できます。

- 1 ナビゲーション画面で**メニュー**を押し、**設定**にタッチする
- 2 **編集**—**ルート編集**—**デモ走行**にタッチする



メモ

- ・デモ走行中は、画面右側に**デモ中**が表示されます。タッチすると、デモ走行終了の確認メッセージが表示されます。終了する場合は**はい**にタッチします。
- ・デモ走行中は、ルート編集メニューに**デモ走行終了**が表示されます。タッチするとデモ走行を終了させることができます。
- ・デモ走行は、終了させるまで繰り返し行われます。

その他のデータを編集する

本機に保存されたいろいろな機能のデータを消去することができます。

検索履歴を消去する

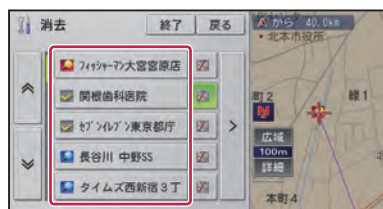
場所を探すと、探した場所が自動的に検索履歴として100件まで保存されていきます。

次の手順で検索履歴を消去することができます。

1 ナビゲーション画面で「メニュー」 を押し、「設定」にタッチする

2 編集 - 検索履歴消去にタッチする

3 消去したい地点にタッチする



選んだ地点には、チェックマーク☑が付きます、引き続き選ぶことができます。

メモ

☑にタッチすると項目の全選択/全解除をすることができます。

全選択	すべての地点が選択されます。
全解除	選択されている地点すべてを解除します。

4 終了にタッチする

確認メッセージが表示されます。

5 はいにタッチする

選んだ地点が消去されます。

メモ

・詳細情報から消去することもできます。→「詳細情報を見る」(P48)

メモリダイアルを消去する

携帯電話から本機に読み込ませたメモリダイアルを消去することができます。

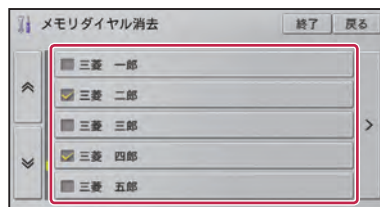
メモ


・本機に読み込んだメモリダイアルが消去されます。接続した携帯電話側のメモリダイアルは消去されません。
・消去可能なメモリダイアルは、現在本機に接続中の携帯電話から読み込んだもののみです。接続する携帯電話を切り換える(→P96)と、消去可能なメモリダイアルの内容も切り換わります。
・メモリダイアルの消去中は、メモリダイアル機能(→P181,183)が使用できません。

1 ナビゲーション画面で「メニュー」 を押し、「設定」にタッチする


2 編集 - メモリダイアル消去に タッチする

3 消去したいメモリダイアルに タッチする



▼
 選んだメモリダイヤルには、チェックマーク  が付き、引き続き選ぶことができます。

 **メモ**

•  にタッチすると項目の全選択／全解除をすることができます。

全選択	すべてのメモリダイヤルが選択されます。
------------	---------------------

全解除	選択されているメモリダイヤルすべてを解除します。
------------	--------------------------

4 終了 にタッチする

▼
 確認メッセージが表示されます。

5 はい にタッチする

▼
 選んだメモリダイヤルが消去されます。

 **メモ**

- メモリダイヤルの消去には、数分かかる場合があります。
- メモリダイヤルの消去中は、本機の電源をOFF（エンジンスイッチをOFF）にしないでください。選択したデータが消去されない場合があります。

ルートの学習内容を消去する

本機は、よく使用する道を学習しており、ルート探索時に学習した道を優先的に使用します。→「学習ルート探索」(P54)
 よく使用する道を変更したい場合などは、学習ルートを消去してから再学習を行います。

 **メモ**

- すべての学習ルートが消去されますのでご注意ください。

1 ナビゲーション画面で **メニュー** を押し、**設定** にタッチする

2 編集 - **学習ルート消去** にタッチする

▼
 確認メッセージが表示されます。

3 はい にタッチする

▼
 学習ルートが消去されます。

 **メモ**

- 点検などでバッテリーを外した場合も、学習ルートは消去されます。

走行軌跡を消去する

地図画面に表示される走行軌跡を消去することができます。

メモ

- 走行軌跡を自動的に消去させることもできます。→「機能設定をする」(P89)

1 ナビゲーション画面で **メニュー** を押し、**設定** にタッチする

2 **編集** - **走行軌跡消去** にタッチする



確認メッセージが表示されます。

3 **はい** にタッチする



走行軌跡が消去されます。

各種情報の利用

FM-VICS情報を利用する	78
VICIS情報とは	78
VICIS情報の表示形態	78
地図上でVICIS情報を見る	79
緊急情報の自動表示	80
ルート上の渋滞情報を案内させる	80
渋滞オートガイド	80
渋滞チェック	80
VICISの文字・図形情報を見る	81
放送局を選ぶ	82
放送局の受信状態の確認について	82
その他の情報の利用	83
センサー学習状況を見る	83
接続状態を確認する	84
バージョン情報を表示する	85
eスタート案内を利用する	85
急発進と判定されると	86
eスタート状況を確認する	86
ETC利用履歴を見る	86

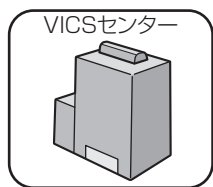
FM-VICS情報を利用する

車載のアンテナでFM-VICS情報（VICSセンターから提供）を受信し、渋滞情報や規制情報などを確認することができます。

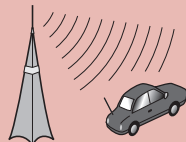
VICS情報とは

VICS (Vehicle Information & Communication System : 道路交通情報通信システム) とは、最新の交通情報をドライバーに伝えるための通信システムです。

VICS情報を受信すると、渋滞や事故、交通規制などの最新情報をナビゲーションの地図上に表示できます。また、かんたんな地図イラストや文字で見えることもできます。



FM多重放送の電波で情報が提供されます。



FM多重放送

本機に内蔵のVICS/FM多重チューナーで、FM多重放送によるVICS情報を受信できます。

VICS情報の表示形態

VICS情報には、レベル1からレベル3までの3種類の表示形態があります。ドライバーはVICSセンターから提供される、次のような道路交通情報を活用できます。

- 渋滞情報（順調情報も含む）
- 旅行時間情報
- 交通障害情報
- 交通規制情報
- 駐車場情報

レベル 3: 地図

ナビゲーションの地図上に道路交通情報が直接表示されます。



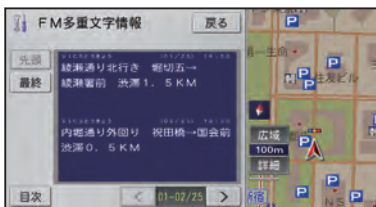
レベル 2: 簡易図形

かんたんな地図イラストなどで道路交通情報が表示されます。



レベル 1: 文字

文字で道路交通情報が表示されます。



メモ

・情報提供側の問題により、文字化けやネットワーク障害などのエラーメッセージが表示されることがあります。

地図上でVICS情報を見る

レベル3（地図）の表示形態では、VICSセンターから受信した道路交通情報が、渋滞の道塗りやVICS情報マークで地図上に表示されます。

有料道路への表示

渋滞	赤色に青い縁取り
混雑	橙色に青い縁取り
順調	明るい青に青い縁取り
規制区間表示	黄色に黒い縁取り
入口閉鎖・通行止め	黒

一般道路への表示

渋滞	赤色に白い縁取り
混雑	橙色に白い縁取り
順調	明るい青に白い縁取り
規制区間表示	黄色に黒い縁取り
通行止め	黒

VICSレベル3情報提供時刻表示

F	FM多重放送によるVICS情報提供時刻
橙色	情報を受信してから5分未満の状態
青色	情報を受信してから5分以上30分未満経過した状態
--:--	情報を受信していない、または受信後30分以上経過した状態（受信開始時、または情報が受信できなくなって30分以上経過した場合、VICS情報は消去される。）






メモ

- 本機の電源をON（エンジンをON）にしてから受信したVICS情報が表示されるまで、時間がかかることがあります。
- 希望するエリアの放送が受信できないときは、放送局を切り換えてください。→「放送局を選ぶ」(P82)
- VICS情報提供時刻表示は、最新のデータが提供された時刻です。
- **渋滞**にタッチすると、ルート案内中はルート上前方の渋滞や規制の情報を、ルート案内中でない場合は自車周辺の規制情報を地図表示と文字情報および音声案内でお知らせします。（→P80）
- 工場出荷時は、順調表示は「OFF」に設定されてます。→「機能設定をする」(P89)

VICSマークの種類

VICS情報により、次のようなマークも地図上に表示されます。

	大型通行止め		故障車
	作業		路上障害
	チェーン規制		凍結
	進入禁止		入口制限
	通行止め・閉鎖		事故
	工事中		入口閉鎖
	片側交互通行		対面通行
	車線規制		徐行
	速度規制 (数字は制限速度)		
	気象		行事
	災害		火災
	駐車場閉		原因なし
	駐車場 (空き：青、混雑：橙色、満車：赤、不明：黒)		

「VICSレベル3 情報提供時刻表示」の内容

FM多重放送によるVICS情報提供時刻が表示されます。

提供時刻の表示に時間がかかるときは

受信中の放送局の受信感度を確認してください。→「放送局を選ぶ」(P82)

2つの放送エリアが重なる地域を走行しているときは

本機は、現在地周辺のVICS情報(道塗り情報)と別のエリア(隣接する都道府県など)のVICS情報を同時に表示することができます。したがって、県境などの放送エリアが重なる地域を走行しても、必要な情報を見ることができます。

緊急情報の自動表示

緊急情報を受信した場合、自動的にその内容が表示されます。

ルート上の渋滞情報を案内させる

ルート上に発生したVICSの渋滞・規制情報を文字表示や音声で案内させることができます。

メモ

- VICS情報が取得できないときなどは動作しないことがあります。
- 音声では、例：“およそ3 km先、1 kmの渋滞が発生しています。通過に5分ほどかかります。”と案内されます。

渋滞オートガイド

ルート上に発生した渋滞情報を自動的に音声で案内します。

メモ

- 渋滞オートガイドは、ON/OFFできます。→「機能設定をする」(P89)
- 案内中のルートが無い場合は、案内されません。

渋滞チェック

渋滞にタッチすると、ルート上に発生している渋滞情報を地図表示と文字情報および音声案内で確認することができます。



メモ

- ・**渋滞**にタッチすることにより、最大5カ所先の渋滞場所まで順に案内させることができます。
- ・案内中のルートが無い場合は、自転車周辺の規制情報のみを表示・案内します。

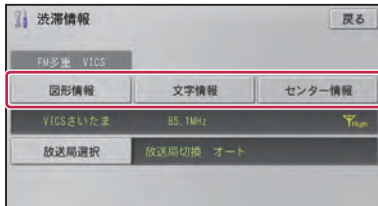
VICSの文字・図形情報を見る

文字や図形のVICS情報を表示させることができます。

1 ナビゲーション画面で**メニュー**を押し、**設定**にタッチする

2 **情報** - **渋滞情報**にタッチする

3 表示させたい情報にタッチする



図形情報	レベル2 (簡易図形) の広域情報を表示します。
文字情報	レベル1 (文字) の広域情報を表示します。
センター情報	VICSセンターからの情報を表示します。

4 見たい情報の番号にタッチする

メニューに表示されている情報番号と同じ番号を選びます。渋滞や交通規制などに関する情報が表示されます。



各種情報の利用

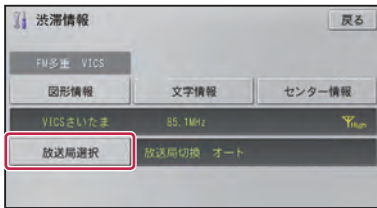
メモ

- ・全情報画面が複数のページにおよぶときは、**<**、**>** にタッチすると、ページを送ります。**先頭** / **最終** にタッチすると、先頭ページ / 最終ページが表示されます。
- ・すべての情報が取得されていないときは、現在取得している情報の先頭ページ、または最終ページが表示されます。
- ・**目次** にタッチすると、VICSメニューに戻ります。
- ・**選局** にタッチすると、FM多重放送の放送局を選ぶことができます。→「**放送局を選ぶ**」(P82)

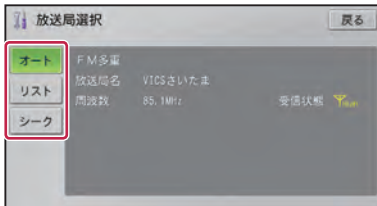
放送局を選ぶ

VICS情報をFM多重放送から受信するとき
は、最も受信感度の良い放送局を選びます。

- 1 ナビゲーション画面で**メニュー**
を押し、**設定**にタッチする
- 2 **情報** - **渋滞情報**にタッチする
- 3 **放送局選択**にタッチする



- 4 **放送局を探す方法**にタッチする

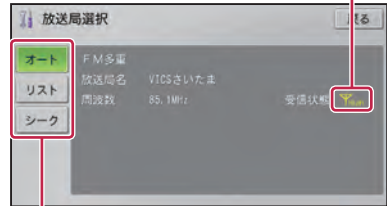


オート	自車位置に応じてVICS放送局が自動的に選択されます。
リスト	放送局リストから選びます。
シーク	+ 、 - にタッチして、周波数の自動チューニングを行います。受信可能な放送局を受信したところで止まります。

放送局の受信状態の確認について

渋滞情報画面では、受信中の放送局名、周波数、受信状態などが表示されます。

受信状態表示



選局方法
(オート/リスト/シーク)

受信状態表示は、受信感度が高い場合「High」、受信感度が低い場合は「Low」と表示されます。

その他の情報の利用

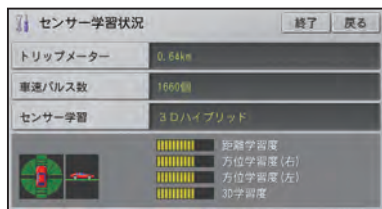
本機の持ついろいろな機能の情報を見たり、利用することができます。

センサー学習状況を見る

センサーの学習状況を確認できます。

1 ナビゲーション画面で **メニュー** を押し、**設定** にタッチする

2 **情報** - **センサー学習状況** にタッチする



トリップメーター / 車速パルス数

現在本機が認識しているトリップ数、パルス数が表示されます。

メモ

- ・**トリップメーター** または **車速パルス数** にタッチすると積算された数字をリセットすることができます。

センサー学習

現在の走行モード (3D ハイブリッドモード / 簡易ハイブリッドモード) または「センサー初期学習中」が表示されます。

メモ

- ・**センサー学習** にタッチすると、**オールリセット** と **距離学習リセット** が表示されます。**オールリセット** にタッチすると、センサー学習をすべてリセットすることができます。**距離学習リセット** にタッチすると、距離学習のみリセットすることができます。本体の取り付け位置または角度を変更した場合や別車両へ載せ換えた場合は、**オールリセット** にタッチしてください。また、距離精度が悪い場合には、**距離学習リセット** にタッチしてください。

前後G / 回転速度計

現在本機が認識している前後Gの強さがバーで、左右の回転速度が扇で表示されます。

傾斜計

現在本機が認識している上下の傾きが道路の傾きで表現されます。

距離 / 方位 / 傾斜 (3D) の学習度

距離・方位 (左右方向の回転)・傾斜に関して、どの程度学習結果が蓄積されたかが表示されます。バーが右端に達すると、学習の度合いが最高であることを表します。

！ 注意

- ・走行状態の確認は必ず同乗者が行い、運転者は運転に専念してください。

メモ

- ・電源コードの車速信号入力 (ピンクリード線) が接続されていないときは、簡易ハイブリッドモードとなり、パルス数は算出されません。
- ・学習度およびトリップメーター、車速パルス数は本機の故障、修理などにより、クリアされることがあります。また、本機の状態によっては、積算されない場合があります。
- ・センサー未学習の状態では、パルス数以外の表示は意味を持ちません。
- ・本機の電源をOFF (エンジンをOFF) にしても、トリップメーターと車速パルス数は積算される場合があります。
- ・傾斜 (3D) 学習度が表示されないときは、車速パルスが正しくカウントされていません。車速信号入力が正しく接続されていないことが考えられます。販売店にご相談ください。

接続状態を確認する

各機器の接続状態、信号の状態などを確認できます。

1 ナビゲーション画面で **メニュー** を押し、**設定** にタッチする

2 **情報** - **接続状態** にタッチする



メモ

- ・正しく表示されない場合は、販売店にご相談ください。

車速パルス

現在本機が認識している車速パルスの数が表示されます。停車中の場合は「0」が表示されます。車を走行させると、速度に応じて「ビップ」という発音音がして、数字とともにバー表示が変化します。

車速パルスの確認は、安全な場所で、低速(時速5 km程度)で行ってください。

GPS アンテナ

GPSアンテナの接続状態が表示されます。正しく接続されているときは「OK」、接続されていない場合は「NG」と表示されます。その右側に表示されているアンテナのイラストはGPSアンテナの受信状態を確認できます。電波の受信しやすい見晴らしの良い場所で2本以上バーが表示されていれば良好です。

メモ

- ・GPSアンテナのバーの本数と測位した衛星の数は比例しません。

測位状態

現在の測位状態(3次元測位/2次元測位/未測位)が表示されます。その右側には測位に使われている衛星(橙色)と受信中の衛星(黄色)の数がイラスト表示されます。3つ以上の衛星の電波を受信すると現在地の測位が可能になります。測位について、詳しくは「GPSによる測位」(→P199)をご覧ください。

電源電圧

車のバッテリーから本機に供給されている電源電圧が表示されます。エンジンをかけた状態で11V~15Vの範囲にあれば正常です。なお、最大で±0.5V程度の誤差があるため、この表示は参考値です。

取付位置

本機の設置状態が表示されます。正しく設置されているときは「OK」と表示されます。「NG(振動)」と表示されたときは、販売店にご相談ください。

イルミネーション

イルミ電源の状態が表示されます。車のモールライトが点灯しているときは「ON」、消灯しているときは「OFF」と表示されます。

Bluetooth

Bluetoothによる携帯電話との接続(ペアリング)状態が表示されます。正しく接続(ペアリング)されていれば「OK」、接続(ペアリング)されていない場合は「NG」と表示されます。その右側に表示されているアンテナのイラストは本機と携帯電話間の受信強度を確認できます。

※受信強度を確認するには、Bluetooth設定を行い、本機と携帯電話をワイヤレス接続する必要があります。詳しくは「Bluetooth設定を行う」(→P95)をご覧ください。

バック信号

バック信号入力の接続状態が表示されます。シフトレバーを「R」(リバース)の位置にすると「HIGH」と「LOW」の表示が入れ替わります。ブレーキペダルを踏んだままシフトレバーを操作し、正しく表示されることを確認してください。この接続は、車の前進/後退を判断するためのものです。

※接続しないと前進後退を正しく検知できないことがあるため、自車位置がずれる場合があります。また、バックカメラ(別売)を接続している場合は、シフトレバーを「R」(リバース)の位置にしても自動的にバックカメラの映像に切り換えることができません。

パーキングブレーキ

パーキングブレーキの状態が表示されます。パーキングブレーキがかかっているときは「ON」、解除されているときは「OFF」と表示されます。ブレーキペダルを踏んだままパーキングブレーキを操作し、正しく表示されることを確認してください。

ETCユニット

ETCユニット(別売)の接続状態が表示されます。必ずセットアップしてから確認してください。正しく接続されている場合は「OK」、接続されていない場合は「NG」と表示されます。「NG」と表示されたときは、販売店にご相談ください。

また、エラーが発生した場合はエラー番号が表示されます。「エラーメッセージと対処方法」(→P207)をご覧ください。

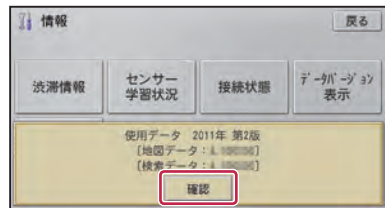
車載器番号

ETCユニット(別売)の車載器番号が表示されます。

バージョン情報を表示する

本機に収録された地図データや検索データのバージョンを確認することができます。バージョンアップを行った際の確認などにご利用ください。

- 1 ナビゲーション画面で **メニュー** を押し、**設定** にタッチする
- 2 **情報** - **データバージョン表示** にタッチする
- 3 **確認** にタッチする



eスタート案内を利用する

車両の発進状況を1日単位で測定し、判定結果を5段階のレベルで表示します。また急発進の状態を検知すると、警告メッセージを表示するとともに、音声でも案内されます。

判定基準は、以下のとおりです。

判定	発進開始から約5秒後の速度
遅い発進	0 km/h 以上 11 km/h 未満
eスタート発進	11 km/h 以上 21 km/h 未満
普通発進	21 km/h 以上 41 km/h 未満
急発進	41 km/h 以上

つづく→

メモ

- eスタート案内はON/OFFできます。→「機能設定をする」(P89)

急発進と判定されると

急発進と判定されると、以下のメッセージが表示され、「急発進です。安全運転を心がけましょう。」と音声で案内されます。



eスタート状況を確認する

判定基準をもとに、当日の走行距離、走行時間、eスタート判定を表示することができます。

1 ナビゲーション画面で「メニュー」を押し、「設定」にタッチする

2 情報 - eスタートにタッチする

判定結果が表示されます。



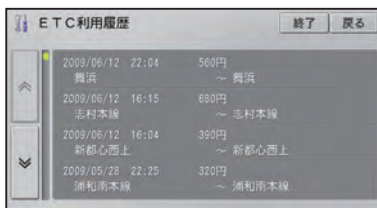
走行距離	0.0 km～9 999.9 km
走行時間	00 h 00m～23 h 59m
eスタートレベル	0～5

ETC利用履歴を見る

本機に別売のETCユニット「EP-8000シリーズ」、「EP-700シリーズ」などを接続し、ETCカードを挿入しているときは、ETCカードに記録された利用履歴データを確認することができます。利用履歴は、新しいものから順に最大100件までを表示します。

1 ナビゲーション画面で「メニュー」を押し、「設定」にタッチする

2 情報 - ETC利用履歴にタッチする



メモ

- ETCユニット(別売)が接続されていても、ETCカードが未挿入の場合は、操作できません。
- 乗降したインターチェンジ名が不明の場合は、インターチェンジ番号が表示されます。
- 最新利用日から最大100件の履歴を表示することができます。

ナビゲーションの設定

ロゴマーク表示設定をする	88
ロゴマークを非表示にする	88
機能設定をする	89
設定内容の詳細	90
地図表示	90
ルート・案内	90
渋滞情報	92
その他	93
通信設定をする	94
通信機器使用上のご注意	94
Bluetooth設定を行う	95
携帯電話を切り換える／削除する	96
バスキーを変更する	97
電波発射をON/OFFする	97
通信接続設定を行う	97
手動で接続先の設定を行う	98
接続先を切り換える	99
ナビゲーションの音量設定をする	100
簡単セットアップをする	101
簡単セットアップを行う	101
簡単セットアップを開始する	101
音量の調整	101
自宅の設定	102
ETC取付状態の設定	102
イルミネーションカラーの設定	102
Bluetoothの設定	103
通信接続の設定	103
簡単セットアップを終了する	103
その他の設定をする	104
イルミネーションカラーを設定する	104
カスタム色を登録する	104
車両情報を設定する	105
有料道路料金区分の設定	105
駐車制限(車種)の設定	105
駐車制限(車両寸法)の設定	106
カメラの入力設定をする	106
自車位置のずれを修正する	107
設定を初期状態に戻す	108

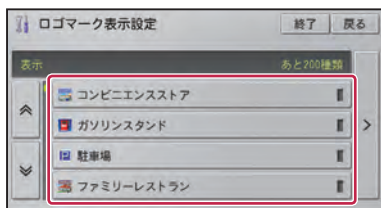
ロゴマーク表示設定をする

さまざまな施設のロゴマークを地図上に表示させることができます。

1 ナビゲーション画面で**メニュー**を押し、**設定**にタッチする

2 **設定** - **ロゴマーク表示設定**にタッチする

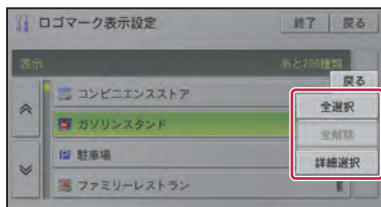
3 **ロゴマークを表示させたいジャンル**にタッチする



メモ

- 選ばれたジャンルは、右側のインジケーターが点灯します。インジケーターは、**詳細選択**で1つ以上選択した場合も点灯します。

4 **選択方法**にタッチする

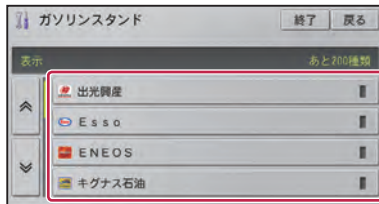


全選択	すべての関連施設を表示します。
全解除	選択した施設をすべて解除します。
詳細選択	施設をさらに分類表示します。

メモ

- **詳細選択**にタッチしたときは、さらに分類表示されたリストが表示されます。
- 最大200種類まで選択できます。

5 **ロゴマークを表示させたい施設**にタッチする



選ばれた施設のインジケーターが点灯し、引き続き選ぶことができます。

メモ

- 再度施設にタッチすると、インジケーターが消灯し、選択が解除されます。
- 他の施設を選ぶには、**戻る**にタッチして手順**3**の画面に戻り、手順**3**～**5**を繰り返してください。

6 **終了**にタッチする

地図画面に戻り、選択した施設のロゴマークが表示されます。

ロゴマークを非表示にする

P88手順**3**で **非表示**にタッチすると、ロゴマークを非表示にすることができます。

機能設定をする

用途やお好みに応じて設定を変更することにより、ナビゲーションを使いやすいすることができます。

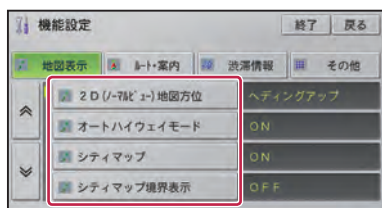
ナビゲーションの設定項目は、機能ごとに次の4つのメニューに分類されています。

- 地図表示(→P90)
- ルート・案内(→P90)
- 渋滞情報(→P92)
- その他(→P93)

1 ナビゲーション画面で「メニュー」を押し、「設定」にタッチする

2 「設定」→「機能設定」にタッチする

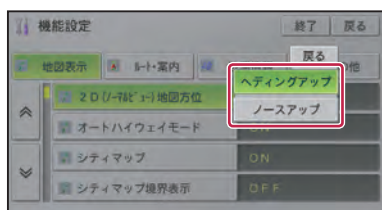
3 設定を変更したい項目にタッチする



メモ

- 分類タブにタッチすると、機能の先頭からリストを表示させることができます。

4 設定内容にタッチする



設定内容が変更されます。引き続き設定項目を選んで変更することができます。

5 設定を終了する場合は、「終了」にタッチする

設定内容の詳細

📍 地図表示

*は工場出荷時の設定です。

2D (ノーマルビュー) 地図方位

「ヘディングアップ」* 進行方向が常に上になるよう、地図が自動回転します。
「ノースアップ」 常に北が上になるように地図が表示されます。

オートハイウェイモード

「ON」* 自動的にハイウェイモードにします。
「OFF」 自動的にハイウェイモードにしません。

シティマップ

「ON」* 市街地図が表示されます。
「OFF」 通常の地図が表示されます。

シティマップ境界表示 (シティマップ ON 時に選択可)

「ON」 シティマップの境界を画面に表示します。
「OFF」* シティマップの境界を画面に表示せず、通常画面に切り換えます。

地図色切換

「時刻連動」* 日没 / 日出時刻連動で画面の配色が切り換わります。
「昼色固定」 常に昼画面のままです。
「夜色固定」 常に夜画面のままです。

走行軌跡自動消去

「自宅付近」 自宅として登録した場所から約 100 m 以内の地点で本機の電源を切る (エンジンを切る) と、走行軌跡が自動的に消去されます。
「電源オフ時」 本機の電源を切る (エンジンを切る) と走行軌跡が自動的に消去されます。
「OFF」* 走行軌跡は自動消去しません。

走行軌跡表示

「ON」* 走行軌跡が表示されます。
「OFF」 走行軌跡は表示されません。

2D (ノーマルビュー) 固定スクロール

「ON」 スクロール中、画面をノーマルビューに固定します。
「OFF」* スクロール中、画面をノーマルビューに固定しません。

📍 ルート・案内

*は工場出荷時の設定です。

ルート探索基準

「推奨」* 信号機の数が少なく、右左折の量も適度な通りやすいルートが探索されます。
「距離優先」 距離を優先してルートが探索されます。
「幹線優先」 幹線道路を優先してルートが探索されます。

有料道路使用条件

- 「標準」* 有料道路が標準的な基準でルート探索されます。
「回避」 有料道路を回避したルートが探索されます。

フェリー航路使用条件

- 「標準」* フェリー航路が標準的な基準でルート探索されます。
「優先」 フェリー航路を優先的にルート探索されます。
「回避」 フェリー航路を回避したルートが探索されます。

学習ルート探索

- 「ON」* 学習したルートを検討します。
「OFF」 学習したルートは考慮されません。

渋滞考慮ルート探索

- 「ON」* 渋滞情報を考慮してルートが探索されます。
「OFF」 渋滞情報は考慮されません。

スマートIC考慮ルート探索^{*1}^{*2}

- 「ON」 スマートICを考慮してルートが探索されます。
「OFF」* スマートICは考慮されません。

道のり・到着予想時刻表示

- 「目的地」* 目的地までの距離と到着予想時刻が表示され、方位線は自転車マークと目的地を結びます。
「立寄り地」 次の立寄り地までの距離と到着予想時刻が表示され、方位線は自転車マークと立寄り地を結びます。

到着予想時刻速度(一般道)

- 「20 km/h」 平均速度 20 km/h として到着予想時刻が計算されます。
「30 km/h」* 平均速度 30 km/h として到着予想時刻が計算されます。
「40 km/h」 平均速度 40 km/h として到着予想時刻が計算されます。
「50 km/h」 平均速度 50 km/h として到着予想時刻が計算されます。
「60 km/h」 平均速度 60 km/h として到着予想時刻が計算されます。

到着予想時刻速度(有料道)

- 「60 km/h」 平均速度 60 km/h として到着予想時刻が計算されます。
「80 km/h」* 平均速度 80 km/h として到着予想時刻が計算されます。
「100 km/h」 平均速度 100 km/h として到着予想時刻が計算されます。

交差点案内表示

- 「アローガイド」* 案内地までの距離(数値と矢印)と交差点名の情報が強調され表示されます。
「拡大図」 平面的な交差点拡大図が表示されます。

ETCレーン案内表示^{*3}

- 「ON」* 有料道路の料金所付近でETCレーン案内が表示されます。
「OFF」 ETCレーン案内は表示されません。

※1 ルート案内中でないときのみ設定できる機能です。

※2 簡単セットアップの「ETC取付状態設定」が「車に取り付けている」のときは自動的に「ON」になります。
「車に取り付けていない」のときは自動的に「OFF」になります。

※3 簡単セットアップの「ETC取付状態設定」を行うと、自動的に「ON」になります。

渋滞情報

*は工場出荷時の設定です。

渋滞情報表示対象道路

「有料道・一般道」*	有料道路・一般道路の渋滞情報が表示されます。
「有料道のみ」	有料道路の渋滞情報のみが表示されます。
「一般道のみ」	一般道路の渋滞情報のみが表示されます。
「表示しない」	渋滞情報は表示されません。

渋滞情報表示※1

「ON」*	道塗り表示されます。
「OFF」	道塗り表示されません。

順調表示※2

「ON」	渋滞情報をもとに、交通が順調な道路が道塗り表示されます。
「OFF」*	順調表示はされません。

規制表示※1

「ON」*	交通規制の渋滞情報マークと規制区間が表示されます。
「OFF」	交通規制の渋滞情報マークと規制区間は表示されません。

駐車場情報マーク表示※1

「ON」*	駐車場の渋滞情報マークが表示されます。
「OFF」	駐車場の渋滞情報マークは表示されません。

渋滞オートガイド

「ON」*	ルート上の渋滞情報が自動で音声案内されます。
「OFF」	ルート上の渋滞情報は自動では音声案内されません。

※1 「渋滞情報表示対象道路」が「表示しない」以外のときに設定できる機能です。

※2 「渋滞情報表示対象道路」が「表示しない」以外のとき、かつ「渋滞情報表示」が「ON」のときに設定できる機能です。

■ その他

*は工場出荷時の設定です。

現在地情報の表示

「市区町村名」*	現在地が市区町村名で表示されます。
「走行道路名」	現在地が走行道路名で表示されます。(道路名がない場合は市区町村名が表示されます。)
「緯度経度」	現在地が緯度経度で表示されます。
「OFF」	表示しません。

AV画面への割り込み

「ON」*	AVソース画面のときに、交差点案内表示を割り込み表示します。
「OFF」	交差点案内表示を割り込み表示しません。

有料道注意地点・県境案内

「ON」*	案内されます。
「OFF」	案内されません。

踏切案内

「ON」*	案内されます。
「OFF」	案内されません。

リフレッシュ案内

「ON」*	案内されます。
「OFF」	案内されません。

ライト点灯案内

「ON」*	案内されます。
「OFF」	案内されません。

eスタート案内

「ON」*	案内されます。
「OFF」	案内されません。

ETC 起動時音声案内 (ETCユニット接続時に選択可)

「ON」*	本機の起動時にETCカードの有無をチェックして音声案内されます。
「OFF」	案内されません。

通信設定をする

通信機能や電話機能をお使いになる場合、Bluetooth対応の携帯電話のご準備と、あらかじめ通信設定（Bluetooth設定（→P95）、通信接続設定（→P97））を行う必要があります。

お使いになる機能によって、設定する内容が異なります。下表を参考にしてください。

使いたい機能	必要な設定
電話機能	Bluetooth設定
BT AUDIO ※1	Bluetooth設定
通信機能 ※2 （お天気情報（→P110） 駐車場満空情報（→P111） ガスタバ価格情報（→P112））	Bluetooth設定 + 通信接続設定

※1 BT AUDIOに対応した携帯電話以外では使えません。

※2 通信費および接続料金はお客様負担となります。

通信機器使用上のご注意

- 本機との接続は、Bluetoothに対応した携帯電話のみとなります。携帯電話接続ケーブルなどを使っての接続はできません。Bluetooth対応の携帯電話をご用意ください。

ただし、Bluetoothに対応した携帯電話でも、機種によっては本機との接続に制限がある場合があります。携帯電話の対応可否については、販売店にご相談ください。

- 本機は、以下のプロファイルに対応しています。

プロファイル名	用途
HFP (HandsFreeProfile)	ハンズフリー通話
OPP (ObjectPushProfile)	電話帳転送
PBAP (Phone Book Access Profile)	電話帳同期
DUN (DialupNetworking Profile)	データ通信
A2DP (Advanced Audio Distribution Profile)	オーディオデータ転送
AVRCP (Audio/Visual Remote Control Profile)	AV機器のリモコン機能

- 回線接続中の通信料およびプロバイダ接続料はお客様負担となります。
- 通信終了後は必ず通信が切れたことを確認してください。
- 携帯電話の「ダイヤルロック」「オートロック」などのロック機能を解除してから接続してください。
- お使いの携帯電話によっては、専用サーバー接続中に電話を着信した場合、専用サーバーとの接続が切断される場合があります。その場合は、通話終了後に専用サーバーに再接続してください。
- お使いになる携帯電話によっては、BT AUDIOを使用中はデータ通信を行えない場合があります。このような場合は、いったんBT AUDIOをOFF（→P115）にし、携帯電話の音楽再生ソフトを終了させてからデータ通信を行ってください。

Bluetooth設定を行う

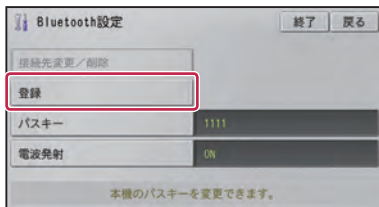
Bluetooth接続する携帯電話を本機に登録します。

メモ

- 最大5台の携帯電話を登録できます。携帯電話の切り換えかたは「携帯電話を切り換える／削除する」(→P96)をご覧ください。
- AVプロファイルを持つBluetooth対応携帯電話を登録した場合、自動的にBT AUDIOの優先接続機器として設定されます。詳しくは「BT AUDIOの操作のしかた」(→P158)をご覧ください。
- 簡単セットアップ(→P101)で設定することもできます。

1 ナビゲーション画面で「メニュー」を押し、「設定」にタッチする

2 設定－Bluetooth設定－登録にタッチする



メモ

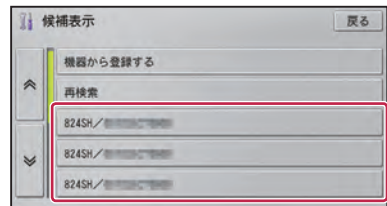
- BT AUDIOが再生中の場合、再生が中断されます。また確認のメッセージが表示されますので、中断して登録を行う場合は「はい」を、中断したくない場合は「いいえ」を選んでください。
- すでに携帯電話が5台登録されている場合は、登録済みリストを表示し、削除確認のメッセージが表示されます。削除する携帯電話を選んで「はい」にタッチし、選んだ携帯電話の削除に成功すると手順3の画面が表示されます。

周辺のBluetooth機器を自動的に探します。検索は約10秒間だけ行われます。10秒経過後にBluetoothをONにした機器がある場合、「再検索」にタッチすると、もう一度検索をはじめます。

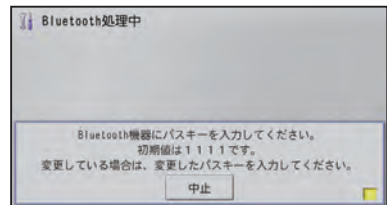
Bluetooth機器が見つかると、リスト表示されます。

お使いの携帯電話によっては本機からの検索で見つからない場合があります。その場合は、「機器から登録する」にタッチして、携帯電話の登録メニューから本機を登録してください。詳しくは、携帯電話の取扱説明書をご覧ください。

3 登録する携帯電話にタッチする



4 携帯電話を操作してパスワードを入力する

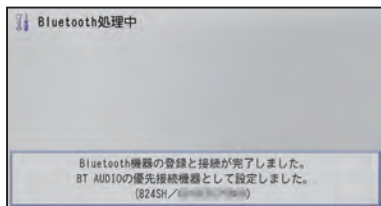


つづ→

メモ

- 携帯電話に本機を登録（機器登録・機器認証）する方法については、携帯電話の取扱説明書をご覧ください。
- 本機は、ハンズフリー通話、ダイヤルアップ通信、メモリダイヤル転送*に対応しています。
※お使いの携帯電話によっては、各機能に対応していない場合があります。
- 本機の出荷時のパスキーは「1111」です。

完了のメッセージが表示されます。



携帯電話を切り換える／削除する

Bluetooth接続する携帯電話を2台以上登録したときは、手動で切り換えることができます。また登録した携帯電話を削除することもできます。

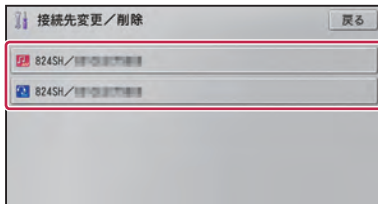
メモ

- 使用する携帯電話を切り換えた場合や削除した場合は、通信接続設定(→P97)も変更してください。使用する携帯電話のプロバイダ情報と通信情報設定の内容が一致しないとデータ通信ができません。
- BT AUDIOを使用中に携帯電話の切換操作を行うと、BT AUDIOの再生が中断されます。
- 選んだ携帯電話が動作中（ハンズフリー/データ通信）の場合は削除できません。動作終了後に操作してください。

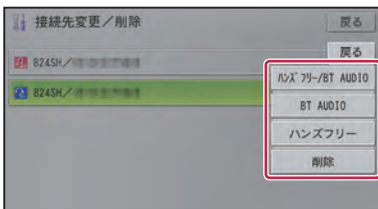
1 ナビゲーション画面で「メニュー」を押し、「設定」にタッチする

2 設定－Bluetooth設定－接続先変更／削除にタッチする

3 切り換えまたは削除する携帯電話にタッチする



4 項目を選んでタッチする



ハンズフリー／BT AUDIO	ハンズフリー機能とBT AUDIO 機器として使用します。
BT AUDIO	BT AUDIO機器のみとして使用します。
ハンズフリー	ハンズフリー電話機能のみとして使用します。
削除	携帯電話を削除します。メッセージが表示されたら「はい」にタッチしてください。

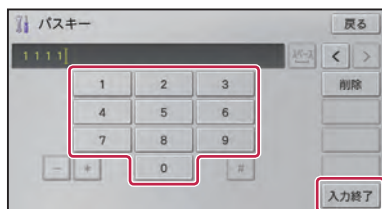
メモ

- 「ハンズフリー」に設定した場合は、、「BT AUDIO」に設定した場合は、「ハンズフリー／BT AUDIO」に設定した場合はのアイコンが表示されます。
- 「BT AUDIO」または「ハンズフリー／BT AUDIO」に設定すると、AVソースをBT AUDIOに切り換えたときに自動的に接続される優先接続機器となります。

パスキーを変更する

本機のパスキーを変更することができます。

- 1 ナビゲーション画面で**メニュー**を押し、**設定**にタッチする
- 2 **設定** - **Bluetooth設定** - **パスキー**にタッチする
- 3 変更するパスキーを入力し、**入力終了**にタッチする



電波発射をON/OFFする

本機からの電波発射をON/OFFすることができます。

- 1 ナビゲーション画面で**メニュー**を押し、**設定**にタッチする
- 2 **設定** - **Bluetooth設定** - **電波発射**にタッチする
- 3 **ON**または**OFF**にタッチする



ON	電波発射を行います。
OFF	電波発射を行いません。

メモ

- 電波発射をOFFに設定すると、本機からの登録操作やパスキーの変更はできません。

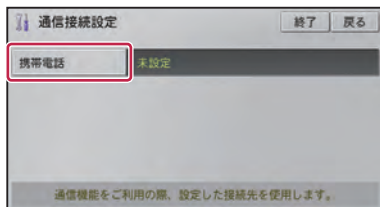
通信接続設定を行う

データ通信するためのプロバイダを設定します。設定の方法は、プロバイダリストから選ぶ方法と手動で設定する方法があります。

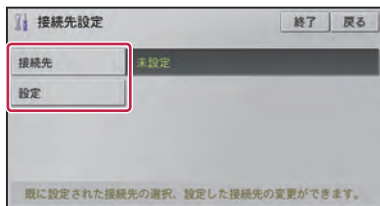
メモ

- データ通信を行う場合は、Bluetooth設定(→P95)で登録した携帯電話にあわせてプロバイダを設定してください。
- 2つの接続先(プロバイダ)を設定し、手動で切り換えて使用することができます。→「接続先を切り換える」(P99)
- 簡単セットアップ(→P101)で設定することもできます。

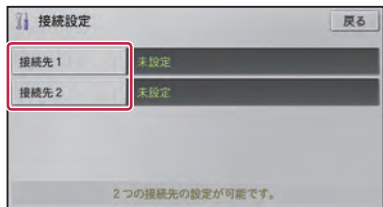
- 1 ナビゲーション画面で**メニュー**を押し、**設定**にタッチする
- 2 **設定** - **通信接続設定** - **携帯電話**にタッチする



接続先設定画面が表示されます。



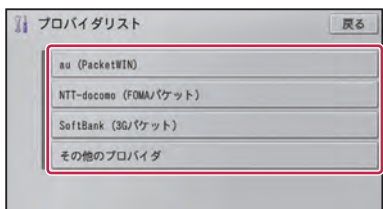
3 設定 - 接続先1 または 接続先2 にタッチする



メモ

- 初めて設定するときは **接続先 1** にタッチします。必要に応じて **接続先 2** も設定すると、切り換えて使用することができます。→「**接続先を切り換える**」(P99)

4 接続する携帯電話のタイプに合わせたプロバイダにタッチする



▼
接続先設定画面に戻ります。

メモ

- リストにあるプロバイダの設定内容は、プロバイダの都合により変更される場合があります。その場合はプロバイダに設定内容をお問い合わせのうえ、手動で設定してください。
- その他のプロバイダ** にタッチすると、マニュアルで設定を行うことができます。(→P98)

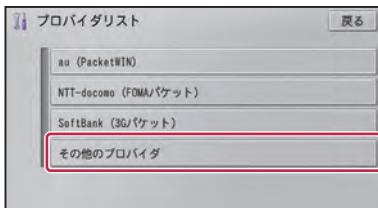
5 終了 にタッチする

▼
設定を終了します。

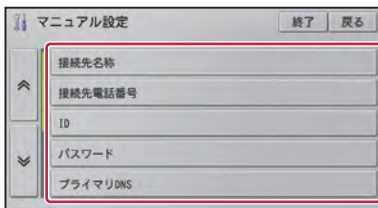
手動で接続先の設定を行う

ご希望の接続先がプロバイダリストにない場合や、プロバイダの設定値が変更された場合は、手動で設定を行います。

1 P97 「通信接続設定を行う」の手順 4 で **その他のプロバイダ** にタッチする



2 設定項目を順に選び、設定内容を入力または選択する



設定できる項目と内容は以下のとおりです。

項目	設定内容
「接続先名称」	プロバイダの名称
「接続先電話番号」	アクセスポイントの電話番号
「ID」	プロバイダ入会時に発行された接続ID
「パスワード」	プロバイダ入会時に発行された接続パスワード
「プライマリDNS」	プライマリDNSのIPアドレス
「セカンダリDNS」	セカンダリDNSのIPアドレス
「Proxyサーバー」	「使う」、「使わない」

「Proxyサーバー名」	Proxyサーバーの名称
「ポート番号」	Proxyサーバーのポート番号

* 上記はプロバイダより指定されたものをお使いください。

メモ

- パスワードを入力すると、他人に読み取られないように“*”で表示されます。
- プライマリDNSとセカンダリDNSのIPアドレスは3桁ずつ入力し、3桁未満の数字には、数字の前に「0」を付けて3桁にしてください。例：192.168.2.255の場合は、「192.168.002.255」と入力する。
- セカンダリDNSは、プロバイダから指示されているときのみ入力してください。
- Proxy（プロキシ）サーバーを使用する場合は、**使う**を選択してください。
- 「Proxyサーバー名」「ポート番号」の設定は、「Proxyサーバー」を「使う」に設定した場合にできるようになります。Proxyサーバー名とポート番号は、加入したプロバイダへお問い合わせください。
- Proxyサーバー名にIPアドレスを直接入力するときに、「2」などを入力する場合は、数字の前の「00」を入れないで直接「2」を入力してください。例：192.168.2.255の場合は、そのまま「192.168.2.255」と入力する。

3 終了にタッチする

設定を終了します。

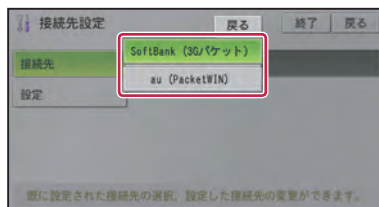
接続先を切り換える

2つの接続先（プロバイダ）を切り換えて使用することができます。

1 ナビゲーション画面で**メニュー**を押し、**設定**にタッチする

2 **設定** - **通信接続設定** - **携帯電話**にタッチする

3 **接続先**にタッチし、切り換える**接続先の名称**にタッチする



接続先が切り換わります。

メモ

- データ通信を行う場合は、接続先（プロバイダ）の変更内容にあわせて、Bluetooth設定で使用する携帯電話も変更してください。（→P96）

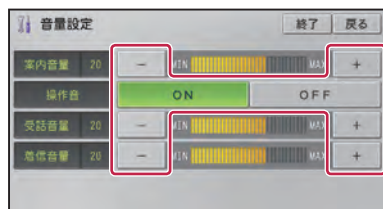
ナビゲーションの音量設定をする

ナビゲーションの案内音量、ハンズフリー時の受話音量、着信音量の調整と、操作音のON/OFFを設定することができます。

メモ

・簡単セットアップ(→P101)で設定することもできます。

- 1 ナビゲーション画面で**メニュー**を押し、**設定**にタッチする
- 2 **設定** - **音量設定**にタッチする
- 3 設定したい項目にタッチする



案内音量

+	案内音量が大きくなります。
-	案内音量が小さくなります。

操作音

ON	操作音が鳴ります。
OFF	操作音が鳴りません。

受話音量

+	受話音量が大きくなります。
-	受話音量が小さくなります。

着信音量

+	着信音量が大きくなります。
-	着信音量が小さくなります。

メモ

・操作音は、それぞれの調整した音量と同じ大きさで鳴ります。

注意

・操作音をOFFに設定された場合、SDカード挿入不良などの警告音もなりません。ご注意ください。

簡単セットアップをする

簡単セットアップを行う

画面の指示に従って各設定をかたんに行うことができます。

簡単セットアップで設定できる項目と順序は、以下のとおりです。

音量設定

ナビの案内音量、受話音量、着信音量と操作音を設定できます。



自宅設定

自宅の登録や変更ができます。



ETC取付状態設定

ETCユニットが車に取り付けられているかどうか設定します。



イルミネーションカラー設定

本体のボタンのイルミネーションカラーを設定できます。



Bluetooth設定

Bluetooth対応の携帯電話を本機に登録できます。



通信接続設定

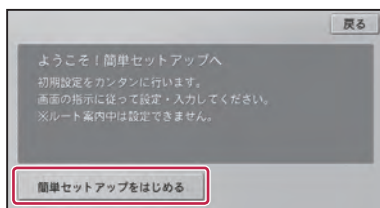
通信機能を使うためのプロバイダを設定できます。

簡単セットアップを開始する

1 ナビゲーション画面で**メニュー**を押し、**設定**にタッチする

2 **設定** - **簡単セットアップ**にタッチする

3 **簡単セットアップ**をはじめるにタッチする

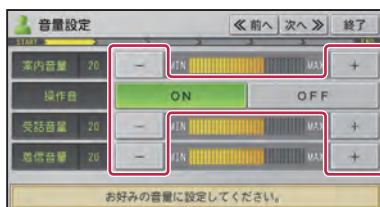


メモ

- ルート案内中は、簡単セットアップを行うことはできません。
- 簡単セットアップ設定中は、**次へ**にタッチすると次の設定へ、**前へ**にタッチすると前の設定に移ることができます。
- **終了**にタッチすると、その時点までの設定を保存して簡単セットアップ終了画面(→P103)に移ります。
- ETC取付状態設定以外の設定項目は、それぞれ設定メニューから個別に設定することができます。

音量の調整

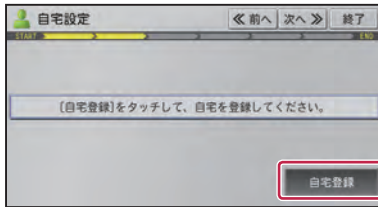
4 **+** または **-**、**ON** または **OFF** にタッチして調整する



5 **次へ**にタッチする

自宅の設定

6 自宅登録にタッチする



メモ

- すでに自宅が登録済みの場合は、**登録変更**が表示されます。タッチすると手順**7**に進み、自宅の場所を変更して上書きすることができます。

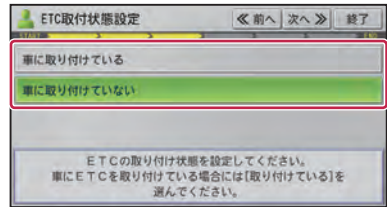
7 場所を探して(→P42)、**決定**にタッチする



8 次へ》にタッチする

ETC取付状態の設定

9 状態を選んでタッチする



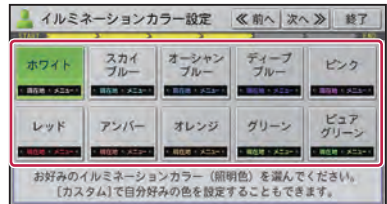
メモ

- 「車に取り付けている」に設定すると、機能設定の「スマートIC考慮ルート探索」(→P91)が自動的にONになります。また、どちらの設定にした場合でも、機能設定の「ETCレーン案内表示」(→P91)はONに変更されます。

10 次へ》にタッチする

イルミネーションカラーの設定

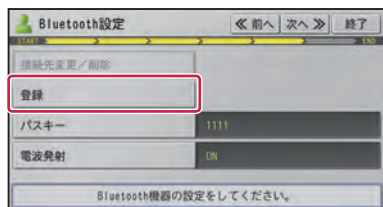
11 お好みの色にタッチする



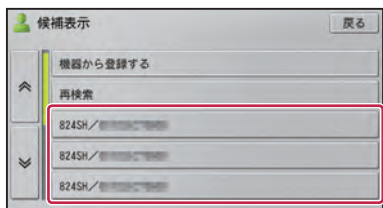
12 次へ》にタッチする

Bluetoothの設定

13 登録にタッチする



14 接続する機器名にタッチする



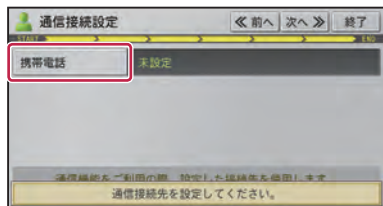
メモ

- ・接続する機器がリストにない場合は、**機器から登録する**にタッチしてBluetooth機器より登録してください。詳しくは「Bluetooth設定を行う」(→P95)をご覧ください。

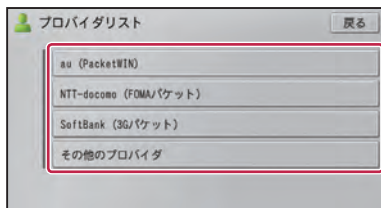
15 次へ》にタッチする

通信接続の設定

16 携帯電話にタッチする



17 使用するプロバイダ名にタッチする



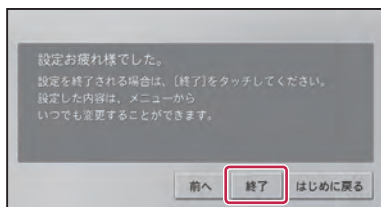
メモ

- ・ここで選んだプロバイダは、接続先1として保存されます。すでに接続先1に設定済みのプロバイダがある場合は、設定内容が上書きされます。接続先について、詳しくは「通信接続設定を行う」(→P97)をご覧ください。

18 次へ》にタッチする

簡単セットアップを終了する

19 終了にタッチする



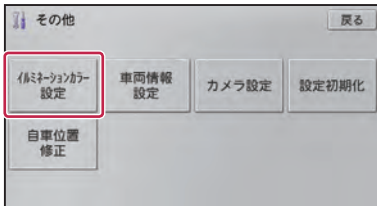
前へ	ひとつ前の画面に戻ります。
はじめに戻る	簡単セットアップ開始画面(→P101)に戻ります。

その他の設定をする

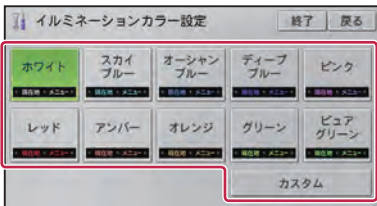
イルミネーションカラーを設定する

本体のボタンのイルミネーションの色を設定します。設定できる色は、既存の10色とお好みにあわせて調整したカスタム色から選択できます。

- 1 ナビゲーション画面で**メニュー**を押し、**設定**にタッチする
- 2 **設定**—**その他**にタッチする
- 3 **イルミネーションカラー設定**にタッチする



- 4 お好みの色にタッチする

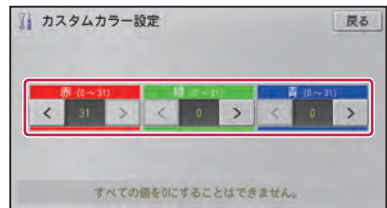


- 5 **終了**にタッチする

カスタム色を登録する

色のRGB値(赤、緑、青の光の3原色)をそれぞれ32段階で調整し、カスタム色として登録します。

- 1 「イルミネーションカラーを設定する」の手順**4**で**カスタム**にタッチする
- 2 赤、緑、青それぞれの**◀**/**▶**にタッチする



調整した色はすぐに本体のボタンに反映され、確認することができます。

メモ

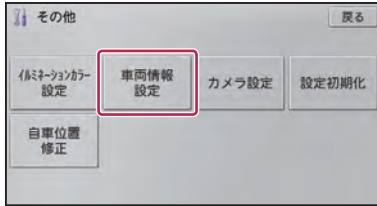
- 赤、緑、青すべてを0に設定することはできません。

- 3 **戻る**にタッチする

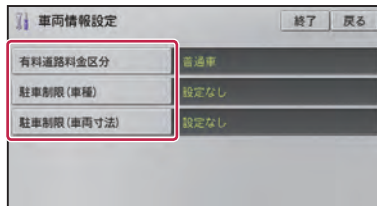
車両情報を設定する

車両の有料道路料金区分や駐車制限、長さ、幅、高さを設定します。
ここで設定された内容が駐車場および有料道路の料金案内に反映されます。

- 1 ナビゲーション画面で**メニュー**を押し、**設定**にタッチする
- 2 **設定**—**その他**にタッチする
- 3 **車両情報設定**にタッチする



- 4 各項目を選んで内容を設定する



有料道路料金区分	有料道路走行時の料金区分を設定します。(→P105)
駐車制限(車種)	駐車場利用時の車種制限を設定します。(→P105)
駐車制限(車両寸法)	駐車場利用時の車両寸法制限を設定します。(→P106)

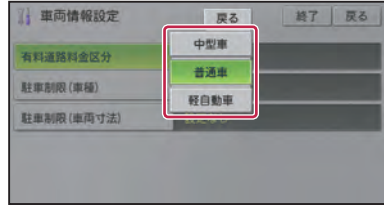
メモ

- ・ルート案内中やハイウェイモードの場合は、有料道路料金区分の設定はできません。

- 5 **終了**にタッチする

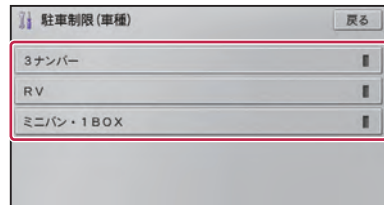
有料道路料金区分の設定

- 1 **有料道路料金区分**にタッチする(→P105)
- 2 該当する区分を選んでタッチする



駐車制限(車種)の設定

- 1 **駐車制限(車種)**にタッチする(→P105)
- 2 該当する車種を選んでタッチする



選ばれた車種のインジケーターが点灯し、引き続き選ぶことができます。

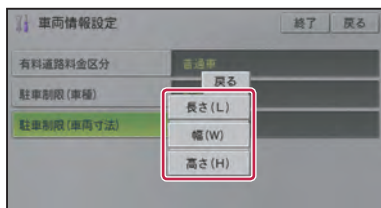
メモ

- ・該当する車種が無い場合は、何も設定しないでください。

- 3 **戻る**にタッチする

駐車制限(車両寸法)の設定

- 1 **駐車制限(車両寸法)**にタッチする(→P105)
- 2 入力する項目を選んでタッチする



- 3 車検証などを参考に寸法を入力し、**入力終了**にタッチする

例：長さ(L)を選んだ場合



引き続き他の項目を入力することができます。入力を終了する場合は**戻る**にタッチしてください。

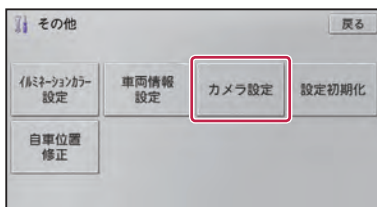
メモ

- 一度設定した値をクリアするには、それぞれの入力画面で**設定解除**にタッチします。

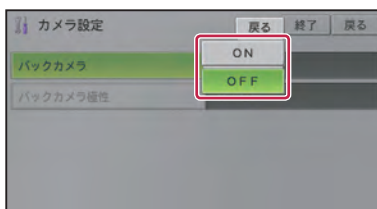
カメラの入力設定をする

本機に接続したバックカメラ(別売)の入力設定を行います。

- 1 ナビゲーション画面で**メニュー**を押し、**設定**にタッチする
- 2 **設定** - **その他**にタッチする
- 3 **カメラ設定**にタッチする

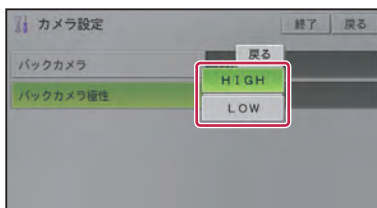


- 4 **バックカメラ** - **ON**または**OFF**にタッチする



ON	バックカメラを接続した場合に設定します。
OFF	バックカメラを接続していない場合、または一時的に使用しない場合に設定します。

- 5 **バックカメラ極性** - **HIGH**または**LOW**にタッチする



HIGH	車のシフトレバーをR(リバース)の位置にしたときに、接続状態画面(→P84)の「バック信号」がHIGHと表示される車両の場合に選択します。
LOW	車のシフトレバーをR(リバース)の位置にしたときに、接続状態画面(→P84)の「バック信号」がLOWと表示される車両の場合に選択します。

メモ

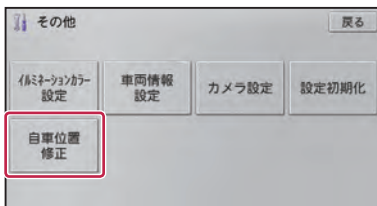
・バックカメラをOFFに設定している場合は、バックカメラ極性を設定することはできません。

6 終了にタッチする

自車位置のずれを修正する

自車位置がずれた場合は、修正することができます。自車位置修正は必ず停車した状態で行ってください。

- 1 ナビゲーション画面で**メニュー**を押し、**設定**にタッチする
- 2 **設定**—**その他**にタッチする
- 3 **自車位置修正**にタッチする



4 8方向矢印キーにタッチして十字カーソルを現在地に合わせる



メモ

- ・**微調整**にタッチすると、8方向矢印キーの表示/非表示を切り換えることができます。
- ・8方向矢印キー表示中に走行を開始した場合は、**微調整**にタッチして8方向矢印キーを消すことが、一度だけできます。

5 決定にタッチする

6 左右の回転矢印にタッチして自車の向きを調整する



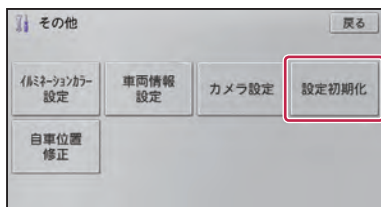
7 決定にタッチする

▼
自車位置が修正されます。

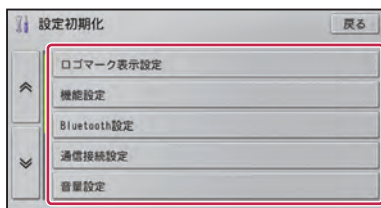
設定を初期状態に戻す

設定された機能を工場出荷時の状態に戻すことができます。

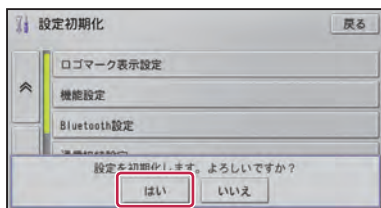
- 1 ナビゲーション画面で**メニュー**を押し、**設定**にタッチする
- 2 **設定**—**その他**にタッチする
- 3 **設定初期化**にタッチする



- 4 初期化したい項目にタッチする



- 5 **はい**にタッチする



選んだ項目が初期化されます。

通信機能を使う

お天気情報を利用する	110
天気予報アイコンの見かた	110
駐車場満空情報を利用する	111
ガスタ価格情報を利用する	112

お天気情報を利用する

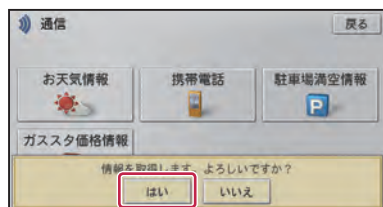
お天気情報(天気予報)を地図画面に表示することができます。

メモ

- あらかじめ、通信設定(→P94)を行ってください。

1 ナビゲーション画面でメニュー を押し、通信にタッチする

2 お天気情報 - はい にタッチ する



通信が開始され専用サーバーに接続されます。



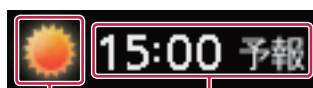
データの取得が完了すると、地図画面下部に天気予報アイコンが表示されます。現在地画面の場合は、現在地の天気予報を表示します。地図をスクロールした場合は、スクロールした地点の天気予報を表示します。

地図の表示方法がスカイビュー(→P28)のときは、天気予報に応じて空の色が変化します。

メモ

- 表示される情報は、(株)ライブビジネスウェザーの天気予報に基づいています(ただし、専用サーバー上のデータが更新されていない場合があります)。
- (株)ライブビジネスウェザーが天気予報を発表する時刻は、予告なく変更される場合があります。
- 取得した天気予報のデータは、発表時刻から23時間経過すると本機から削除されます。もう一度表示させるには、再度専用サーバーから天気予報のデータを取得してください。
- 天気予報のデータが取得できないときは、表示されません。
- サーバー側からの緊急メッセージがあるときは、メッセージが表示され、気象情報の取得処理は中止されます。
- サーバー側からメンテナンスなどの事前予告情報があるときは、メッセージが表示されますが、気象情報の取得処理は継続されます。

天気予報アイコンの見かた



天気マーク 予報時刻表示

	晴れ(昼)		大雨
	晴れ(夜)		雪
	曇り		大雪
	雨		

メモ

- 天気予報のデータが取得できなかったときは、天気予報アイコンは表示されません。

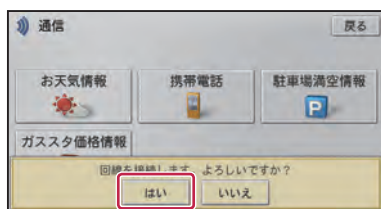
駐車場満空情報を利用する

専用サーバーから駐車場満空情報を取得して空いている駐車場を探し、目的地とすることができます。

メモ

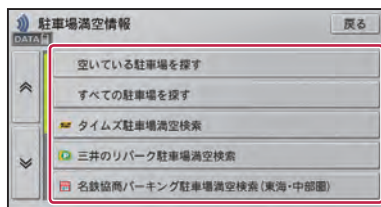
・あらかじめ、通信設定(→P94)を行ってください。

1 ナビゲーション画面で「メニュー」を押し、「通信」にタッチする

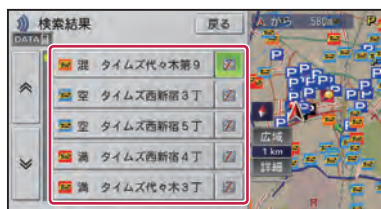


通信が開始され専用サーバーに接続されます。

3 探したい駐車場を選んで絞り込む



4 目的の施設にタッチする



選んだ施設を中心とした地図と詳細情報画面が表示されます。

5 地図表示にタッチする



該当する地図とショートカットメニューが表示されます。

以降の操作は、ショートカットメニューの操作(→P22)を参照してください。

メモ

- ・「駐車場満空情報」は、データが取得できていないときは、情報表示されません。
- ・駐車場は、「車両情報を設定する」(→P105)の「駐車制限」を考慮して検索されます。利用できない駐車場は(⊘)と表示されます。(実際の車両設定と異なる場合があります。)

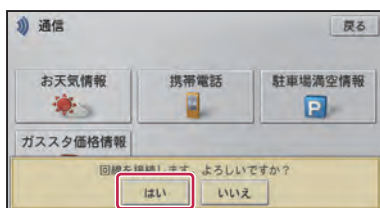
ガスタスタ価格情報を利用する

専用サーバーからガソリンの価格情報を取得して販売価格の安いガソリンスタンドを探し、目的地とすることができます。

メモ

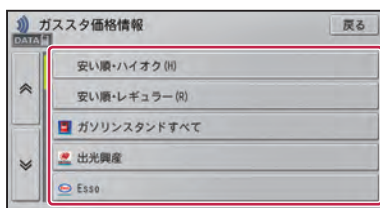
・あらかじめ、通信設定(→P94)を行ってください。

1 ナビゲーション画面で「メニュー」 を押し、「通信」にタッチする

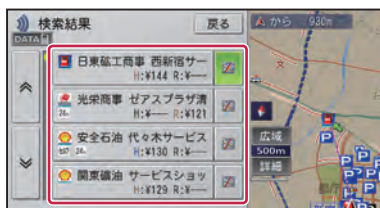


通信が開始され専用サーバーに接続されます。

3 探したいガソリンスタンドを選 んでタッチする

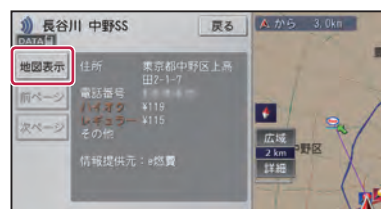


4 目的の施設にタッチする



選んだ施設を中心とした地図と詳細情報画面が表示されます。

5 地図表示にタッチする



該当する地図とショートカットメニューが表示されます。

以降の操作は、ショートカットメニューの操作(→P22)を参照してください。

メモ

- ・「ガスタスタ価格情報」は、データが取得できていないときは、情報表示されません。また、個人からの口コミによる情報のため、情報内容に関する保証は行いません。
- ・専用サーバーへ情報が保持されてからの経過時間に応じて価格情報を色で区別しています。
橙色 : 24時間以内
青色 : 7日以内
黒色 : 8日以上

オーディオ基本操作

オーディオの基本操作	114
AVソース画面を表示する	114
映像系AVソースについて	114
AVソースプレートの表示について	114
AVソースを切り換える	114
AVソースアイコンについて	115
AVソースをOFFにする	115
本機で再生可能なメディアとファイルの種類	116
走行中に制限される機能について	116

オーディオの基本操作

AVソース画面を表示する

1 ナビゲーション画面のときに

AVを押す

AVソース画面が表示されます。



ナビゲーション画面に戻るには、**現在地**を押します。

メモ

- AVソースがONの状態では**現在地**を押したときは、AVソースの音声はそのままにナビゲーション画面に戻ります。

映像系AVソースについて

DVDやTVなどの映像系AVソースの場合は、画面を切り換えるとはじめに映像のみ表示します。操作タッチキーなどを表示させたい場合は、一度画面にタッチしてください。



メモ

- 操作タッチキー表示後は、**ビュー**にタッチすると操作タッチキーを消すことができます。
- TVは、はじめにシンプル操作タッチキーが表示されます。シンプル操作タッチキーは、約8秒間何も操作しないと消えます。

AVソースプレートの表示について

地図画面のまま、本体のボタンによる選局・選曲操作などを行った場合は、地図画面上部にAVソースプレートが表示されます。AVソースプレートは、表示されてから約4秒間何も操作が行われないと消えます。AVソースプレートには、現在受信・再生中のAVソースの状態が表示されます。

AVソースプレート

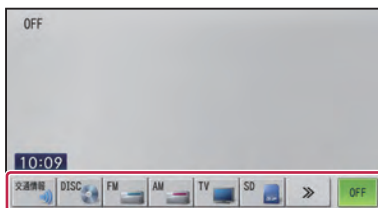


AVソースを切り換える

AVソースの切り換えは、タッチ操作(AVソースアイコン)で行います。

1 AVソース画面を表示する

2 お好みのAVソースアイコンにタッチする









AVソースアイコン

▼
選んだAVソースに切り換わります。

メモ

- AVソースアイコンの **▶▶** にタッチすることで、表示しきれなかったAVソースアイコンが表示されます。最後まで表示すると、はじめの状態に戻ります。
- DVDやTVなどの映像系AVソースの場合は、一度画面にタッチして、操作タッチキーを表示してから操作してください。
- USBとiPodまたはAUXとiPodの同時接続はできません。また、USBとiPodは現在接続中の機器のみがAVソースアイコンとして表示されます。
- 機器を接続していないAVソースや、再生の準備、設定ができていないAVソースは選べません。

AVソースアイコンについて

	幹線道路などで放送されている交通情報を受信したいときに選びます。
	音楽CDやDVDビデオなどを再生したいときに選びます。DISCが挿入されていないときは表示されません。
	FMラジオ放送を聞きたいときに選びます。
	AMラジオ放送を聞きたいときに選びます。
	ワンセグ放送を見たいときに選びます。
	USBメモリーに保存した音楽ファイルを再生したいときに選びます。
	iPodを使いたいときに選びます。
	SDカードに保存した音楽ファイルや映像ファイルを再生したいときに選びます。再生可能なファイルが含まれていない場合は、SDカードを挿入しても表示されません。

	BT AUDIOを使いたいときに選びます。
	ポータブルビデオなどを使いたいときに選びます。システム設定のVTR設定を行っていない場合は表示されません。
	外部オーディオ機器などを使いたいときに選びます。システム設定のAUX設定を行っていない場合は表示されません。
	選択中のAVソースをOFFにしたいときに選びます。

AVソースをOFFにする

AVソースの再生や受信をやめる場合は、AVソースをOFFにします。

1 OFFにタッチする

▼
AVソースがOFFになります。







メモ

- DVDビデオなど、再生停止ボタンが操作タッチキーに用意されているAVソースでは、OFFにしなくても再生を停止することができます。

本機で再生可能なメディアとファイルの種類

本機で再生可能なメディアとファイル形式の組み合わせには制限があります。以下の表をご覧ください。対応の可(○)否(×)をご確認のうえ、ご利用ください。

なお、ファイル形式や拡張子が対応可の場合でも、ファイルの作成方法などによっては再生できない場合もあります。

	ファイル形式	拡張子	 CD-R/RW	 DVD-R/RW	 USBメモリー	 SDカード
	WMA	.wma	○	○	○	○
	MP3	.mp3	○	○	○	○
	AAC	.m4a	○	○	○	○
	WAV	.wav	×	×	○	○
	MPEG-4	.avi/.mp4/.m4v	×	×	×	○
	WMV	.wmv	×	×	×	○
	H.264	.mp4	×	×	×	○

走行中に制限される機能について

本機は、安全のため走行中にテレビやVTRなどの映像を見ることができないようになっています。(走行中は、以下のようなメッセージが表示されます。)また、一部のメニュー操作はできません。安全な場所に停車してパーキングブレーキをかけてから、操作してください。

(例) DVDを見ようとしたとき



走行中は音声のみでお楽しみください。

放送を受信する

ラジオを聞く	118
ラジオの放送を受信する	118
プリセットの種類を選ぶ	118
バンドを切り換える	119
放送局を手動で登録する	119
放送局の自動登録	119
交通情報を聞く	120
交通情報を受信する	120
ワンセグ放送を見る	121
ワンセグを受信する	121
アイコン一覧	122
プリセットの種類を切り換える	122
受信可能な中継局を探す	122
放送局を手動で登録する	123
サービスを切り換える	123
番組表を表示する	123
番組内容を表示する	124
放送局を自動で登録する(チャンネルスキャン) ...	124
字幕を切り換える	124
音声を切り換える	124
視聴者設定を消去する	125

ラジオを聞く

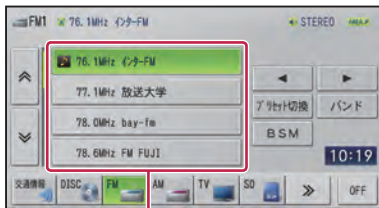
ラジオの受信のしかたを説明します。

ラジオの放送を受信する

1 AVソースをFMまたはAMにする(→P114)

▼
AVソース画面が表示され、前回受信していた放送局を受信します。

2 受信したい周波数や放送局にタッチする



リスト項目

リスト項目	タッチした放送局を受信します。
プリセット切換	プリセットの種類(→P118)を切り換えます。
◀または▶	周波数を順に送ります。(→P119) 長くタッチすると、受信できる放送局を自動的に探し、放送を受信すると止まります。(SEEK)
BSM	2秒以上タッチすると、受信状態の良い放送局を自動的にユーザープリセットに登録します。(→P119)
バンド	バンドを切り換えます。(→P119)

本体のボタンで操作する場合：

TRK を押す	プリセットチャンネルを順に送る
TRK を長く押す	受信できる放送局を自動的に探す(SEEK)
TRK を押し続ける	周波数を連続で送る(NON STOP SEEK)

メモ

- 放送局がリスト表示されていても、現在地の環境や電波状況によっては、受信できない場合があります。
- トンネル内や山かげ、ビルの谷間など、電波がささぎられやすい場所、電波の弱い地域では、受信状態が悪くなる場合があります。
- ステレオ放送を受信した場合は [STEREO] が表示されます。

プリセットの種類を選ぶ

ユーザーが登録した放送局(ユーザープリセット)を呼び出すか、あらかじめ本機に登録されている自車位置付近の放送局(エリアプリセット)を呼び出すかを選びます。

1 プリセット切換にタッチする

▼
タッチするごとに、USER(ユーザープリセット) ↔ AREA.P(エリアプリセット)が切り換わります。

メモ

- エリアプリセットに設定しておくで自車周辺の放送局がリスト表示され、かんたんに放送局を選ぶことができます。
- エリアプリセットでは、放送局の周波数変更が行われた場合には、受信できない場合や受信した放送局が表示と異なる場合があります。

バンドを切り換える

本機ではFM / AMそれぞれに2つのバンドがあり、バンドごとにプリセットメモリー(P1～P6)を使い分けることができます。

1 バンドにタッチする(→P118)

タッチすることにより、以下のように切り換わります。

FM1 ↔ FM2
AM1 ↔ AM2

メモ

- ふだんはFM1やAM1を使用し、旅行先ではFM2やAM2を使用するなど、用途によって使い分けると便利です。

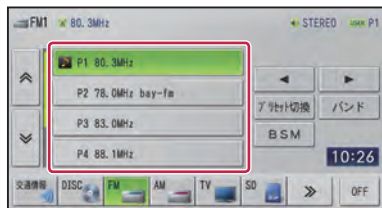
放送局を手動で登録する

ユーザープリセットに、FM1、FM2、AM1、AM2に各6局まで、手動で登録することができます(マニュアルプリセット)。

1 「ユーザープリセット」に切り換える(→P118)

2 ◀ / ▶ にタッチして登録したい放送局(周波数)を選ぶ(→P118)

3 登録したいリストのプリセットの枠に2秒以上タッチする



現在受信中の周波数が、選んだプリセットに登録されます。

放送局の自動登録

受信状態の良い放送局をユーザープリセットに自動的に登録することができます。

1 BSMに2秒以上タッチする(→P118)



中止 にタッチすると、自動登録を中止します。

自動登録が完了すると、ユーザープリセットに放送局が登録されます。

メモ

- 受信状態の良い放送局が登録可能数より少ない場合は、以前に登録した放送局が残る場合があります。

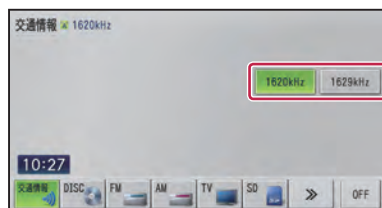
交通情報を聞く

幹線道路などで放送されている交通情報の受信のしかたを説明します。

交通情報を受信する

1 AVソースを交通情報にする (→P114)

▼
交通情報画面が表示され、前回聞いた周波数の交通情報を受信します。



1620kHz	1 620 kHzにします。
1629kHz	1 629 kHzにします。

本体のボタンで操作する場合：

TRK を押す	周波数を変更します。
----------------	------------

メモ

- 交通情報を受信しているときに音量を調整すると、交通情報用の音量として設定することができます。他のAVソースに切り換えて音量を調整しても、次に交通情報を受信したときは前回設定した音量で聞くことができます。

ワンセグ放送を見る

ワンセグ放送を視聴することができます。

メモ

・TVソースを初めて使用するときやバッテリーを外したとき、視聴者設定クリア(→P125)をしたとき、別のエリアに移動したときは、チャンネルスキャンをしてください。→「放送局を自動で登録する(チャンネルスキャン)」(P124)

注意

・停車中でパーキングブレーキがかかっているときに、モニターで映像を見ることができます。走行中は安全のため、モニターに映像は表示されません。

ワンセグを受信する

1 AVソースをTVにする(→P114)

AVソース画面が表示され、前回受信していた放送局を受信します。

2 画面にタッチする

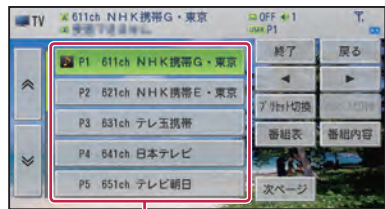
シンプル操作タッチキーが表示されます。



リスト項目

リスト項目	タッチした放送局を受信します。
詳細	操作タッチキー 1 を表示します。
ビュー	シンプル操作タッチキーを消し、映像画面に戻ります。

操作タッチキー 1



リスト項目

リスト項目	タッチした放送局を受信します。
終了	映像画面を表示します。
戻る	シンプル操作タッチキーを表示します。
◀または▶	3行チャンネルを順に送ります。(→P123) 長くタッチすると、物理チャンネルを自動的に探し、放送を受信すると止まります。(SEEK)
プリセット切換	プリセットの種類(→P122)を切り換えます。
サービス切換	同じ放送局内のサービスを切り換えます。(→P123)
番組表	番組表を表示します。(→P123)
番組内容	番組内容を表示します。(→P124)
次ページ	操作タッチキー 2 に切り換えます。

放送を受信する

操作タッチキー2



終了	映像画面を表示します。
戻る	シンプル操作タッチキーを表示します。
スキャン	2秒以上タッチすると、受信状態の良い放送局を自動的に登録します。(→P124)
字幕切換	複数の字幕がある場合、字幕を切り換えます。(→P124)
音声切換	複数の音声がある場合、音声を切り換えます。(→P124)
前ページ	操作タッチキー1に切り換えます。

本体のボタンで操作する場合：

[TRK] を押す	プリセットチャンネルを順に送る
[TRK] を長く押す	受信できる物理チャンネルを自動的に探す (SEEK)

メモ

- ワンセグの音量は、他のAVソースより低い
ため、他のAVソースからワンセグに切り換
えると、音が小さく感じられる場合があります。
ソースレベルアジャスターでAVソースご
との音量の違いをそろえることができます。(→
P167)

アイコン一覧

放送内容により、次のアイコンがAVソ
ースプレートに表示されます。

	ステレオ放送
	複数の音声あり
	字幕あり
	アンテナの受信感度

プリセットの種類を切り換
える

ユーザーが登録した放送局(ユーザープリ
セット)を呼び出すか、あらかじめ本機に
登録されている自車周辺の放送局(エリア
プリセット)を呼び出すかを選びます。

1 プリセット切換にタッチする
(→P121)

タッチすることにより、USER (ユーザー
プリセット) ↔ AREA.P (エリアプリセ
ット)が切り換わります。

メモ

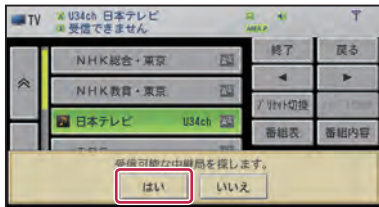
- エリアプリセットに設定しておく、自車周
辺の放送局がリストに表示され、かんたんに放送
局を選ぶことができます。
- エリアプリセットでは、放送局の周波数(チャ
ンネル)変更が行われた場合には、受信できな
い場合や受信した放送局が表示と異なる場合
があります。

受信可能な中継局を探す

エリアプリセットで同じ放送局の別エリア
の中継局が存在する場合は、放送局名の右
側に **AA** マークが表示されます。
受信状態が悪くなった場合などは次の操作
で受信可能な中継局を探して切り換えるこ
とができます。

1 「エリアプリセット」にする
(→P122)

2 受信中の放送局名にタッチして はいにタッチする



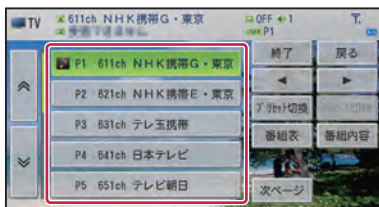
メモ

- ・エリア外に移動した場合は、チャンネルスキャン(→P124)をしてください。

放送局を手動で登録する

ユーザープリセットに12局まで手動で登録することができます(マニュアルプリセット)。

- 1 「ユーザープリセット」にする(→P122)
- 2 ◀ / ▶ にタッチして登録したい放送局を選ぶ(→P121)
- 3 登録したいリストのプリセットの枠に2秒以上タッチする



現在受信中の放送局が、選んだプリセットに登録されます。

サービスを切り換える

現在受信中のチャンネルで複数のサービスが提供されている場合、サービスを切り換えることができます。

- 1 サービス切換にタッチする(→P121)

別のサービスが表示されます。

番組表を表示する

現在視聴している放送局の番組表を最大10番組まで表示できます。

- 1 番組表を見たい放送局を選んで番組表にタッチする(→P121)

現在視聴している放送局の番組表が表示されます。



メモ

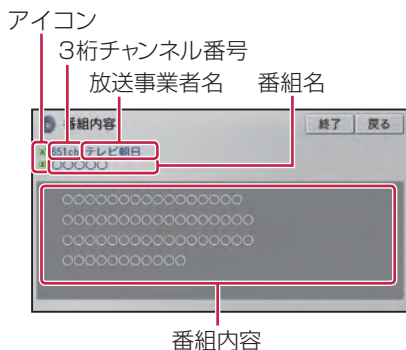
- ・リスト項目にタッチすると、番組内容を表示します。(→P124)
- ・終了にタッチすると、通常の放送画面に戻ります。

番組内容を表示する

視聴している番組の番組内容を表示します。

1 番組内容にタッチする (→P121)

▼
番組内容が表示されます。



メモ

- **終了**にタッチすると、通常の放送画面に戻ります。

放送局を自動で登録する (チャンネルスキャン)

受信状態の良い放送局をユーザープリセットに自動的に登録することができます。

1 スキャンに2秒以上タッチする (→P122)



▼
中止にタッチすると、スキャンを中止します。

字幕を切り換える

番組に字幕があるときに、字幕の言語と表示のON/OFFを切り換えます。

1 字幕切換にタッチする (→P122)

▼
タッチするごとに次のように切り換わります。

字幕1 → 字幕2 → 字幕OFF →
字幕1に戻る

音声を切り換える

番組に複数の音声があるときに、音声を切り換えます。

1 音声切換にタッチする (→P122)

▼
タッチするごとに次のように切り換わります。

複数の音声がある場合：

第1音声 → 第2音声 → 第1音声に
戻る

2カ国語放送(2重音声)の場合：

主音声 → 副音声 → 主音声+副音声 →
主音声に戻る

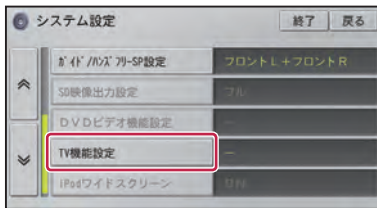
視聴者設定を消去する

破棄や譲渡などの場合に、視聴者設定を消去します。

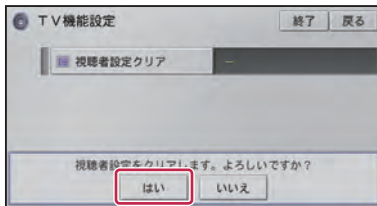
- 1 AVソース画面で **メニュー** を押し、**システム設定** にタッチする



- 2 **TV機能設定** にタッチする



- 3 **視聴者設定クリア** - **はい** にタッチする



▼
視聴者設定が消去されます。

音楽ディスクを使う

音楽CDを聴く	128
再生する	128
リストから選んで再生する	128
リピート再生	129
ランダム再生	129
ROM (WMA/MP3/AAC) を聴く	130
再生する	130
リストから選んで再生する	130
リピート再生	131
ランダム再生	131

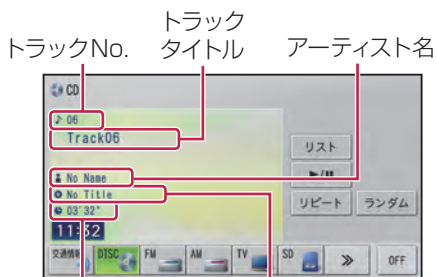
音楽CDを聴く

音楽CDの基本的な再生のしかたを説明します。

再生する

1 ディスクを挿入する(→『スタートブック』)

自動的に再生が始まります。



再生中トラックの経過時間 アルバムタイトル

リスト	トラックリストを表示します。 (→P128)
▶/⏸	再生中は一時停止します。 一時停止中は再生を再開します。
リピート	リピート再生を行います。 (→P129)
ランダム	ランダム再生を行います。 (→P129)

本体のボタンで操作する場合：

[TRK] を押す	トラックのダウン／アップ
[TRK] を長く押す	早戻し／早送り

メモ

- すでに再生したいディスクが挿入されている場合は、AVソースを切り換えてください。(→P114)
- ディスクの判別などを行うため、再生までに時間がかかります。

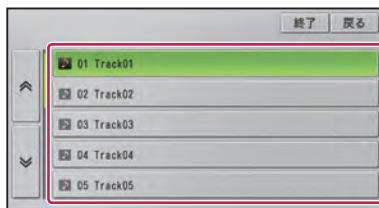
- 再生できるディスクについては「再生できるディスクの種類」(→P192)を参照してください。
- アルバムタイトル、トラックタイトル、アーティスト名は、CD-TEXTから情報が取得できた場合のみ表示されます。それ以外では、以下のように表示されます。
 - アルバムタイトル：No Title
 - トラックタイトル：Track01、Track02…
 - アーティスト名：No Name
- 音楽データ(CD)とWMA/MP3/AACデータ(ROM)が混在しているディスクを再生した場合、CDのみ再生されます。

リストから選んで再生する

リストを表示して、再生したい曲を直接選ぶことができます。

1 リストにタッチする(→P128)

2 聴きたい曲(トラック)にタッチする



メモ

- 通常再生画面に戻るには、**終了**または**戻る**にタッチします。

リピート再生

指定したディスク、トラックを繰り返して再生することができます。例えば、リピート再生の範囲をTRACK REPEATに指定すると、再生中のトラックを繰り返し聴くことができます。

1 リピートにタッチする (→P128)

タッチすることにより、リピート再生の範囲が以下のように切り換わります。

DISC REPEAT ↔ TRACK REPEAT

DISC REPEAT	通常の再生状態です。再生中のディスクを繰り返します。
TRACK REPEAT	再生中のトラック(曲)を繰り返します。

メモ

- リピート再生中にリピート再生の範囲を超える操作(TRACK REPEAT中の選曲操作など)を行うと、リピート再生の範囲が変更される場合があります。
- 選んだリピート再生範囲は画面に表示されませんが、通常再生であるDISC REPEATは、画面に表示されません。

ランダム再生

曲順を変えて再生することができます。

1 ランダムにタッチする (→P128)

タッチすることにより、ランダム再生のON/OFFが切り換わります。

メモ

- リピート再生の範囲がTRACK REPEATの場合、ランダム再生をONにすると、リピート再生の範囲はDISC REPEATに自動的に切り換わります。
- ランダム再生中にリピート再生やリピート再生の範囲を超える操作を行うと、ランダム再生が中止される場合があります。

ROM(WMA/MP3/AAC)を聴く

ROM(WMA/MP3/AAC)の基本的な再生のしかたを説明します。

再生する

1 ディスクを挿入する(→『スタートブック』)

自動的に再生が始まります。



リスト	トラックリストを表示します。 (→P130)
▶ 	再生中は一時停止します。 一時停止中は再生を再開します。
リピート	リピート再生を行います。 (→P131)
ランダム	ランダム再生を行います。 (→P131)

本体のボタンで操作する場合：

TRK を押す	トラックのダウン/アップ
TRK を長く押す	早戻し/早送り

メモ

- すでに再生したいディスクが挿入されている場合は、AVソースを切り換えてください。(→P114)
- ディスクの判別などを行うため、再生までに時間がかかります。

- 再生できるディスクについては「再生できるディスクの種類」(→P192)を参照してください。
- ID3 Tag/WMA Tag/AAC Tag(→P196～197)からタイトル情報を取得できた場合は、タイトルやアーティスト名が表示されます。
- タイトル情報を取得できなかった場合は以下のように表示されます。
 - アルバムタイトル：フォルダー名
 - トラックタイトル：ファイル名
 - アーティスト名：No Name
- WMAのときにTagのAuthor情報があった場合、アーティスト名として表示します。
- DRM(デジタル著作権管理)が設定されたファイルは再生できません。
- 音楽データ(CD)とWMA/MP3/AACデータ(ROM)が混在しているディスクを再生した場合、CDのみ再生されます。

リストから選んで再生する

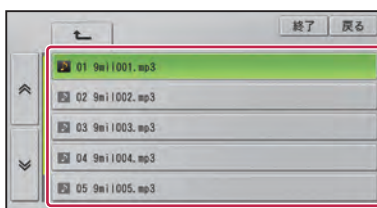
リストを表示して、再生したい曲を直接選ぶことができます。

1 リストにタッチする(→P130)


メモ

- リスト**に長くタッチすると、ルートフォルダー内のリストを表示します。

2 聴きたい曲(トラック)にタッチする



 メモ

-  にタッチすると上位階層フォルダーの内容をリスト表示します。
- フォルダーリスト表示中にフォルダー名にタッチすると、そのフォルダーの内容をリスト表示します。
- リストに表示されるフォルダー数はCD-R、DVD-R共通で最大700、ファイル数はCD-R最大999、DVD-R最大3500です。

リピート再生

指定したディスク、フォルダー、トラックを繰り返して再生することができます。例えば、リピート再生の範囲をTRACK REPEATに指定すると、再生中のトラックを繰り返し聴くことができます。

1 リピートにタッチする (→P130)

タッチすることにより、リピート再生の範囲が以下のように切り換わります。

DISC REPEAT → TRACK REPEAT →
FOLDER REPEAT → DISC REPEATに
戻る

DISC REPEAT	通常の再生状態です。再生中のディスクを繰り返します。
TRACK REPEAT	再生中のトラック(曲)を繰り返します。
FOLDER REPEAT	再生中のフォルダーを繰り返します。

 メモ

- リピート再生中にリピート再生の範囲を超える操作(TRACK REPEAT中の選曲操作など)を行うと、リピート再生の範囲が変更される場合があります。
- 選んだリピート再生範囲は画面に表示されませんが、通常再生であるDISC REPEATは、画面に表示されません。

ランダム再生

曲順を変えて再生することができます。

1 ランダムにタッチする (→P130)

▼
タッチすることにより、ランダム再生のON/OFFが切り換わります。

 メモ

- リピート再生の範囲がTRACK REPEATの場合、ランダム再生をONにすると、リピート再生の範囲はFOLDER REPEATに自動的に切り換わります。
- ランダム再生中にリピート再生やリピート再生の範囲を超える操作(フォルダーの切り換えなど)を行うと、ランダム再生が中止される場合があります。

映像ディスクを使う

DVDビデオを見る	134
再生する	134
ディスクメニューの操作(ダイレクトタッチ) ...	135
ディスクメニュー操作キーで操作する	135
ブックマークの登録	136
リピート再生	136
コマ送り再生	137
スロー再生	137
字幕言語の切り換え	137
音声言語の切り換え	138
音声出力の切り換え	138
アングルの切り換え	138
リターン再生	139
ダイレクトサーチ	139
DVD-VRを見る	140
再生する	140
リストからタイトルを選んで再生する	141
CMバック/スキップ	141
リピート再生	141
コマ送り再生	142
スロー再生	142
字幕言語の切り換え	142
音声言語の切り換え	143
音声多重の切り換え	143
ダイレクトサーチ	143
DVDの機能設定	144
基本字幕言語	144
基本音声言語	144
メニュー言語	144
マルチアングル	145
テレビアスペクト	145
視聴制限	146
暗証番号を忘れたときは	146
オートプレイ	147
言語コード表	148

DVDビデオを見る

DVDビデオの基本的な再生のしかたについて説明します。

! 注意

- ・停車中でパーキングブレーキがかかっているときに、モニターで映像を見ることができます。安全のため、走行中はモニターに映像が表示されません。

再生する

1 ディスクを挿入する(→『スタートブック』)

自動的に再生が始まります。

2 画面にタッチする

操作タッチキー1が表示されます。

操作タッチキー 1



トップメニュー / メニュー	ディスクに記録されたメニューがある場合、メニュー画面を表示します。(→P135)
☒	ディスクメニュー操作キーを表示して、ディスクメニューの操作を行います。(→P135)
ブックマーク	再生中のディスクにブックマークを登録します。(→P136)
▶ 	再生中は一時停止します。一時停止中は再生を再開します。

■	再生を停止します。停止した場所を記憶し、次回同じディスクを再生すると、続きから再生されます。(ディスクによっては続きから再生されない場合があります。)
リピート	リピート再生を行います。(→P136)
▶▶	コマ送り再生 / スロー再生を行います。(→P137)
次ページ	操作タッチキー2に切り換えます。

操作タッチキー 2



字幕切換	再生中に字幕を切り換えます。(マルチ字幕)(→P137)
音声切換	再生中に音声を切り換えます。(マルチ音声)(→P138)
L/R切換	音声出力を切り換えます。(→P138)
アングル	再生中にカメラアングルを切り換えます。(マルチアングル)(→P138)
リターン	戻る位置が指定されたディスクの場合、再生中に指定された位置まで戻って再生します。(→P139)
10キーサーチ	ダイレクトサーチを行います。(→P139)
前ページ	操作タッチキー1に切り換えます。

本体のボタンで操作する場合：

[TRK] を押す	チャプターのダウン/ アップ
[TRK] を長く押す	早戻し/早送り
[TRK] を押し続ける	キーを離してからも早戻し/早送りを続けます。 もう一度押すと通常再生に戻ります。

メモ

- **ピュー**にタッチすると操作タッチキーは消えます。
- すでに再生したいディスクが挿入されている場合は、AVソースを切り換えてください。(→P114)
- DVDによっては、ディスクメニューが表示されて自動的に再生が開始されない場合があります。その場合は、ディスクメニューを操作して再生してください。→「ディスクメニューの操作(ダイレクトタッチ)」(→P135)
- オートプレイの設定をONにすると、タイトル順に自動的に再生することができます。→「オートプレイ」(P147)
- DVDの録音レベルは他のAVソースより低い場合、他のAVソースからDVDに切り換えると、音が小さく感じられる場合があります。ソースレベルアジャスターでAVソースごとの音量の違いをそろえることができます。(→P167)
- 再生できるディスクについては「再生できるディスクの種類」(→P192)を参照してください。

ディスクメニューの操作(ダイレクトタッチ)

ディスクメニューは、ディスクにあらかじめ記録されているメニューのことで、表示されるメニューや操作方法は、再生するディスクによって異なります。本機は、画面に表示されるディスクメニューに直接タッチして操作することができます。

1 トップメニューまたはメニューにタッチする(→P134)

2 画面にタッチして操作する



メモ

- **[]**にタッチするとディスクメニュー操作キーを表示して操作することができます。

ディスクメニュー操作キーで操作する

ディスクメニューの文字列が小さくてタッチしにくいときや、文字列の一部がタッチキーなどに隠れてしまっている場合などは、ディスクメニュー操作キーを表示して操作することができます。

1 操作タッチキー1またはディスクメニュー表示中に**[]**にタッチする(→P134)

つづく→

2 ▲◀▶▼にタッチして項目を選び、決定にタッチする



メモ

- ◀位置にタッチすると、ディスクメニュー操作キーの表示位置を画面右側から画面左側へ変更することができます。表示位置を画面右側へ戻す場合は**位置▶**にタッチしてください。
- ビューにタッチすると、ディスクメニューに戻ります。
- 戻るにタッチすると、一つ前の画面に戻ります。

ブックマークの登録

ブックマークとは、ディスク再生中に場面を選んで登録する機能です。次にディスクを挿入したときに、登録した場面から再生されます。

1 ブックマークにタッチする (→P134)

選んだ場面がブックマークとして登録され、次回ディスク挿入時、その場面より再生されます。

消去する場合は、**ブックマーク**に2秒以上タッチします。

メモ

- ディスク1枚につき1場面登録でき、ディスク5枚分のブックマークを登録できます。5枚を超えて新しいディスクにブックマークを登録すると、一番使用時期の古いディスクのブックマーク情報に上書きされます。

リピート再生

指定したディスク、チャプター、タイトルを繰り返して再生することができます。例えば、リピート再生の範囲をCHAPTER REPEATに指定すると、再生中のチャプターを繰り返し見ることができます。

1 リピートにタッチする (→P134)

タッチするごとに、リピート再生の範囲が次のように切り換わります。

DISC REPEAT → CHAPTER REPEAT
→ TITLE REPEAT → DISC REPEAT
に戻る

DISC REPEAT	通常の再生状態です。再生中のディスクを繰り返します。
CHAPTER REPEAT	再生中のチャプターを繰り返します。
TITLE REPEAT	再生中のタイトルを繰り返します。

メモ

- 選んだリピート再生範囲は、画面に表示されませんが通常再生であるDISC REPEATは画面に表示されません。
- ディスクまたは再生位置によっては、⊘(禁止マーク)が表示され、リピート再生できない場合があります。
- リピート再生中にリピート再生の範囲を超える操作(CHAPTER REPEAT中のチャプターの切り換えなど)を行うと、リピート再生が中止される場合があります。



コマ送り再生

再生中の映像を1コマずつ止めながら、進めて見ることができます。

1 にタッチする(→P134)

再生が一時停止し、 にタッチすることにより、映像が1コマずつ送られます。


メモ

-  にタッチすると通常再生に戻ります。
- ディスクによっては、コマ送り再生時に映像が乱れる場合があります。
- ディスクや再生位置によって、 (禁止マーク) が表示され、操作できない場合があります。

スロー再生



再生スピードを遅くして見ることができます。

1 に2秒以上タッチする(→P134)

スロー再生されます。
スロー再生中に  にタッチすることにより、スロー再生の速度が以下のように切り換わります。

1/16 → 1/8 → 1/4 → 1/2

メモ

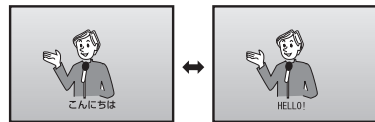
-  にタッチすると通常再生に戻ります。
- ディスクによっては、スロー再生中に映像が乱れる場合があります。
- 戻り方向のスロー再生はできません。
- ディスクや再生位置によって、 (禁止マーク) が表示され、操作できない場合があります。

字幕言語の切り換え


字幕が複数収録されているディスクの場合、再生中に字幕を切り換えることができます(マルチ字幕)。

1 字幕切換 にタッチする(→P134)

タッチすることにより、字幕言語が切り換わります。



メモ

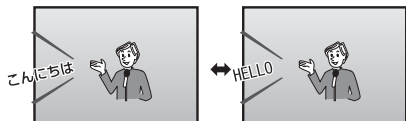
- パッケージについている  マークの数字が、字幕の収録数です。
- DVDによっては、収録されているディスクメニューでしか切り換えることができない場合があります。

音声言語の切り換え

音声が多音録されているディスクの場合、再生中に音声を切り換えることができます(マルチ音声)。

1 音声切換にタッチする (→P134)

タッチするごとに、音声言語が切り換わります。



メモ

- パッケージについているⓂマークの数字が、音声の収録数です。
- DVDによっては、収録されているディスクメニューでしか切り換えることができない場合があります。
- DTS音声は再生できません。
- [Dolby D] や [5.1ch] などの表示は、ディスクに収録されている音声の内容を表示していません。実際に再生される音声は、設定により表示とは異なる場合があります。

音声出力の切り換え

音声がりニアPCMのディスクの場合、収録された左右のチャンネルのうち、どちらをスピーカーから出力するかを切り換えます。

1 L/R切換にタッチする (→P134)

タッチするごとに、音声出力のチャンネルが以下のように切り換わります。

L + R → L → R → MIX → L + Rに戻る

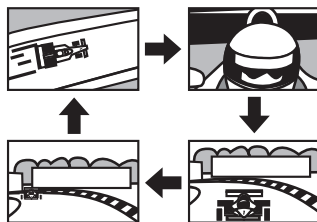
L + R	左右両方の音声を出力します。
L	左の音声を出力します。
R	右の音声を出力します。
MIX	左右の音声をミックスして出力します。

アングルの切り換え

複数のカメラで同時に撮影された映像が収録されているディスクの場合、再生中にカメラアングルを切り換えることができます(マルチアングル)。

1 アングルにタッチする (→P134)

タッチするごとに、アングルが切り換わります。



メモ

- マルチアングルが収録されている場面で操作します。マルチアングルが収録されている場面を再生すると、アングル選択マークとアングル番号が表示されます。
- パッケージについているマークの数字が、アングルの収録数です。
- アングル選択マークの表示/非表示は、DVD機能設定メニューの「マルチアングル」で行います。→「マルチアングル」(P145)

リターン再生

戻る位置の指定が収録されているディスクの場合、指定された位置まで戻って再生することができます。

1 リターンにタッチする (→P134)

▼
ディスクの指定された位置まで戻り、再生を始めます。

ダイレクトサーチ

見たい場面を数字で指定して再生することができます。

1 10キーサーチにタッチする (→P134)

2 指定する方法(サーチの種類)にタッチする

TITLE、**CHAPTER**、**TIME**、**10キーモード**が選べます。



数字キー

3 見たい場面の番号を入力し、**決定**にタッチする

TITLE	タイトル番号を入力します。
CHAPTER	チャプター番号を入力します。
TIME	時間を分・秒で入力します。 分・秒にタッチすると分と秒を確定します。
10キーモード	数字のコマンドを入力します。

▼
指定した場面から再生を始めます。

DVD-VRを見る

DVD-VRの基本的な再生のしかたについて説明します。

！ 注意

- ・停車中でパーキングブレーキがかかっているときに、モニターで映像を見ることができます。安全のため、走行中はモニターに映像が表示されません。

再生する

1 ディスクを挿入する(→『スタートブック』)

自動的に再生が始まります。

2 画面にタッチする

操作タッチキー1が表示されます。

操作タッチキー 1



リスト	タイトルリストを表示します。(→P141)
CMバック / CMスキップ	一定の秒数だけ早戻し／早送りを行います。(→P141)
▶/ 	再生中は一時停止します。一時停止中は再生を再開します。
■	再生を停止します。停止した場所を記憶し、次回同じディスクを再生すると、続きから再生されます。(ディスクによっては続きから再生されない場合があります。)
リピート	リピート再生を行います。(→P141)
 ▶	コマ送り再生／スロー再生を行います。(→P142)
次ページ	操作タッチキー2に切り換えます。

操作タッチキー 2



字幕切換	再生中に字幕を切り換えます。(マルチ字幕)(→P142)
音声切換	再生中に音声を切り換えます。(マルチ音声)(→P143)
音声多重	音声出力を切り換えます。(→P143)
10キーサーチ	ダイレクトサーチを行います。(→P143)
前ページ	操作タッチキー1に切り換えます。

本体のボタンで操作する場合：

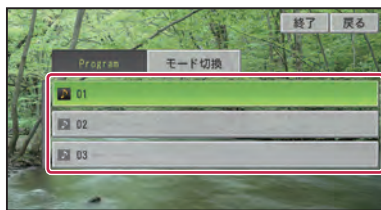
TRK を押す	チャプターのダウン／アップ
TRK を長く押す	早戻し／早送り
TRK を押し続ける	キーを離してからも早戻し／早送りを続けます。もう一度押すと通常再生に戻ります。

メモ

- ・**ピュ**にタッチすると操作タッチキーは消えます。
- ・すでに再生したいディスクが挿入されている場合は、AVソースを切り換えてください。(→P114)
- ・DVD-VRの録音レベルは他のAVソースより低いいため、他のAVソースからDVD-VRに切り換えると、音が小さく感じられる場合があります。ソースレベルアジャスターでAVソースごとの音量の違いをそろえることができます。(→P167)
- ・再生できるディスクについては「再生できるディスクの種類」(→P192)を参照してください。

リストからタイトルを選んで再生する

リストから見たいタイトルを選んで再生することができます。

1 リストにタッチする (→P140)**2 見たいタイトルにタッチする**

選んだタイトルが再生されます。

メモ

- ・**モード切換**にタッチすることにより、リスト表示をProgram再生(ディスクに記録された順番に再生)とPlayList再生(ユーザーが任意で指定して記録された順番に再生)に切り換えることができます。
- ・PlayListが無い場合は、通常再生であるProgram再生のみとなり、**モード切換**は選択できません。
- ・モード切換を行うと、必ずそれぞれの先頭のタイトルから再生されます。

CMバック/スキップ

再生中の映像を、一定の秒数だけ早戻し/早送りします。CMなどを飛ばして再生するときなどに使うと便利です。

1 CMバック または CMスキップ にタッチする (→P140)

タッチすることにより、以下のような秒数で早戻し/早送りされます。

CMバック (早戻し)	「5秒」→「15秒」→「30秒」→「1分」→「2分」→「3分」→「0秒」→「5秒」に戻る
CMスキップ (早送り)	「30秒」→「1分」→「1分30秒」→「2分」→「3分」→「5分」→「10分」→「0秒」→「30秒」に戻る

メモ

- ・ディスクや再生位置によって、⊙(禁止マーク)が表示され、操作できない場合があります。

リピート再生

指定したディスク、チャプター、タイトルを繰り返して再生することができます。例えば、リピート再生の範囲をCHAPTER REPEAT に指定すると、再生中のチャプターを繰り返し見ることができます。

1 リピートにタッチする (→P140)

タッチすることにより、リピート再生の範囲が次のように切り換わります。

DISC REPEAT → CHAPTER REPEAT
→ TITLE REPEAT → DISC REPEAT
に戻る

つづく→

DISC REPEAT	通常の再生状態です。再生中のディスクを繰り返します。
CHAPTER REPEAT	再生中のチャプターを繰り返します。
TITLE REPEAT	再生中のタイトルを繰り返します。

メモ

- 選んだりリピート再生範囲は、画面に表示されませんが、通常再生であるDISC REPEATは画面に表示されません。
- ディスクまたは再生位置によっては、Ⓢ(禁止マーク)が表示され、リピート再生できない場合があります。
- リピート再生中にリピート再生の範囲を超える操作(CHAPTER REPEAT中のチャプターの切り換えなど)を行うと、リピート再生が中止される場合があります。

コマ送り再生

再生中の映像を1コマずつ止めながら、進めて見ることができます。

1 1/2にタッチする(→P140)

再生が一時停止し、1/2にタッチすることにより、映像が1コマずつ送られます。

メモ

- 1/2にタッチすると通常再生に戻ります。
- ディスクによっては、コマ送り再生時に映像が乱れる場合があります。
- ディスクや再生位置によって、Ⓢ(禁止マーク)が表示され、操作できない場合があります。
- 静止画コンテンツを再生された場合は、タッチすることに静止画が順に送られます。

スロー再生

再生スピードを遅くして見ることができます。

1 1/16に2秒以上タッチする(→P140)

スロー再生されます。

スロー再生中に1/16にタッチすることにより、スロー再生の速度が以下のように切り換わります。

1/16 → 1/8 → 1/4 → 1/2

メモ

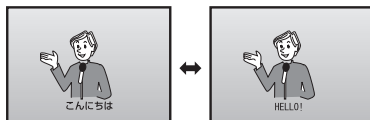
- 1/16にタッチすると通常再生に戻ります。
- ディスクによっては、スロー再生中に映像が乱れる場合があります。
- 戻り方向のスロー再生はできません。
- スロー再生速度を逆方向に切り換えることはできません。元に戻りたい場合(1/2から1/4など)は、1/16にタッチしてスロー再生を解除してから操作し直してください。

字幕言語の切り換え

字幕が複数収録されているディスクの場合、再生中に字幕を切り換えることができます(マルチ字幕)。

1 字幕切換にタッチする(→P140)

タッチすることにより、字幕言語が切り換わります。

**メモ**

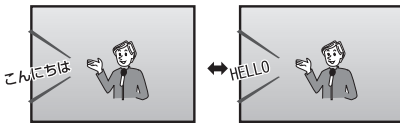
- ディスクによっては、収録されているディスクメニューでしか切り換えることができない場合があります。

音声言語の切り換え

音声が多音録されているディスクの場合、再生中に音声を切り換えることができます(マルチ音声)。

1 音声切換にタッチする (→P140)

タッチすることにより、音声言語が切り換わります。



メモ

- DTS音声は再生できません。
- [Dolby D] や [5.1ch] などの表示は、ディスクに収録されている音声の内容を表示しています。実際に再生される音声は、設定により表示とは異なる場合があります。

音声多重の切り換え

ディスクに2カ国語放送が収録されているときは、主音声と副音声を切り換えることができます。

1 音声多重にタッチする (→P140)

タッチすることにより、以下のように切り換わります。

MAIN+SUB → MAIN → SUB → MIX
→ MAIN+SUBに戻る

MAIN+SUB	左側スピーカーから主音声、右側スピーカーから副音声を出力します。
MAIN	左右のスピーカーから主音声のみを出力します。

SUB	左右のスピーカーから副音声のみを出力します。
MIX	左右のスピーカーから主音声と副音声を一緒に出力します。

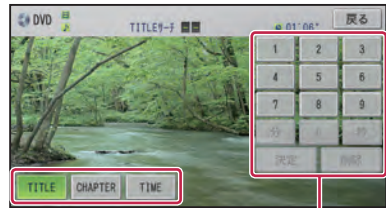
ダイレクトサーチ

見たい場面を数字で指定して再生することができます。

1 10キーサーチにタッチする (→P140)

2 指定する方法(サーチの種類)にタッチする

TITLE、CHAPTER、TIMEが選べます。



数字キー

TITLE	タイトル番号を入力します。
CHAPTER	チャプター番号を入力します。
TIME	時間を分・秒で入力します。 分・秒にタッチすると分と秒を確定します。

3 見たい場面の番号を入力し、**決定**にタッチする

指定した場面から再生を始めます。

DVDの機能設定

DVD-V (Video mode) とDVD-VR (VR mode) の再生条件を、あらかじめ使用する環境に合わせて設定することができます。

本書の表記について

DVD-V **DVD-VR** : Video modeとVR mode共に設定できる項目です。

DVD-V **DVD-VR** : Video modeのみ設定できる項目です。

基本字幕言語 **DVD-V** **DVD-VR**

優先して表示させたい字幕の言語を設定することができます(マルチ言語字幕)。工場出荷時は「日本語」です。

1 AVソース画面で **メニュー** を押し、**システム設定** にタッチする

2 **DVDビデオ機能設定** - **基本字幕言語** にタッチする

3 それぞれの言語を設定する



日本語、**英語**、**フランス語**、**ドイツ語**、**イタリア語**、**スペイン語**、**ポルトガル語**、**中国語**、**韓国語**、**その他** から選んでタッチします。

メモ

- **その他** にタッチしたときは、「言語コード表」(→ P148) より、4桁の言語コードを数字で入力します。
- 選んだ言語がディスクに収録されていない場合は、ディスクで指定されている言語が選ばれます。
- ディスクによっては設定した言語が優先されない場合があります。

基本音声言語 **DVD-V** **DVD-VR**

優先して聞きたい音声の言語を設定することができます(マルチ音声)。操作方法と設定項目は基本字幕言語と同じです。

メニュー言語 **DVD-V** **DVD-VR**

ディスクに収録されているメニュー画面の表示言語について、優先して表示させたい言語を設定することができます。操作方法と設定項目は基本字幕言語と同じです。

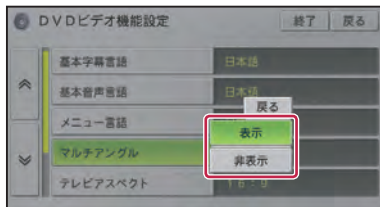
マルチアングル

DVD-V DVD-VR

マルチアングルの場面を再生しているときに表示される、アングル選択マークの表示/非表示を設定することができます。

工場出荷時は「表示」です。

- 1 AVソース画面で **メニュー** を押し、**システム設定** にタッチする
- 2 **DVDビデオ機能設定** — **マルチアングル** にタッチする
- 3 **表示** または **非表示** にタッチする



表示	アングルマークを表示します。
非表示	アングルマークを表示しません。

メモ

- この設定は、複数のカメラで同時に撮影された映像（マルチアングル）が収録されているディスクに対して有効です。

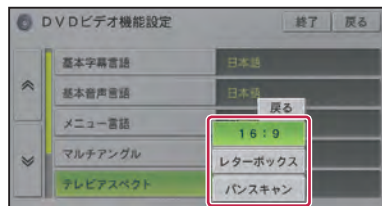
テレビアスペクト

DVD-V DVD-VR

接続したテレビのアスペクト（画面の縦横比）を設定します。

工場出荷時は「16:9」です。

- 1 AVソース画面で **メニュー** を押し、**システム設定** にタッチする
- 2 **DVDビデオ機能設定** — **テレビアスペクト** にタッチする
- 3 アスペクトを設定する



16:9	ワイドモニター（16:9）使用時に選びます。16:9で収録された画像が16:9で表示されます。
レターボックス	ノーマルモニター（4:3）使用時に選びます。16:9で収録された画像の横幅を4:3モニターの横幅に合わせて16:9の比率で表示します。
パンスキャン	ノーマルモニター（4:3）使用時に選びます。16:9で収録された画像の縦幅を4:3モニターの縦幅に合わせて16:9の比率で表示します（左右にはみ出た映像は表示されません）。

メモ

- 通常は16:9に設定してお使いください。リアモニターにノーマルモニターを接続した場合でアスペクト比をリアモニターに合わせたい場合のみ設定を変えてください。
- パンスキャン指定されていないディスクを再生したときは、**パンスキャン**に設定してもレターボックスで再生されます。ディスクのパッケージなどで「16:9 PS」マークを確認してください。
- ディスクによっては、テレビアスペクトの変更ができないものもあります。詳しくは、ディスクの説明書を参照してください。

視聴制限 DVD-V DVD-VR

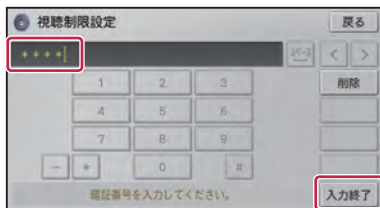
視聴制限レベルが設定されているディスクでは、成人向けの内容や暴力シーンなど、子供に見せたくない場面にパスワードを設定して視聴制限をかけることができます(パレンタルロック)。

工場出荷時は「8」です。

1 AVソース画面で **メニュー** を押し、**システム設定** にタッチする

2 **DVDビデオ機能設定** — **視聴制限** にタッチする

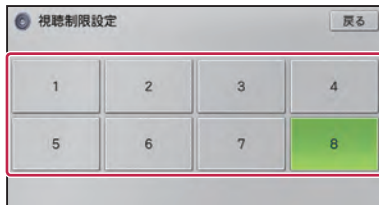
3 4桁の暗証番号を入力し、**入力終了** にタッチする



メモ

- はじめて操作する場合は、希望の暗証番号を登録してください。以後、視聴制限されたディスクを再生するときや制限レベルを変更するときは、登録した暗証番号の入力が必要になります。

4 制限レベルを設定する



設定レベル	内容
8	ディスクをすべて再生します。
7 ~ 2	成人向けディスクの再生を禁止します(子供向けや一般向けディスクを再生します)。
1	子供向けのディスクのみ再生します。

暗証番号を忘れたときは

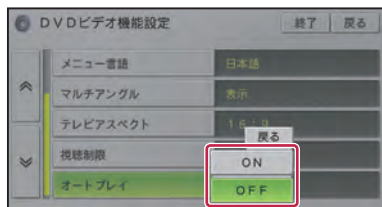
暗証番号入力画面で **削除** に10回連続でタッチすると、暗証番号が解除されます。

オートプレイ DVD-V DVD-VR

DVDを挿入したときに、メニューのタイトル順に自動的に再生を開始するかどうかを設定します。

工場出荷時は「OFF」です。

- 1 AVソース画面で **メニュー** を押し、**システム設定** にタッチする
- 2 **DVDビデオ機能設定** — **オートプレイ** にタッチする
- 3 **ON** または **OFF** にタッチする



ON	自動再生します。
OFF	自動再生しません。

メモ

- オートプレイの設定をONにしても、ご使用されるディスクにより期待どおりの動作ができない場合があります。このような場合は、オートプレイをOFFにして再生してください。

言語コード表

言語名 (言語コード)	入カコード
日本語 (ja)	1001
英語 (en)	0514
フランス語 (fr)	0618
スペイン語 (es)	0519
ドイツ語 (de)	0405
イタリア語 (it)	0920
中国語 (zh)	2608
オランダ語 (nl)	1412
ポルトガル語 (pt)	1620
スウェーデン語 (sv)	1922
ロシア語 (ru)	1821
韓国語 (ko)	1115
ギリシャ語 (el)	0512
アファル語 (aa)	0101
アブハジア語 (ab)	0102
アフリカーンス語 (af)	0106
アムハラ語 (am)	0113
アラビア語 (ar)	0118
アッサム語 (as)	0119
アイマラ語 (ay)	0125
アゼルバイジャン語 (az)	0126
バシキール語 (ba)	0201
ベラルーシ語 (be)	0205
ブルガリア語 (bg)	0207
ビハーリー語 (bh)	0208
ビスラマ語 (bi)	0209
ベンガル語 (bn)	0214
チベット語 (bo)	0215
ブルトン語 (br)	0218
カタロニア語 (ca)	0301
コシカ語 (co)	0315
チェコ語 (cs)	0319
ウェールズ語 (cy)	0325
デンマーク語 (da)	0401
ブータン語 (dz)	0426
エスペラント語 (eo)	0515
エストニア語 (et)	0520
バスク語 (eu)	0521
ペルシア語 (fa)	0601
フィンランド語 (fi)	0609
フィジー語 (fj)	0610
フェロー語 (fo)	0615
フリジア語 (fy)	0625
アイルランド語 (ga)	0701
スコットランドゲール語 (gd)	0704
ガルシア語 (gl)	0712

言語名 (言語コード)	入カコード
グアラニ語 (gn)	0714
グジャラート語 (gu)	0721
ハウサ語 (ha)	0801
ヒンディー語 (hi)	0809
クロアチア語 (hr)	0818
ハンガリー語 (hu)	0821
アルメニア語 (hy)	0825
国際語 (ia)	0901
interlingue (ie)	0905
イヌピアック語 (ik)	0911
インドネシア語 (in)	0914
アイスランド語 (is)	0919
ヘブライ語 (iw)	0923
イディッシュ語 (ji)	1009
ジャワ語 (jw)	1023
グルジア語 (ka)	1101
カザフ語 (kk)	1111
グリーンランド語 (kl)	1112
カンボジア語 (km)	1113
カンナダ語 (kn)	1114
カシミール語 (ks)	1119
クルド語 (ku)	1121
キルギス語 (ky)	1125
ラテン語 (la)	1201
リンガラ語 (ln)	1214
ラオス語 (lo)	1215
リトアニア語 (lt)	1220
ラトビア語 (lv)	1222
マダガスカル語 (mg)	1307
マオリ語 (mi)	1309
マケドニア語 (mk)	1311
マラヤーラム語 (ml)	1312
モンゴル語 (mn)	1314
モルダビア語 (mo)	1315
マラータ語 (mr)	1318
マライ語 (ms)	1319
マルタ語 (mt)	1320
ビルマ語 (my)	1325
ナウル語 (na)	1401
ネパール語 (ne)	1405
ノルウェー語 (no)	1415
プロバンス語 (oc)	1503
オロモ語 (om)	1513
オリヤー語 (or)	1518
パンジャブ語 (pa)	1601
ポーランド語 (pl)	1612

言語名 (言語コード)	入カコード
アフガニスタン語 (ps)	1619
ケチュア語 (qu)	1721
レートロマン語 (rm)	1813
キルンディ語 (rn)	1814
ローマ語 (ro)	1815
キニヤルワンダ語 (rw)	1823
サンスクリット語 (sa)	1901
シンド語 (sd)	1904
サンド語 (sg)	1907
セルボクroatia語 (sh)	1908
セイロン語 (si)	1909
スロバック語 (sk)	1911
スロベニア語 (sl)	1912
サモア語 (sm)	1913
ショナ語 (sn)	1914
ソマリ語 (so)	1915
アルバニア語 (sq)	1917
セルビア語 (sr)	1918
シスワティ語 (ss)	1919
セストゥ語 (st)	1920
スندا語 (su)	1921
スワヒリ語 (sw)	1923
タミル語 (ta)	2001
テルグ語 (te)	2005
タジル語 (tg)	2007
タイ語 (th)	2008
チグリス語 (ti)	2009
ツルキ語 (tk)	2011
タガログ語 (tl)	2012
セツワナ語 (tn)	2014
トンガ語 (to)	2015
トルコ語 (tr)	2018
ツォンガ語 (ts)	2019
タタール語 (tt)	2020
トゥィ語 (tw)	2023
ウクライナ語 (uk)	2111
ウルドゥー語 (ur)	2118
ウズベク語 (uz)	2126
ベトナム語 (vi)	2209
ボラビュク語 (vo)	2215
ウォルフ語 (wo)	2315
コーサ語 (xh)	2408
ユルバ語 (yo)	2515
ズールー語 (zu)	2621

SD / USBの操作のしかた	150
音楽ファイルを再生する	150
映像ファイルを再生する (SDのみ)	150
音楽ファイルと映像ファイルを 切り換える (SDのみ)	151
聴きたい曲や見たい映像を探す	151
ダイレクトサーチ (SDのみ)	152
リピート再生	152
ランダム再生	152

SD / USBの操作のしかた

本機に接続したSDカード / USBメモリー内の音楽ファイル (WMA/MP3/AAC/WAV) やSDカード内の映像ファイル (MPEG4/H.264/WMV) の操作について説明します。

! 注意

- SDカードの出し入れは、決められた手順で行ってください。→「スタートブック」-「SDカードの出し入れ」
異なる手順で出し入れを行うと、SDカードに保存したデータが破損する場合があります。

メモ

- 本機は、以下のメディアに対応しています。
 - USBメモリー：最大容量 16GB、ファイルシステム FAT 32/16
 - SDカード：最大容量 32GB、ファイルシステム FAT 32/16、SDHC対応
- DRM (デジタル著作権管理) が設定されたファイルは再生できません。
- 再生可能なファイルに関しては「本機で再生可能なメディアとファイルの種類」(→P116) をご覧ください。

音楽ファイルを再生する

1 AVソースをSDまたはUSBにする(→P114)

▼
前回再生していたファイルから再生されます。



リスト	ファイルリストを表示します。(→P151)
ビデオ (SDのみ)	映像ファイルの再生に切り換わりします。(→P151)
▶ 	再生中は一時停止します。一時停止中は再生を再開します。
リピート	リピート再生します。(→P152)
ランダム	ランダム再生します。(→P152)

メモ

- MP3/WMA/AACファイルからタイトル情報を取得できた場合は、タイトルやアーティスト名が表示されます。
- タイトル情報を取得できなかった場合は以下のように表示されます。
 - アルバムタイトル：フォルダー名
 - ファイルタイトル：ファイル名
 - アーティスト名：No Name
- WMAのときにTagのAuthor情報があった場合、アーティスト名として表示します。

映像ファイルを再生する (SDのみ)

1 AVソースをSDにする(→P114)

▼
前回再生していたファイルから再生されます。

画面にタッチすると、操作タッチキーが表示されます。



10キーサーチ	ダイレクトサーチを行います。(→P152)
リスト	ファイルリストを表示します。(→P151)
ミュージック	音楽ファイルの再生に切り換わります。(→P151)
▶/ 	再生中は一時停止します。一時停止中は再生を再開します。
■	再生を停止します。
リピート	リピート再生します。(→P152)

注意

- 停車中でパーキングブレーキがかかっているときに、モニターで映像を見ることができません。走行中は安全のためにモニターには、映像は表示されません。

メモ

- ビュー**にタッチすると、操作タッチキーは消えます。
- 本機で再生するSDカード内の映像ファイルの解像度は、WQVGA (400×240ピクセル) 以下となります。また、ビットレートが高すぎるファイルなどは、本機で再生できない場合があります。ビットレートの上限値は以下の通りです。
 - MPEG4 : 2.5 Mbps
 - H.264 : 1.5 Mbps
 - WMV : 768 kbps
- 本機で再生するSDカード内の映像ファイルの再生時間は、約2時間30分(150分)までとなります。
- 映像の表示方法を変更することができます。→「SD映像出力設定」(P173)

本体のボタンで操作する場合：

TRK を押す	ファイルのダウン/アップ
TRK を長く押す	早戻し/早送り

音楽ファイルと映像ファイルを切り換える (SDのみ)

1 現在の再生状況に応じて、ビデオまたはミュージックにタッチする (→P150, 151)

音楽ファイル再生中は映像ファイルに切り換わります。
映像ファイル再生中は音楽ファイルに切り換わります。

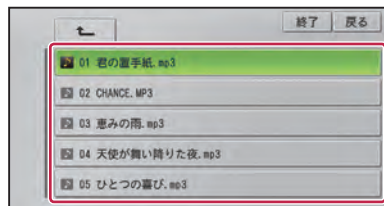
聴きたい曲や見たい映像を探す

1 リストにタッチする (→P150, 151)

メモ

- リスト**に長くタッチすると、ルートフォルダー内のリストを表示します。
- MacintoshからSDカードまたはUSBメモリーへ保存した音楽ファイルおよび映像ファイルは、正しくリスト表示されない場合があります。

2 聴きたい曲または見たい映像にタッチする

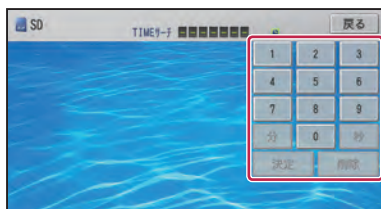


メモ

- 映像ファイルのリスト画面では、**戻る**にタッチすると操作タッチキー画面に戻ります。**終了**にタッチすると映像画面に戻ります。
- 戻る**にタッチすると上位階層フォルダーの内容をリスト表示します。
- フォルダー名にタッチした場合は、そのフォルダーの内容をリスト表示します。
- リストに表示される順番は、音楽ファイルおよび映像ファイルが作成された日時順で表示します。
- リストに表示されるフォルダー数は最大300、ファイル数は最大5 000です。

ダイレクトサーチ (SDのみ)

映像ファイル再生中は、見たい場面を数字で指定して再生することができます。

1 10キーサーチにタッチする (→P151)**2 見たい場面の時間 (分・秒) を入力し、決定にタッチする**

指定した場面から再生を始めます。

リピート再生

指定した範囲を繰り返し再生することができます。

1 リピートにタッチする (→P150, 151)

タッチすることにより、リピート再生の範囲が以下のように切り換わります。

MEDIA REPEAT → FILE REPEAT → FOLDER REPEAT → MEDIA REPEAT に戻る

MEDIA REPEAT	通常の再生状態です。再生中のメディアを繰り返します。
FILE REPEAT	再生中のファイル (曲) を繰り返します。
FOLDER REPEAT	再生中のフォルダーを繰り返します。

メモ

- リピート再生中にリピート再生の範囲を超える操作 (FILE REPEAT中の選曲操作など) を行うと、リピート再生の範囲が変更される場合があります。
- 選んだリピート再生範囲は画面に表示されませんが、通常再生であるMEDIA REPEATは、画面に表示されません。

ランダム再生

音楽ファイル再生中は、再生順を変えて再生することができます。

1 ランダムにタッチする (→P150)

タッチすることにより、ランダム再生のON/OFFが切り換わります。

メモ

- リピート再生の範囲がFILE REPEATの場合、ランダム再生をONにすると、リピート再生の範囲はFOLDER REPEATに自動的に切り換わります。

iPodの操作のしかた	154
再生する	154
iPodミュージックと iPodビデオを切り換える	155
聴きたい曲や見たい映像を探す	155
リピート再生	156
シャッフル再生	156
コントロールモードを切り換える	156

! 注意

- 停車中でパーキングブレーキがかかっているときに、モニターで映像を見ることができません。走行中は安全のためにモニターには、映像は表示されません。

メモ

- **ビュー** にタッチすると、操作タッチキーは消えます。
- 映像の表示方法をワイドスクリーンで行うことができます。→「iPodワイドスクリーン」(P173)

本体のボタンで操作する場合：

TRK を押す	チャプターまたはトラックのダウン/アップ
TRK を長く押す	早戻し/早送り
TRK を押し続ける (iPodビデオの場合のみ)	キーを離してからも早戻し/早送りを続けます。もう一度押すと通常再生に戻ります。

iPodミュージックとiPodビデオを切り換える

1 現在の再生状況に応じて、**ビデオ** または **ミュージック** にタッチする(→P154)



iPodミュージック再生中はiPodビデオのリストに切り換わります。

iPodビデオ再生中はiPodミュージックのリストに切り換わります。

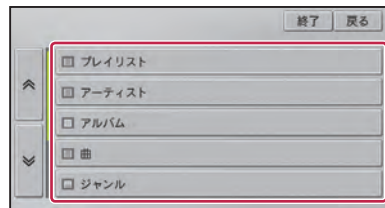
聴きたい曲や見たい映像を探す

1 **リスト** にタッチする(→P154)

メモ

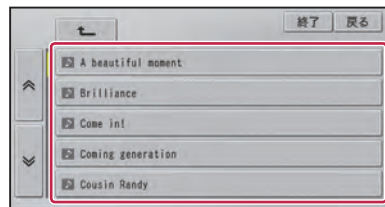
- **リスト** に長くタッチすると、iPodミュージックまたはiPodビデオのトップリストを表示します。

2 曲または映像を絞り込む

**メモ**

- それぞれのカテゴリで絞り込むことができます。
- 「ミュージック」に含まれる曲のリスト項目は、本機とiPod側で一致しない場合があります。

3 聴きたい曲または見たい映像にタッチする

**メモ**

- iPodビデオのリスト画面では、**戻る** にタッチすると操作タッチキー画面に戻ります。**終了** にタッチすると映像画面に戻ります。
- **戻る** にタッチすると上位階層のリストを表示します。

リピート再生

指定した範囲を繰り返し再生することができます。

1 にタッチする(→P154)

タッチすることにより、リピート再生の範囲が以下のように切り換わります。

REPEAT ONE ↔ REPEAT ALL

シャッフル再生

再生順を変えて再生することができます。

1 にタッチする(→P154)

タッチすることにより、シャッフルの範囲が以下のように切り換わります。

OFF → SHUFFLE SONGS →
SHUFFLE ALBUMS → OFFに戻る

コントロールモードを切り換える

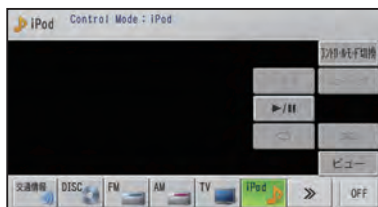
1 **コントロールモード切換** にタッチする(→P154)

タッチすることにより、以下のように切り換わります。

コントロールモード：ナビ



コントロールモード：iPod



メモ

- コントロールモード：iPodのときは、再生操作（再生／一時停止、チャプターまたはトラックのダウン／アップ、早戻し／早送り）とコントロールモードの切り換えが行えます。その他の操作は、iPod本体から行ってください。
- 接続されたiPodによっては、操作が制限される場合があります。

BT AUDIOを使う

BT AUDIOの操作のしかた	158
BT AUDIO機器の登録	158
再生する	158
リピート再生	159
ランダム再生	160
BT AUDIO機器の接続について	160
一時的に接続が切断された場合	160
BT AUDIO機器が自動的に接続されない場合	160

BT AUDIOの操作のしかた

AVプロファイルに対応したBluetooth機器(以降BT AUDIO機器)と本機をワイヤレス接続することで、BT AUDIO機器内の音楽データを本機で再生することができます。AVプロファイルの種類やバージョンによって、操作できる機能や表示される内容は異なります。

接続プロファイル	音声伝送	選曲操作	特殊再生操作	情報表示
A2DP Ver1.0	○	×	×	×
A2DP+AVRCP Ver1.0	○	△	×	×
A2DP+AVRCP Ver1.3	○	△	△	△

○：できます。 △：BT AUDIO機器により異なります。 ×：できません。

A2DP (Advanced Audio Distribution Profile) とは、音声をワイヤレスで伝送するためのプロファイルです。

AVRCP (Audio/Video Remote Control Profile) とは、楽曲の選曲操作や情報表示するためのプロファイルです。

BT AUDIO機器の登録

BT AUDIO機器をお使いになるには、あらかじめ本機にBT AUDIO機器を登録する必要があります。→「Bluetooth設定を行う」(P95)

登録が行われ、使用用途として「ハンズフリー／BT AUDIO」または「BT AUDIO」が設定されたBT AUDIO機器は、AVソースがBT AUDIOに切り換えられた時点で自動的に本機と接続され再生が始まります。

メモ

- 本機に登録されていないBT AUDIO機器は、接続することができません。
- 優先接続するBT AUDIO機器を変更したい場合は、Bluetooth設定で行ってください。→「携帯電話を切り換える／削除する」(P96)
- BT AUDIO機器が別のプロファイルで接続中は、接続できないことがあります。その場合は、BT AUDIO機器の全てのプロファイルを切断してから接続してください。

再生する

1 ソースをBT AUDIOに切り換える(→P114)

自動的にBT AUDIO機器と接続を行い、再生が始まります。



機器接続	本機とBT AUDIO機器が自動的に接続されない場合に、BT AUDIO機器側から接続を行います。(→P160)
▶	再生します。一時停止中は、再生を再開します。
 	一時停止します。
リピート	リピート範囲を切り換えます。(→P159)
ランダム	ランダム再生をON/OFFします。(→P160)

本体のボタンで操作する場合：

TRK を押す	トラックのダウン/アップ
TRK を長く押す	早戻し/早送り

メモ

- 自動的に再生が始まらない場合は、▶にタッチしてください。
 - お使いのBT AUDIO機器によっては、▶にタッチしても再生が開始されない場合があります。その場合は、BT AUDIO機器側で再生を開始させてください。
 - BT AUDIO機器によっては、早戻し/早送りに音が出る場合と出ない場合があります。
 - A2DP接続のみの場合は▶や■などの操作タッチキーは選択できません。その場合は、BT AUDIO機器側で操作してください。
 - BT AUDIO使用中に、ハンズフリー機能や通信機能、電話帳転送機能を使用すると、一時的にBT AUDIOの機能は停止します。
 - A2DP+AVRCP接続の場合でも、機種によっては操作できない場合や本書に記載された説明とは異なる動作をする場合があります。
 - A2DP+AVRCP Ver 1.3で接続した場合は、トラックタイトルやアーティスト名などの情報が表示されます。(BT AUDIO機器によっては表示されない場合もあります)
- また、何らかの理由により再生が始まらない場合や接続が切断された場合は、一時的にこれらの情報が表示されなくなりますが、再生が始まると再表示されます。
- お使いになるBT AUDIO機器によっては使用できない機能や制限事項があります。

リピート再生

指定した範囲内を繰り返し再生することができます。

1 リピートにタッチする (→P158)



タッチすることにより、リピート再生の範囲が以下のように切り換わります。

OFF → TRACK REPEAT → ALL REPEAT → OFFに戻る

TRACK REPEAT	再生中のトラック(曲)を繰り返します。
ALL REPEAT	最後のトラックの再生が終了すると、先頭のトラックから繰り返します。

メモ

- 接続した機器により、操作や再生範囲が異なる場合があります。
- 「OFF」は通常の再生状態です。AVソースプレートやBT AUDIOの画面には表示されません。
- リピート再生中にリピート再生の範囲を超える操作(TRACK REPEAT中の選曲操作など)を行うと、リピート再生範囲が変更される場合があります。

ランダム再生

選んだりリピート再生の範囲で、曲順を変えて再生することができます。

1 ランダムにタッチする (→P158)



タッチすることにより、ランダム再生のON/OFFが切り換わります。

メモ

- 接続した機器により、操作や再生範囲が異なる場合があります。
- 「OFF」は通常の再生状態です。AVソースプレートやBT AUDIOの画面には表示されません。

BT AUDIO機器の接続について

一時的に接続が切断された場合

本機との接続が成功したBT AUDIO機器は、以下のような理由により一時的にBluetooth接続が切断された場合、自動的に再接続を行います。

- AVソースを切り換えた場合
- ACCをOFF/ONした場合
- データ通信を行った場合
- 電話帳転送を行った場合
- 電波発射をOFF/ONした場合

メモ

- 以下の場合、自動接続の対象外となります。BT AUDIO機器側から再接続してください。(→P160)
 - BT AUDIO機器側の操作でBluetooth接続を切断した場合
 - BT AUDIO再生中にBT AUDIO機器が本機から離れ、強制的にBluetooth接続が切断された場合
 - その他、何らかの理由により再接続が失敗した場合

- お使いになる携帯電話によっては、BT AUDIOを使用中はデータ通信を行えない場合があります。このような場合は、いったんBT AUDIOをOFF(→P115)にし、携帯電話の音楽再生ソフトを終了させてからデータ通信を行ってください。

BT AUDIO機器が自動的に接続されない場合

お使いになるBT AUDIO機器によっては、BT AUDIO機器の登録が行われていても自動的に接続できないことがあります。その場合は、以下の手順で接続してください。

1 機器接続にタッチする (→P158)

2 BT AUDIO機器を操作して本機と接続する

メモ

- 接続を開始してから1分以内に接続が完了しない場合、接続処理は中断されます。
- BT AUDIO機器側の接続操作は、BT AUDIO機器に付属の取扱説明書をご覧ください。
- 自動接続中など何らかの処理を行っているときに**機器接続**にタッチしても、現在行っている処理が終わるまでは本機能が使用できない場合があります。

その他の機器を使う

その他の機器の使いかた	162
VTRを使う	162
AUXを使う	162

その他の機器の使いかた

VTRを使う

本機にポータブルビデオなどの外部映像機器を接続すると、その映像を本機のAVソース（VTR）として見ることができます。あらかじめVTR設定を行ってください。→「VTR設定」(P171)

！ 注意

- 停車中でパーキングブレーキがかかっているときに、モニターで映像を見ることができます。安全のため走行中は、モニターに映像が表示されません。

1 AVソースをVTRにする (→P114)



ビデオなどの映像が表示されます。



メモ

- 接続する機器により、別売の各種変換ケーブルが必要になります。
- ビデオ機器からの入力信号が大きい場合、音が歪む場合があります。この場合、接続した機器側で音量を調整してください。
- 接続した機器により、映像が正常に表示されない場合があります。

AUXを使う

本機にポータブルオーディオプレーヤーなどの外部機器を接続すると、その音声や映像を本機のAVソース（AUX）として再生することができます。あらかじめ外部機器の入力設定を行ってください。→「AUX設定」(P172)

！ 注意

- 停車中でパーキングブレーキがかかっているときに、モニターで映像を見ることができます。安全のため走行中は、モニターに映像が表示されません。

1 AVソースをAUXにする (→P114)



外部機器の音声や映像が再生されます。

オーディオの音質を設定する

オーディオの音質を設定する	164
フェーダー / バランス設定	164
ラウドネス設定	164
イコライザー設定	165
ニュアンス(イコライザー効果)を調整する ...	166
イコライザーを補正する	166
ソースレベルアジャスター設定	167
音場設定 (VSC)	167
ポジションを設定する	168

オーディオの音質を設定する

お好みに合わせてオーディオの音質を設定することができます。

メモ

- 交通情報(→P120)を受信中は、AVメニューを表示することができません。
- 走行中は操作できない設定項目があります。
- オーディオ設定画面を操作中に、音声案内、ハンズフリー通話などがあった場合は、オーディオ設定の各種設定はできません。ただし、消音タイミング(→P171)がOFFに設定されている場合は、設定を行うことができます。
- AVソースOFF時は、設定できません。

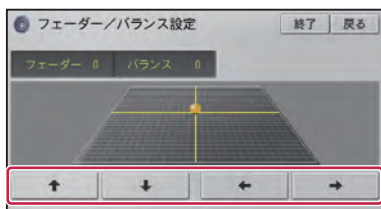
フェーダー / バランス設定

前後左右の音量バランスを設定することができます。

工場出荷時は「フェーダー 0 バランス 0」です。

1 AVソース画面で **メニュー** を押し、**オーディオ設定 - フェーダー / バランス設定** にタッチする

2 **↑、↓、←、→** にタッチして前後左右のバランスを調節する



カーソルの位置で前後左右の音のバランスを確認できます。

ラウドネス設定

小さな音量で聞いているときに、低・高音の不足感を補正して、メリハリのある音にすることができます。

工場出荷時は以下のとおりです。

設定	OFF
効果	MID

1 AVソース画面で **メニュー** を押し、**オーディオ設定 - ラウドネス設定** にタッチする

2 **ON** にタッチする



ラウドネスを設定しない場合は、**OFF** にタッチします。

3 **← または →** で **LOW / MID / HIGH** から設定する



イコライザー設定

あらかじめ用意された5つの設定（ファクトリーカーブ）とお好みで調節した設定（CUSTOM）からイコライザーカーブを選ぶことができます。
工場出荷時は「FLAT」です。

1 AVソース画面で「メニュー」を押し、「オーディオ設定 - イコライザー設定」にタッチする

2 お好みの設定にタッチする



タッチするごとにイコライザーカーブが切り換わります。

+ -	ファクトリーカーブのニュアンスを調整します。 (→P166)
詳細設定	選んだファクトリーカーブを補正します。

ファクトリーカーブ	SUPER BASS	低音が厚みを持ち、迫力のある重低音が響きます。
	POWERFUL	低音と高音が厚みを持ち、アップテンポな曲がメリハリよく聞こえます。
	NATURAL	自然なバランスで、聞き疲れしない心地良い音を再生します。
	VOCAL	中高音域が厚みを持ち、伸びやかなボーカルを際立たせます。
	FLAT	音の補正をしません。設定したイコライザーカーブと交互に切り換えて、イコライザーの効果を確認するときにご使用ください。
	CUSTOM1 、 CUSTOM2	CUSTOMメモリーに登録した調整値を呼び出します。

メモ

- **FLAT** **CUSTOM1** **CUSTOM2** を選択しているときは、ニュアンスレベルの調整は行えません。
- **CUSTOM1** はAVソースごとに登録されますが、同じ設定になるものは以下のとおりです。
 - FM, AM
 - CD, ROM, DVD-V, DVD-VR
 - SD, USB
 - VTR, AUX

ニュアンス（イコライザー効果）を調整する

選んだファクトリーカーブの全体的なレベルを調整し、イコライザー効果を調整します。

プラスに調整するほど、イコライザー効果が増します。

1 ファクトリーカーブを選ぶ (→P165)

2 **+** または **-** にタッチして、レベルを設定する



SUPERBASS、POWERFUL、VOCAL:
-12 dB ~ +12 dBの間で2 dBごとに調整できます。

NATURAL:
-8 dB ~ +12 dBの間で2 dBごとに調整できます。

イコライザーを補正する

選んだファクトリーカーブを、各周波数でさらに細かくレベルを補正することができます。補正した値は、CUSTOM1に登録されます。

メモ

- **CUSTOM2** を選んで行った補正値は、CUSTOM2に登録されます。

1 ファクトリーカーブを選ぶ (→P165)

2 **詳細設定** にタッチする

3 補正する周波数を選び、**▲** または **▼** にタッチしてレベルを補正する



50 Hz、125 Hz、315 Hz、800 Hz、2 kHz、5 kHz、12.5 kHzから周波数を選びます。

-12 dB ~ +12 dBの間で2 dBごとに調整できます。

ソースレベルアジャスター設定

AVソースを切り換えたときに音量の違が出ないように、FMの音量を基準にして各AVソースの音量の差をそろえることができます。

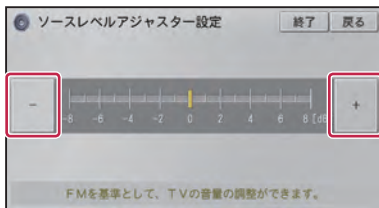
工場出荷時は「±0 dB」です。

メモ

- FMの音量を基準に他のAVソースとの音量を調節するため、FMを聞いているときは、ソースレベルアジャスターを設定することはできません。
- AVソースごとに登録されますが、同じ設定になるものは以下のとおりです。
 - CD、ROM
 - AM、交通情報
 - VTR、AUX
 - SD、USB
 - DVD-V、DVD-VR

1 AVソース画面で「メニュー」を押し、「オーディオ設定」→「ソースレベルアジャスター設定」にタッチする

2 + または - にタッチする



-8 dB ~ +8 dB の範囲で 2 dB ごとに調節できます。

音場設定 (VSC)

お好みの音場をリアルに再現することができます。

工場出荷時は「OFF」です。

1 AVソース画面で「メニュー」を押し、「オーディオ設定」→「音場設定 (VSC)」にタッチする

2 音場を選ぶ



ポジション	音場の再現の中心となるポジションを設定します。(→P168)
OFF	音場効果を設定しません。
MUSIC STUDIO	演奏者を前にして聴くように、音が前方から聞こえるような音場を設定します。音楽ソフトを楽しむときに適しています。
DYNAMIC THEATER	迫力のある重低音と効果音を強調します。映画などを楽しむときに適しています。
ACTOR'S STAGE	ドラマや演劇など、台詞が聞き取りやすいように中音域を強調します。
RELAX LIVING	リビングでくつろぐような感覚を再現します。BGMなどを流すのに適しています。

メモ

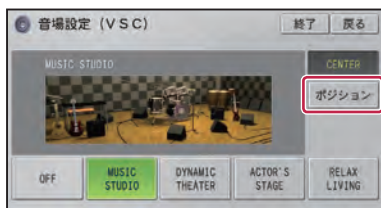
- 中音域を強調する RELAX LIVING は、最大音量付近では効果を得られません。

ポジションを設定する

メモ

- 音場設定をOFFに設定すると、ポジションの効果も無効になります。

1 P167「音場設定(VSC)」の手順2で音場を選び、**ポジション**にタッチする



2 **ポジション**を選ぶ



LEFT、**CENTER**、**RIGHT** から設定できます。

オーディオのシステムを設定する

オーディオのシステムを設定する	170
ワイドモード設定	170
ワイドモードの種類	170
消音タイミング	171
消音レベル	171
VTR設定	171
AUX設定	172
ガイド/ハンズフリー SP設定	172
SD映像出力設定	173
DVDビデオ機能設定	173
TV機能設定	173
iPodワイドスクリーン	173

オーディオのシステムを設定する

本機のいろいろな機能を使うための基本的な設定を行います。

メモ

- 交通情報(→P120)を受信中は、AVメニューを表示することができません。

ワイドモード設定

映像系ソース(DVDなど)の映像は、通常の映像をワイド映像に拡大する方法を選択することができます。

工場出荷時は「FULL」です。

メモ

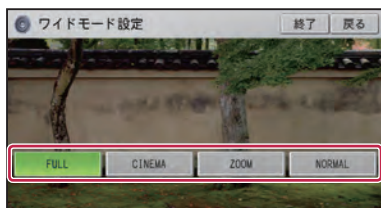
- 通常映像は縦横比4:3、ワイド映像は縦横比16:9です。
- 設定内容は、映像の種類ごとに別々に設定・登録できます。
- ワンセグ、SDとナビゲーションや音声系ソース(CD、ROMなど)、バックカメラは、ワイドモードの切り換えはできません。

メモ

- 通常のテレビ放送の番組でズーム、ノーマル以外の、映像の縦横比が異なるモードを選ぶと、本来の映像と見えかたに差が出ます。
- シネマ、ズームで映像を見るときは、画質が粗くなります。
- 営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、本機のワイドモード切り換え機能を利用すると(フル、ズームなどで画面の圧縮や引き伸ばしなどを行うと)、著作権法上で保護されている作者の権利を侵害するおそれがありますので、ご注意ください。

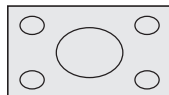
1 AVソース画面で(メニュー)を押し、システム設定→ワイドモード設定にタッチする

2 お好みの表示方法を選んでタッチする



FULL (フル)

4:3の映像の左右だけを拡大します。映像が欠けることなくワイド画面が表示されます。



CINEMA (シネマ)

フルとズームの中間の比率で、上下を拡大します。字幕が映像の外側の黒い部分に表示されるものに適しています。



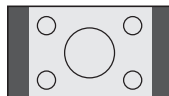
ZOOM (ズーム)

4:3の映像の上下だけを拡大します。映画など横長の映像のうち、字幕が映像の上に重なって表示されるものに適しています。



NORMAL (ノーマル)

4:3の映像をそのまま表示します。テレビの通常の映像と同じです。



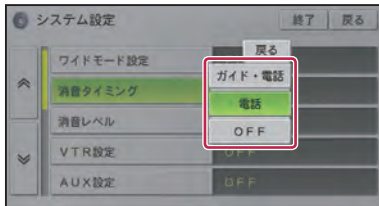
消音タイミング

音声案内、ハンズフリー通話の着信などの場合に、一時的にオーディオの音量を絞ったり、消したりして音声を聞き取りやすくすることができます。

工場出荷時は「電話」です。

1 AVソース画面で「メニュー」を押し、「システム設定」→「消音タイミング」にタッチする

2 消音タイミングを設定する



ガイド・電話	音声案内やハンズフリー通話の着信時にオーディオの音量を下げます。
電話	ハンズフリー通話の着信時にオーディオの音量を下げます。
OFF	オーディオの音量を下げません。

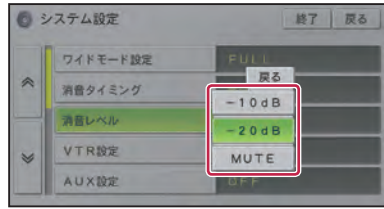
消音レベル

消音タイミング時に音量を下げるレベルを設定します。

工場出荷時は「-20 dB」です。

1 AVソース画面で「メニュー」を押し、「システム設定」→「消音レベル」にタッチする

2 消音レベルを設定する



-10dB	音量が1/3になります。
-20dB	音量が1/10になります。
MUTE	音量が0になります。

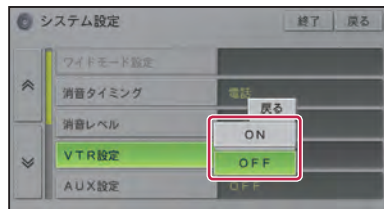
VTR設定

ポータブルビデオなどを本機に接続した場合に、映像や音声を表示するかしないかを設定します。

工場出荷時は「OFF」です。

1 AVソース画面で「メニュー」を押し、「システム設定」→「VTR設定」にタッチする

2 ON または OFF にタッチする



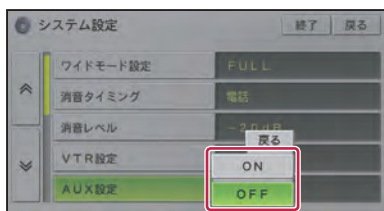
ON	接続されたポータブルビデオなどの映像を表示するとき
OFF	何も接続されていないとき

AUX設定

ポータブルプレーヤーなどの外部機器を本機に接続した場合に、その音声や映像を出力するかしないかを設定します。工場出荷時は「OFF」です。

1 AVソース画面で **メニュー** を押し、**システム設定** - **AUX設定** にタッチする

2 **ON** または **OFF** にタッチする



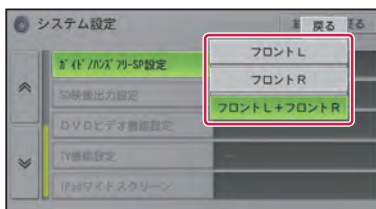
ON	AUXに接続した機器の音声や映像を再生するとき
OFF	何も接続されていないとき

ガイド／ハンズフリー SP設定

ナビゲーションの音声案内やハンズフリー通話の受話音などを、どのフロントスピーカーから出力するかを設定します。工場出荷時は「フロントL+フロントR」です。

1 AVソース画面で **メニュー** を押し、**システム設定** - **ガイド／ハンズフリー SP設定** にタッチする

2 スピーカーにタッチする



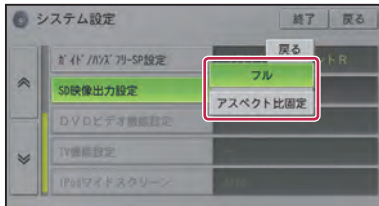
フロントL	フロント左側から出力します。
フロントR	フロント右側から出力します。
フロントL+ フロントR	フロント左右から出力します。

SD映像出力設定

SDカード内の映像データ再生時の表示形式を設定します。あらかじめ、AVソースをSDに切り換え(→P114)、映像ファイルを再生してください。
工場出荷時は「フル」です。

1 AVソース画面で「メニュー」を押し、「システム設定」→「SD映像出力設定」にタッチする

2 「フル」または「アスペクト比固定」にタッチする



フル	アスペクト比を変え、上下左右を引き伸ばして、画面いっぱいに表示します。
アスペクト比固定	アスペクト比はそのまま、長辺または短辺を画面に合わせて表示します。

DVDビデオ機能設定

DVDビデオの再生条件を設定します。詳しくは、「DVDの機能設定」(→P144)をご覧ください。

TV機能設定

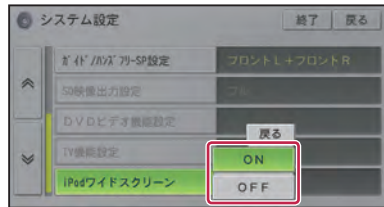
地上デジタルテレビジョン放送を受信する際の機能を設定します。
詳しくは、「ワンセグ放送を見る」-「視聴者設定を消去する」(→P125)をご覧ください。

iPodワイドスクリーン

iPodのビデオデータ再生時に、ワイドスクリーンで表示するかどうかを設定します。あらかじめ、AVソースをiPodに切り換え(→P114)、映像を再生してください。
表示される設定値(ON/OFF)は、接続されたiPodのビデオ設定の状態によって異なります。iPodのビデオ設定については、iPodの取扱説明書をご覧ください。

1 AVソース画面で「メニュー」を押し、「システム設定」→「iPodワイドスクリーン」にタッチする

2 「ON」または「OFF」にタッチする



ワイドスクリーンで表示しない場合は**OFF**にタッチします。

メモ

- 一部の機種では、設定をしても動作しないものがあります。
- コントロールモードが「iPod」に設定されている場合(→P156)は、操作できません。

バックカメラを使う

バックカメラを使う	176
バックカメラの映像を表示する	176
バックカメラ映像のガイド線の 表示/非表示を設定する	176
バックカメラ映像のガイド線を調整する	177

バックカメラを使う

別売のバックカメラなどを接続すると、車の後方を本機のモニター画面で確認することができます。

バックカメラをお使いになる場合は、あらかじめカメラの入力設定を行ってください。→「カメラの入力設定をする」(P106)

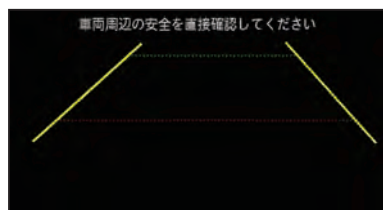
バックカメラの映像を表示する

！ 注意

- バックカメラの映像だけを見ての後退は絶対に行わないでください。後退するときには、直接目で後方を確認しながら後退を開始してください。バックカメラの映像は後方確認の補助手段としてご使用ください。

1 シフトレバーをR(リバース)の位置にする

バックカメラの映像が表示されます。



メモ

- シフトレバーを他のギアに切り換えると、画面表示は元の映像に切り換わります。**現在地**を押すと、バックカメラ映像を解除して現在地画面を表示します。
- バックカメラの映像を表示している間は、車両周辺確認のメッセージが表示されます。
- バックカメラの映像を表示中に**(AV)**を長く押すと、画質調整画面(→P186)が表示され、画質を調整することができます。

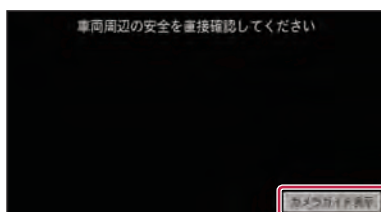
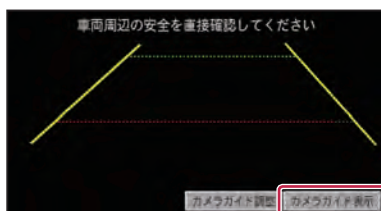
バックカメラ映像のガイド線の表示/非表示を設定する

1 バックカメラの映像表示中に画面にタッチする

カメラガイド表示とカメラガイド調整が表示されます。

2 カメラガイド表示にタッチする

タッチすることによってバックカメラのガイド線とカメラガイド調整の表示/非表示が切り換わります。



メモ

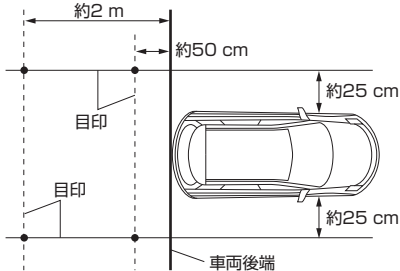
- 工場出荷時は、バックカメラの映像を表示するとガイド線が表示されます。
- カメラガイド表示とカメラガイド調整は、何も操作しないと約4秒で消えます。画面にタッチすると再表示します。

バックカメラ映像のガイド線を調整する

！ 注意

- ガイド線調整をする際には、車を安全な場所に停車して行ってください。
- 車を降りて目印を付ける際には、必ず車のキースイッチをOFFにしてエンジンを停止してください。

1 車両の幅+両側約25 cm、車両後端から後ろ側へ+約50 cmと+約2 mの位置にガムテープなどで目印をつける



2 パーキングブレーキを引いてカメラガイド調整にタッチする

メモ

- あらかじめガイド線を表示しておいてください。(→P176)

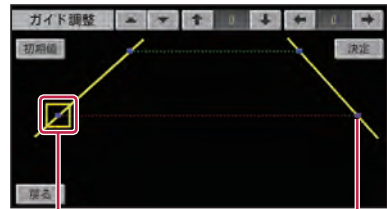
3 ▲ または ▼ にタッチする



初期値	工場出荷時の位置に戻ります。
戻る	ガイド調整を終了します。

調整ポイント選択画面が表示されます。

4 カーソル位置を選択してポイントを調整する



カーソル位置

ポイント

初期値	ポイントを調整前(前回保存した状態)の位置へ戻します。
決定	設定を保存して、手順3の画面に戻ります。
戻る	設定を破棄して、手順3の画面に戻ります。
▲ ▼	現在のカーソル位置の調整結果を保存し、赤(L)⇄赤(R)⇄緑(L)⇄緑(R)の順にカーソル位置を変更します。
↑ ↓ ← →	選んだカーソル位置のポイントを上・下・左・右に動かします。

！ 注意

- バックカメラが映し出す範囲には限界があります。またバックカメラの画面上に表示される車幅・距離ガイド線は、実際の車幅・距離間隔と異なる場合があります。(ガイド線は直線となります。)
- 夜間や暗い場所など、使用状況により画質が低下する場合があります。

携帯電話を使う

携帯電話を使う	180
ハンズフリー通話をする	180
ハンズフリー通話をするには	180
ハンズフリー通話でエコー (残響音)が気になるときは	180
電話の受けかた	180
電話のかけかた	181
メモリダイヤルを呼び出して電話をかける	181
電話番号を入力して電話をかける	182
リダイヤルで電話をかける	182
地図に登録された電話番号にかける	182
メモリダイヤルを読み込む	183
携帯電話の電話帳と同期する	183
通話中メニューの操作	184

携帯電話を使う

本機と携帯電話をBluetooth接続すると、本機の電話機能を使うことができます。

ハンズフリー通話をする

本機に携帯電話をBluetooth接続すると、ハンズフリー通話を行うことができます。

メモ

- 通話相手の音声聞き取りやすいように、受話音量を調整してください。(→P100)

注意

- 安全運転のため、運転中の通話はできるだけ避けてください。やむを得ず走行中に通話をする場合は、周りの安全を十分に確認して通話は手短かに終了するようにしてください。

ハンズフリー通話するには

Bluetoothに対応した携帯電話が必要です。また、事前に携帯電話を本機に登録しておく必要があります。詳しくは「通信設定をする」(→P94)をご覧ください。

メモ

- 携帯電話をお使いになるときは、必ず「通信機器使用上のご注意」(→P94)をよくお読みください。
- 本機は、割込通話および三者通話サービスには対応していませんので、携帯電話側で操作してください。なお、割込通話や三者通話サービスのご利用中に本機を操作すると、通話が切れることがあります。

ハンズフリー通話でエコー(残響音)が気になるときは

エコーは相手の声が車両スピーカーを通してマイクに入り込むことが原因で発生します。スピーカーからの声がマイクに入らないようにすることでエコーを軽減できます。また、電話回線状況、使用する携帯電話、通話相手の環境によりエコーが発生する場合もあります。

以下のような方法でエコーを軽減できる場合があります。

- 受話音量を小さくする(→「ナビゲーションの音量設定をする」(P100))
- お互いに一呼吸おいて話す
- ガイド音声出力を助手席側のスピーカーのみに設定する(→「ガイド/ハンズフリーSP設定」(P172))

ただし、ナビ本体内部のエコーキャンセラーのしくみ上、完全にエコーをなくすことはできません。また、通話相手側が大きな声で話すとさらに聞き取りにくくなります。

メモ

- 通話中メニューで受話音量を調整することもできます。(→P184)
- 携帯電話によっては、一部機能が制限される場合があります。詳しくは、販売店へお問い合わせください。

電話の受けかた

電話がかかってくると、以下のような電話の着信を案内するメッセージが表示され、着信案内の音が流れます。



通話 にタッチすると電話がつながり、通話することができます。

メモ

- 電話が着信すると“トゥルルルル”という音が一度鳴って、着信を知らせます。
- 一部の携帯電話では、着信音がスピーカーから出力されないことがあります。

- メモリダイヤル (→P183) に登録されている電話番号と一致すると、メモリダイヤルで登録された名称が表示されます。ただし、名称が表示されるまでに時間がかかる場合があります。名称が表示されるまでの間は電話番号を表示します。
- 発信者番号通知サービスの利用状況によっては、かけてきた相手の電話番号や名前は表示されません。
- 携帯電話のボタンを押して電話に出ることもできます。
- 着信時、携帯電話側の操作で応答保留にした場合は、本機からの操作で通話を行うことはできません。応答保留を解除して通話したい場合は、携帯電話側の操作で行ってください。
- 電話の切りかたは、「通話中メニューの操作」(→P184)をご覧ください。

ダイヤル発信	電話番号を入力して電話をかけます。(→P182)
リダイヤル	直前にかけた電話番号へリダイヤルします。(→P182)

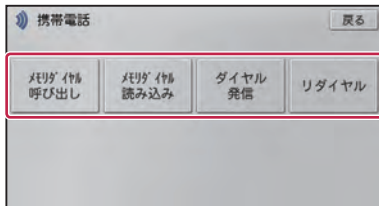
メモ

- 携帯電話のメモリダイヤルを本機に読み込んでいない場合は、**メモリダイヤル呼び出し**は選択できません。
- 携帯電話側の操作でかけた相手先は、リダイヤルの対象になりません。
- BT AUDIO再生中に電話をかけるまたはメモリダイヤルを読み込む場合は、BT AUDIOの再生中止確認画面が表示されますので、**はい**にタッチしてください。
- 発信通話中は、画面左上に電話機のマークまたは通話中メニュー (→P184)が表示されます。

電話のかけかた

いろいろな方法で電話をかけることができます。

- ナビゲーション画面でメニューを押し、通信にタッチする**
- 携帯電話 にタッチする**
- 電話をかける方法にタッチする**



メモリダイヤル呼び出し 本機に読み込まれた携帯電話のメモリダイヤルリストを呼び出して電話をかけます。(→P181)

メモリダイヤル読み込み 本機に接続した携帯電話からメモリダイヤルを読み込みます。(→P183)

メモリダイヤルを呼び出して電話をかける

メモ

- メモリダイヤルは、本機に登録された携帯電話ごとに読み込まれます。接続する携帯電話を切り換える (→P96) と、表示されるメモリダイヤルの内容も切り換わります。

- メモリダイヤル呼び出しにタッチする(→P181)**

- 相手先を選んでタッチする**



つづく→

3 選んだ相手先に含まれる電話番号を選んでタッチする



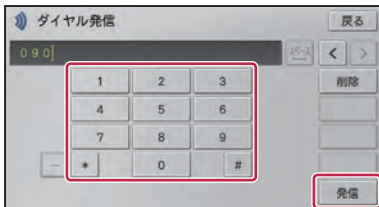
4 はいにタッチする

相手先に電話が発信され、相手と話することができます。

電話番号を入力して電話をかける

1 ダイヤル発信にタッチする (→P181)

2 電話番号を入力し、発信にタッチする



相手先に電話が発信され、相手と話することができます。

メモ

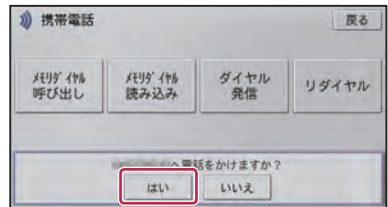
・携帯電話でダイヤルすることもできます。(携帯電話によっては、ハンズフリーにならない場合があります。)

リダイヤルで電話をかける

1 リダイヤルにタッチする (→P181)

発信確認のメッセージが表示されます。

2 はいにタッチする



相手先に電話が発信され、相手と話することができます。

メモ

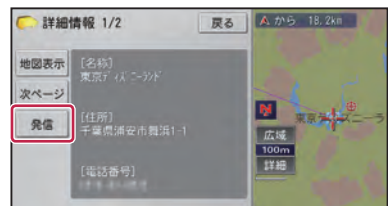
・リダイヤルに記憶される電話番号は、本機の電源をOFF(エンジンスイッチをOFF)にすると消去されます。

地図に登録された電話番号にかける

検索した施設情報に収録されている電話番号や登録地に登録されている電話番号に電話をかけることができます。

1 場所を探して(→P42)施設の 詳細情報(→P48)を表示させる

2 発信にタッチする



登録されている電話番号にダイヤルします。

メモリアルダイヤルを読み込む

メモリアルダイヤル機能を使用するには、事前に携帯電話に登録されているメモリアルダイヤルを本機に読み込んでおいてください。各携帯電話から最大5,000件(1件あたり最大5つの電話番号)のデータを本機に読み込むことができます。

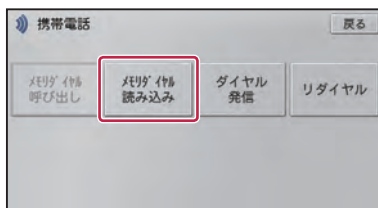
メモ

- ・BT AUDIO再生中に電話をかける場合は、BT AUDIOの再生中止確認画面が表示されますので、**はい**にタッチしてください。
- ・お使いの携帯電話によっては、メモリアルダイヤル転送に対応していない場合があります。
- ・名前、電話番号のデータを読み込むことができます。
- ・メモリアルダイヤルは、本機に登録された携帯電話ごとに読み込まれます。接続する携帯電話を切り換える(→P96)と、表示されるメモリアルダイヤルの内容も切り換わります。
- ・読み込んだデータは本機内蔵のメモリーに保存されます。
- ・読み込んだメモリアルダイヤルを編集することはできません。
- ・メモリアルダイヤルの消去方法は、「メモリアルダイヤルを消去する」(→P74)をご覧ください。
- ・1人あたり複数の電話番号を登録できる携帯電話では、電話番号の登録状態や機種によって、全データを読み出せない場合があります。

1 ナビゲーション画面で **メニュー** を押し、**通信**にタッチする

2 **携帯電話** にタッチする

3 **メモリアルダイヤル読み込み** にタッチする



メモ

- ・すでに読み込み済みのメモリアルダイヤルデータがある場合は、差分のみ追加で読み込まれます。

4 携帯電話を操作して、メモリアルダイヤルを転送する

メモリアルダイヤルが本機に読み込まれます。読み込みが完了すると、追加読み込みを行うかどうかのメッセージが表示されません。追加で読み込む場合は、**はい**にタッチしてください。**いいえ**にタッチすると、メモリアルダイヤルリスト画面に戻り、読み込んだデータをメモリアルダイヤルとして使用することができますようになります。

メモ

- ・メモリアルダイヤル読み込みを行う際は、接続されている携帯電話からメモリアルダイヤル転送の操作(携帯電話により異なりますが、全件転送、1件転送などがあります)が必要です。
- ・保存される情報の種類や文字数、メモリ件数は、携帯電話によって異なります。
- ・お使いの携帯電話によっては、携帯電話のシークレット機能により登録されたメモリアルダイヤルも読み込まれます。
- ・携帯電話の自局番号もメモリアルダイヤルと同時に読み込まれる場合があります。
- ・携帯電話が複数台登録されている場合、本機内蔵メモリーの使用量によって、最大件数が読み出せない場合があります。

携帯電話の電話帳と同期する

本機に接続した携帯電話に電話帳の同期機能が有る場合は、接続後自動的に電話帳が同期され、メモリアルダイヤルとして利用することができます。

同期機能の有無に関しては、携帯電話の説明書をご覧ください。


通話中メニューの操作

通話中は、通話中メニューが自動的に表示され、受話音量の調整やBluetoothの通話切り換え、電話を切る操作を行うことができます。



戻る	通話中メニューを閉じます。
+	受話音量を上げます。
-	受話音量を下げます。
電話を切る	電話を切ります。
ハンズフリー ON (OFF)	ハンズフリー機能をON/OFFします。携帯電話機で通話したいときは、OFFにします。

メモ

- ハンズフリー機能をOFFにすると、本機と携帯電話とのワイヤレス接続が切断される場合があります。
- **戻る** にタッチして通話中メニューを閉じた場合、画面左上の  にタッチすると通話中メニューを再表示することができます。
- 携帯電話側の操作で電話を切ることもできます。

画質を調整する	186
リアモニターを組み合わせる	187
リアモニターに表示される映像について	187
リアモニターの設置場所について	187
タッチパネルのタッチ位置を調整する	188
設定内容の初期化と ユーザーデータの消去	189

画質を調整する

周囲の明るさや見る角度、映像に合わせて「黒の濃さ」、「コントラスト」、「明るさ」、「色温度」、「色の濃さ」を調整することができます。

メモ

- 車のライトに連動して昼と夜の設定を自動的に切り換えます。
- 「黒の濃さ」、「コントラスト」、「明るさ」の設定は、昼と夜で別々に設定できます。
- 「明るさ」と「色温度」以外の設定内容は、画面の種類ごとに別々に設定できます。
- 「色温度」は、LEDバックライトの経年劣化などの理由で、本機のモニターに表示している映像と実際の映像の色味に誤差が生じた場合などに調整します。
- バックカメラの映像表示中も、以下の操作を行うことで画質調整することができます。
- 走行中は操作できません。

1 調整したい映像の表示画面で、**(AV)** を2秒以上押す

2 左右のタッチキーにタッチして調整する



色の濃さ

淡	薄くなる
濃	濃くなる

メモ

- 色の濃さは、映像系AVソース（DVDなど）とバックカメラの映像を表示している場合のみ調整することができます。

3 **終了** にタッチする

黒の濃さ

□(白)	薄くなる
■(黒)	濃くなる

コントラスト (明暗)

低	白黒の差が小さくなる
高	白黒の差が大きくなる

明るさ

暗	暗くなる
明	明るくなる

色温度

■(赤)	暖色系が強くなる
■(青)	寒色系が強くなる

リアモニターを組み合わせる

本機のリアモニター出力端子に別売のリアモニターを接続すると、本機の映像を後部座席でも楽しむことができます。

リアモニターに表示される映像について

TV	×
DVD	○
iPodビデオ	○
AUXの映像	○
VTR	○
SDの映像	×
バックカメラの映像	×
ナビゲーション画面	×
AVソース画面	×

○：表示します。 ×：表示しません。

！ 注意

- リアモニターは、運転者が走行中に映像を見ることができない場所に設置してください。

✎ メモ

- リアモニターに表示される映像は、本機のモニターに表示される映像と比べて不鮮明になります。また、その程度は接続されるモニターによっても異なります。

リアモニターの設置場所について

リアモニター出力は、パーキングブレーキのON/OFFに関係なく映像が出力されません。リアモニター出力に接続したリアモニターは、運転者が走行中映像を見ることができない位置には、設置しないでください。

タッチパネルのタッチ位置を調整する

画面のタッチキーと実際に反応するタッチ位置にずれを感じたときなどに、調整することができます。(タッチパネルキャリブレーション)

! 注意

- 必ず綿棒などの先のとがっていない物を使用して画面に軽く触れてください。

メモ

- タッチパネル調整を途中で終了する場合は、**(AV)** を長く押すか、**(現在地)** を押してください。**(現在地)** を押した場合は、ナビゲーションの画面に戻ります。

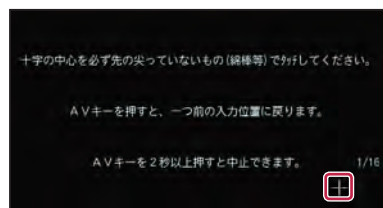
1 **(AV)** を2秒以上押す

▼
画質調整画面(→P186)が表示されます。

2 画質調整画面のまま **(AV)** を2秒以上押す

▼
タッチパネル調整画面が表示されます。

3 画面に表示される+マークの中心にタッチする



▼
16点タッチ後、画面中央にタッチすると、調整結果が保存されます。

メモ

- 保存中はエンジンを切らないでください。
- 1つ前の調整に戻るには、**(AV)** を押してください。

4 **(AV)** を2秒以上押す

▼
調整を終了し、画質調整を行う前に表示していた画面に戻ります。

設定内容の初期化とユーザーデータの消去

お客様が購入後に設定した内容や記録したデータを消去して、工場出荷時の状態に戻すことができます。

！ 注意

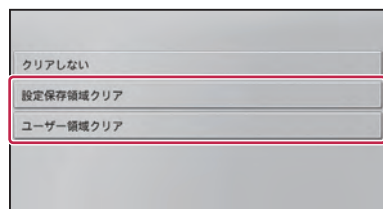
- 一度消去したデータは元に戻せません。十分注意してから操作してください。
- 必要な情報は事前に控えておいてください。

1 電源を ON (エンジンスイッチを ON)にする

2 オープニング画面が表示されている間、(現在地) と (AV) を同時に押し続ける

▼
クリア項目選択画面が表示されます。

3 設定保存領域クリア または ユーザー領域クリア にタッチする



▼
はいにタッチするとデータがクリアされます。

メモ

- クリアしないにタッチすると、初期化をキャンセルして通常起動します。

設定保存領域クリア を選んだとき

<クリアされる内容>

機能設定、イルミネーションカラー設定、音量設定、車両設定、地図のビューとスケールの設定、自転車位置情報、VICS FM レベル3 データ、VICS 放送局 受信モード設定・受信周波数、VICS 情報(レベル3 データ)、メモリダイヤル、通信接続設定、Bluetooth 設定、ロゴマーク表示設定、案内中のルート、お天気情報など

<クリアされない内容>

カメラ設定、走行軌跡、センサー学習、学習ルートデータ、登録地、検索履歴、e スタートデータなど

ユーザー領域クリア を選んだとき

<クリアされる項目>

機能設定、イルミネーションカラー設定、音量設定、車両設定、地図のビューとスケールの設定、走行軌跡、自転車位置情報、VICS FM レベル3 データ、VICS 放送局 受信モード設定・受信周波数、VICS 情報(レベル3 データ)、メモリダイヤル、通信接続設定、Bluetooth 設定、ロゴマーク表示設定、案内中のルート、学習ルートデータ、登録地、検索履歴、お天気情報、e スタートデータなど

<クリアされない項目>

カメラ設定、センサー学習など

メモ

- センサー学習を初期化するには、センサー学習のオールリセットを行ってください(→P83)。

再生できるディスクの種類	192
DVDに表示されているマークの意味	193
ディスクの操作について	193
ディスクの構成について	194
DVDビデオ	194
映画など	194
カラオケディスク	194
CD	194
WMA/MP3/AAC/ WAVファイルについて	195
フォルダーとWMA/MP3/ AAC/WAVファイルについて	195
WMAとは?	195
再生できるWMAファイルについて	196
MP3とは?	196
再生できるMP3ファイルについて	196
AACとは?	197
再生できるAACファイルについて	197
WAVとは?	197
再生できるWAVファイルについて	197
再生できる映像ファイルについて	198
映像コーデック	198
音声コーデック	198
ナビゲーションのしくみ	199
現在地がわかるしくみ	199
GPSによる測位	199
自立航法による測位	199
測位の精度を高めるためのしくみ	199
3Dハイブリッドセンサーの役割	199
マップマッチング	200
誤差について	200
故障かな?と思ったら	202
ナビゲーション	202
オーディオ	202
共通項目	202
FM/AM	203
DVD	203
CD/ROM (WMA/MP3/AAC)	204
TV	205
SDカード/USBメモリー	206
エラーメッセージと対処方法	207
共通項目	207
ナビゲーション	207
ETC	208
オーディオ	209
DISC (CD/ROM (WMA/MP3/AAC)/DVD) ...	209
TV	210
BT AUDIO	210
SDカード/USBメモリー	211
iPod	211
センサーメモリーのリセットについて	212
センサー学習状態のリセットが必要な場合	212
センサー学習状態のリセットのしかた	212
センサー学習とは	212
その他の情報	213
検索におけるデータベースについて	213
ルートに関する注意事項	213
VICS情報に関する注意事項	215
シティマップ(詳細市街地図)収録エリア	215
阪神高速道路株式会社からのご連絡	218
収録データベースについて	218
索引	222
メニュー索引	222
ナビゲーション	222
オーディオ	223
用語索引	224
五十音順	224
数字・アルファベット順	229
記号・マーク一覧	231

再生できるディスクの種類

下記マークは、ディスクのタイトル面、パッケージ、またはジャケットに付いています。

本機はNTSC（日本のテレビ方式）に適合していますので、ディスクやパッケージに「NTSC」と表示されているディスクをご使用ください。

DVDビデオ



CD



- DVDオーディオディスクは再生できません。
- DVDビデオディスクでも、リージョン番号が異なるディスクは再生できません。
- DVDビデオディスクによっては、一部の機能がご使用になれない場合や再生できない場合があります。
- DVD-R/RWディスクは、ビデオフォーマット（ビデオモード/VRモード）で記録されファイナライズされたもの、およびWMA/MP3/AACファイルが収録されたものに限り、再生することができます。
- ビデオフォーマット（ビデオモード/VRモード）で記録したDVD-R/RWディスクでも、ディスクの特性やキズ・汚れ、または本機内部のレンズの汚れ、露などにより、本機では再生できない場合があります。
- CD-EXTRAは、音楽CDとして再生することができます。
- コピーガード機能付きCD（Copy Control CDなど）は正式なCD規格に準拠していないため、再生できない場合があります。
- 音楽用CDレコーダーで録音したもの以外のCD-R/RWディスクは、正常に再生できない場合があります。
- CD-RWディスクは、ディスクを挿入してから再生が始まるまで、通常のCDやCD-Rディスクより時間がかかる場合があります。
- ファイナライズしていないCD-R/RWおよびDVD-R/RW（VRを含む）ディスクは、再生できない場合や再生が始まるまでに時間がかかる場合があります。
- CD-R/RWおよびDVD-R/RW（VRを含む）ディスクの取り扱いについては、ディスクの説明書や注意書きを十分お読みください。
- DDCD（Double Density CD）形式で録音されたCD-R/RWディスクは再生できません。
- 音楽用CDレコーダーで録音した音楽用CD-R/RWディスクでも、ディスクの特性やキズ・汚れ、または本機内部のレンズの汚れ・露などにより、本機では再生できない場合があります。
- 直射日光や高温など、車内での保管状況により、再生できなくなる場合があります。
- コンピューターで記録したディスクは、正しいフォーマットで記録されたものは再生できますが、アプリケーションソフトの設定や環境などによっては再生できない場合があります。（詳細についてはアプリケーションソフト発売元にお問い合わせください。）
- 本機は、音楽データ（CD）とWMA/MP3/AACデータ（ROM）が混在しているディスクの再生には対応していませんが、再生される優先順位は以下の順となり、優先順位の高いもののみ再生されません。再生メディアの切り換えはできません。
 - ① CD → ② ROM
- 以下のロゴは、本機がビデオレコーディングフォーマット（VRモード）で記録されたDVD-R/RWディスクの再生に対応していることを示しています。

RW
COMPATIBLE

ハイビジョン画質 (AVCHD/AVCREC規格) で記録されたディスクについて






- 本機は、AVCHD/AVCREC規格に非対応のため再生できません。
- ディスクの取り出しができなくなる場合がありますので、AVCHD/AVCREC規格で記録されたディスクは入れないでください。

「DualDisc」の再生について

- 「DualDisc」は、片面にDVD規格準拠の映像やオーディオが、もう片面にCD再生機での再生を目的としたオーディオがそれぞれ収録されています。
- 「DualDisc」のDVDの面は再生可能です。
- DVD面ではないオーディオ面は、一般的なCDの物理的規格に準拠していないために再生できないことがあります。
- 「DualDisc」を再生機器に挿入をしたり、取り出しをしたりするときに再生面の反対側の面に傷が付く場合があります。傷が付いた面は再生すると不具合がでる場合があります。
- ディスクを取り出せないといった不具合が起こる可能性がありますので「DualDisc」はご使用にならないでください。
- 「DualDisc」の仕様や規格などの詳細に関しましては、ディスクの発売元または販売元にお問い合わせください。

DVDに表示されているマークの意味

DVDディスクのタイトル面やパッケージには、以下のようなマークが表示されています。それぞれのマークは、そのディスクに記録されている映像または音声のタイプ、使える機能を表しています。

マーク	意味
	音声の数
	字幕の数
	アングルの数
	画面サイズ (アスペクト比: 横と縦の比率)の種類
	再生可能な地域番号 (リージョン番号) 本機のリージョン番号は、「2」です。リージョン番号が「2」や「ALL」など「2」を含んでいるディスクを再生することができます。

ディスクの操作について

DVDでは、ディスク制作者の意図により、特定の操作を禁止しているものがあります。また、メニュー操作や、再生中に対話式の操作が可能なディスクでは、タイトル/チャプターの構成上リピート再生など一部の操作ができないことがあります。

このような場合、本機では画面に「禁止マーク」が表示されます。

ディスクによっては、表示されないこともあります。

禁止マーク



ディスクの構成について

DVDビデオ

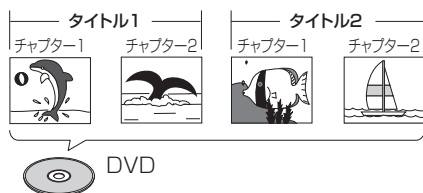
DVDビデオでは内容をタイトルという単位で分け、さらにタイトルをチャプターという単位で分けています。

映画など

1つの作品が1つのタイトルとなっており、場面ごとにチャプターで分けられています。

カラオケディスク

1曲が1タイトルとなっています。



メモ

• 上記のような構成（区切りのしかた）になっていないディスクもありますので、サーチ機能を使用する際は、構成の違いにご注意ください。

CD

CDは、ディスクをトラックという単位で分けています。

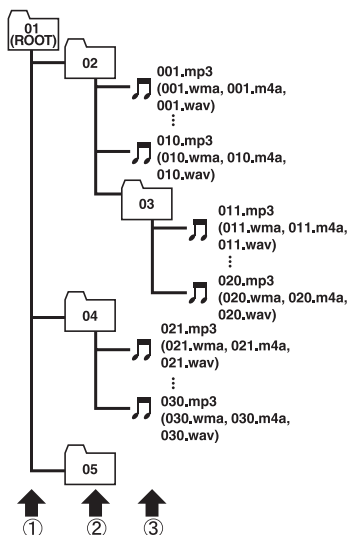
一般的には、1曲が1つのトラックに対応しています。さらにトラックがインデックスという単位で分けられている場合もあります。



WMA/MP3/AAC/WAVファイルについて

フォルダーとWMA/MP3/AAC/WAVファイルについて

- WMA/MP3/AACファイルを収録したディスクや、WMA/MP3/AAC/WAVファイルを収録したSDカード/USBメモリー内のイメージは下図のようになります。



1階層 2階層 3階層

- 本機はWMA/MP3/AACファイルが記録されたDVD-R/DVD-RW/CD-R/CD-RW/CD-ROM(CD-ROMモードはモード1、モード2、FORM1、FORM2に対応)や、WMA/MP3/AAC/WAVファイルが収録されたSDカード/USBメモリーの再生に対応しています。
- ディスクは、ISO9660のレベル1、およびレベル2、および拡張フォーマット(Joliet、Romeo)に準拠して記録されたディスクが再生可能です。
- 本機はマルチセッション方式で記録したディスクの再生に対応しています。
- パケットライトには対応していません。
- m3uのプレイリストには対応していません。
- MP3i (MP3 interactive)フォーマット、およびMP3 PROフォーマットには対応していません。

- 再生できるフォルダー数の合計は、最大700 (ROMの場合) / 300 (SD/USBの場合)です。
- 再生できるファイル数の合計は、最大3500 (DVD-ROMの場合) / 999 (CD-ROMの場合) / 5000 (SD/USBの場合)です。
- ファイル名の最大表示文字数は、拡張子(.wma、.mp3、.m4a)を含め、全角で16文字、半角で32文字までです。また、フォルダー名の最大表示文字数は全角で16文字、半角で32文字までです。
- 拡張フォーマット(Romeo)に準拠して記録されたファイルの場合、全角では先頭から28文字、半角では先頭から56文字までの表示に対応しています。
- 再生などの操作でフォルダーが選択される順番は、ライティングソフトで書き込まれた順番になります。ただし、ライティングソフトによっては、再生の順番を設定できるものもあります。
- 曲間(トラック間)にブランクがないCDを、MP3/WMA/WAVファイルとしてCD-R/CD-RW/CD-ROMに記録して再生した場合、曲間が音飛びしたように聞こえます。

メモ

- フォルダー番号は本機が割り当てます。お客様が割り当てることはできません。
- WMA/MP3/AAC/WAVファイルを含まないフォルダーは認識しません(フォルダー番号の表示をせず、スキップします)。
- 多くの階層を持つディスクは、再生が始まるまでに時間がかかります。ディスク作成時には、階層を2つ以下にすることをおすすめします。
- ディスクに含まれるフォルダーの合計が700個まで再生可能です。

WMAとは？

WMAとは、「Windows Media™ Audio」の略で、米国Microsoft Corporationによって開発された音声圧縮方式です。

WMAデータは、Windows Media Player Ver.7以降を使用してエンコードすることができます。

つづく→

メモ

- WMAファイルをエンコードしたアプリケーションによっては、正常に動作しないことがあります。
- WMAファイルをエンコードしたアプリケーションによっては、アルバム名などの文字情報が正しく表示されないことがあります。

再生できるWMAファイルについて

メモ

- WMAファイルに名前を付けるときは、ファイル名のあとに拡張子(.wma)を付けてください。
- 本機は、拡張子(.wma)が付いているファイルをWMAファイルとして再生します。雑音や故障の原因となりますので、WMAファイル以外には拡張子(.wma)を付けないでください。
- 本機では、Windows Media Player Ver7/8/9を使用してエンコードしたWMAファイルを再生することができます。
- 画像データを含むWMAファイルを再生する場合、再生が始まるまでに時間がかかることがあります。
- WMA Tagのalbum(ディスクタイトルとして表示)、title(トラックタイトルとして表示)、artist(アーティストとして表示)の表示に対応しています。
- 再生可能なWMAファイルのサンプリング周波数は8 kHz ~ 48 kHzです。
- 対応ビットレートは48 kbps ~ 320 kbps (ROMの場合) / 5 kbps ~ 320 kbps (SDの場合)です。VBRに対応しています。
- デジタル著作権管理(DRM)で保護されたファイルは再生できません。すべてのファイルがDRMで保護されている場合、本機では再生できません。
- 下記形式には対応していません。
 - Windows Media Audio 9 Professional (5.1ch)
 - Windows Media Audio 9 Lossless (可逆圧縮)
 - Windows Media Audio 9 Voice

MP3とは？

MP3とは、「MPEG Audio Layer 3」の略で、音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。

再生できるMP3ファイルについて

メモ

- MP3ファイルをライティングしたiTunesのバージョンによっては、ファイル名などの文字情報が正しく表示されないことがあります。
- MP3ファイルに名前を付けるときは、ファイル名のあとに拡張子(.mp3)を付けてください。
- 本機は、拡張子(.mp3)が付いているファイルをMP3ファイルとして再生します。雑音や故障の原因となりますので、MP3ファイル以外には拡張子(.mp3)を付けないでください。
- ID3 Tagのalbum(ディスクタイトルとして表示)、title(トラックタイトルとして表示)、artist(アーティストとして表示)の表示に対応しています。
- 対応可能なID3 Tagのバージョンは1.0,1.1,2.2,2.3 (ROMの場合) / 1.0,1.1,2.2,2.3,2.4 (SD/USBの場合)です。なお、ID3 TagのVer.1.XとVer.2.Xが混在している場合は、Ver.2.Xが優先されます。
- 再生可能なMP3ファイルの対応サンプリング周波数は、8 kHz ~ 48 kHzです。エンファシスに対応しています。
- 対応ビットレートは8 kbps ~ 320 kbpsです。VBRに対応しています。なお、VBRの場合、正確な再生時間が表示されない場合があります。また、ソース切り替えを行った際に、再生開始位置がずれる場合があります。

AACとは？

AACとは、「Advanced Audio Coding」の略で、MPEG2、MPEG4で使用される音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。

再生できるAACファイルについて

メモ

- AACファイルをライティングしたiTunesのバージョンによっては、ファイル名などの文字情報が正しく表示されないことがあります。
- AACファイルに名前を付けるときは、ファイル名のあとに拡張子(.m4a)を付けてください。
- 本機は、iTunesで作成された拡張子(.m4a)が付いているファイルをAACファイルとして再生します。雑音や故障の原因となりますので、AACファイル以外には拡張子(.m4a)を付けてください。
- 画像データを含むAACファイルを再生する場合、再生が始まるまでに時間がかかることがあります。
- AAC Tagのalbum (ディスクタイトルとして表示)、title (トラックタイトルとして表示)、artist (アーティストとして表示)の表示に対応しています。
- AACファイルをエンコードしたiTunesのバージョンによっては、正しく再生されないことがあります。
- 再生可能なAACファイルのサンプリング周波数は8 kHz～44.1 kHz (ROMの場合) / 8 kHz～48 kHz (SDの場合)です。
- 対応ステレオビットレートは8 kbps～320 kbpsです。
- この製品は、下記の形式には対応していません。
 - * Apple Lossless

WAVとは？

WAVとは、「Waveform」の略で、Windows®での標準音声フォーマットです。

再生できるWAVファイルについて

メモ

- WAVファイルに名前を付けるときは、ファイル名のあとに拡張子(.wav)を付けてください。
- 本機は、拡張子(.wav)が付いているファイルをWAVファイルとして再生します。雑音や故障の原因となりますので、WAVファイル以外には拡張子(.wav)を付けてください。
- 本機は、LPCM形式およびMS ADPCM形式でエンコードされたWAVファイルの再生に対応しています。
- 本機は、LPCM形式では16 kHz～48 kHz、MS ADPCM形式では22.05 kHz～44.1 kHzのサンプリング周波数で記録されたWAVファイルの再生に対応しています。
- 表示されるサンプリング周波数の桁は、すべてではないことがあります。
- 一般的にWAVファイルは、量子化ビット数が多いほど音質は良くなります。本機は、LPCMでは8/16 bit、MS ADPCMでは4 bitの量子化ビット数で記録されたWAVファイルの再生に対応しています。ただし、ある一定の音質で音楽を楽しむためには、より高い量子化ビット数で記録することをおすすめします。

再生できる映像ファイルについて

本機では、下記の映像ファイルを再生することができます。

フォーマット	拡張子
MPEG4	avi, mp4, m4v
H.264	mp4
WMV	wmv

メモ

- 雑音や故障の原因となりますので、異なるフォーマットのファイルに上記拡張子を付けないでください。
- DRM (デジタル著作権管理) 付きの映像ファイルの再生には対応しておりません。
- 総時間が、2時間30分 (150分) を超える映像ファイルは再生できません。
- ファイルサイズが、2 GB を超える映像ファイルは再生できません。
- WMVのマルチビットレートファイルの再生は、動作保証外です。

映像コーデック

対応している解像度、フレームレート、ビットレートは以下のとおりです。

対応映像コーデック一覧表

	MPEG-4 Video	H.264/AVC	WMV (VC-1)
プロファイル	Simple Profile	Baseline Profile	Simple Profile
最大解像度 (ピクセル)	400×240	400×240	400×240
最大フレームレート	30 fps	30 fps	30 fps
最大ビットレート (平均値/ピーク値) ^{*1}	2.5 Mbps / 8 Mbps	1.5 Mbps / 8 Mbps	768 Kbps / —

*1 再生可/不可は、平均ビットレートで判断します。

音声コーデック

対応している音声コーデックと映像コーデックの組み合わせは、以下のとおりです。

対応映像・音声コーデック組み合わせ一覧表

		映像ファイルフォーマット		
		AVI (*.avi)	MP4 (*.mp4, *.m4v)	ASF (*.wmv)
Video Codec	MPEG-4 Video	○	○	—
	H.264/AVC	—	○	—
	WMV (VC-1)	—	—	○
Audio Codec	None	○	○	○
	LPCM / ADPCM	○	—	—
	MP3	○	—	—
	WMA	—	—	○
	AAC	—	○	—

○：対応 —：非対応

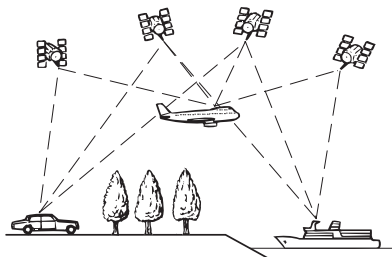
ナビゲーションのしくみ

現在地がわかるしくみ

本機では、現在地（自車位置）を測位する方法としてGPSに加え、自立航法による測位が可能です。

GPSによる測位

GPS衛星（人工衛星）から位置測定用の電波を受信して、現在地を測位するシステムがGPS（Global Positioning System：グローバルポジショニングシステム）です。GPS衛星は、地球の周り高度21 000 kmに打ち上げられています。3つ以上のGPS衛星の電波を受信すると、測位が可能になります。GPSによる測位には、3次元測位と2次元測位の2種類があります。



種類	内容
3次元測位	GPS衛星の電波を良い状態で受信できたときは、緯度・経度・高度の3次元で測位できる。
2次元測位	GPS衛星の電波を受信できても、受信状態があまり良くないときは、緯度・経度の2次元で測位する。高度は測位できないため、3次元測位のときよりも測位の誤差がやや大きくなる。

自立航法による測位

内蔵の3Dハイブリッドセンサーは、走った距離を車の車速パルスから、曲がった方向を振動ジャイロセンサーで、路面の傾斜を傾斜計（Gセンサー）で、それぞれ検出して、現在地を割り出しています。

GPSと自立航法を組み合わせた測位の特長

- GPSによる現在地のデータと、自立航法による現在地のデータを常に組み合わせているため、より精度の高い測位を行うことができます。
- GPS衛星の電波が受信できなくなっても、自立航法により測位を続けることができます。
- 自立航法による測位だけでは、現在地の表示が徐々にずれてくることがあります。GPSと自立航法を組み合わせると、GPS測位により自立航法のずれを修正することができるため、測位精度が高くなります。

測位の精度を高めるためのしくみ

3Dハイブリッドセンサーの役割

内蔵の3Dハイブリッドセンサーは、自立航法自体の測位精度を高めるために、高精度3Dハイブリッドシステムで活用されています。

高精度3Dハイブリッドシステム

車速パルスが入力されているときは、3Dハイブリッドセンサーによって高度差を検出できるため、高精度な測位が可能になります（高精度3Dハイブリッドシステム）。

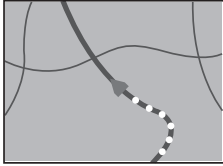
簡易ハイブリッドシステム

車速パルスが入力されないときは、簡易ハイブリッドシステムで測位します。簡易ハイブリッドシステムでは、3Dハイブリッドシステムに比べて精度が低くなります。道路の傾斜の影響を受けやすいため、長いトンネルや地下駐車場などでのGPSが長い間受信できない状況では、誤差が大きくなることがあります。

マップマッチング

GPSや自立航法による測位には誤差が生じることがあるため、現在地が道路以外になることがあります。このようなとき、「車は道路上を走るもの」と考え、現在地を近くの道路上に修正する機能がマップマッチングです。

マップマッチングしている場合



本機では、GPSと自立航法で精度の高い測位をした上でマップマッチングが働くため、さらに正確な現在地表示が可能になります。

メモ

- シティマップで道路が表示されていても、その道路をルート探索またはその道路にマップマッチングできない場合があります。

誤差について

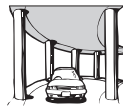
次のような状況のときは、誤差が大きくなる場合があります。

GPS 測位不可による誤差

- 次のような場所にいるときは、GPS衛星の電波がさえぎられて受信できないため、GPSによる測位ができないことがあります。



トンネルの中や
ビルの駐車場



2層構造の高速道路
の下



高層ビルの群集地帯



密集した樹木の間

- 次のような場合は、電波障害の影響で、一時的にGPS衛星の電波を受信できなくなる場合があります。
 - GPSアンテナの近くで自動車電話や携帯電話を使っている。

GPS 衛星自体による誤差

- GPS衛星は米国国防総省によって管理されており、衛星自体が意図的にずれた位置データを送信することがあります。このようなときは測位の誤差が大きくなります。
- 捕捉（受信）できている衛星の数が少ないときは、2次元測位となり誤差が大きくなります。

有料・高架道路での誤差について

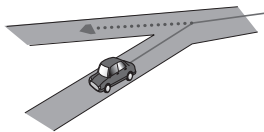
有料道路を乗り降りするときや、高架道路、立体交差の道路を走行するときは、勾配を検知して距離補正を行います。勾配データが収録されていない道路では、補正されないため誤差が大きくなる場合があります。

低速時の自転車位置精度について

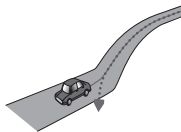
車種によっては時速数km程度の低速時に車速信号が出力されないものがあります。そのような車種では、渋滞中や駐車場（地下駐車場など）で時速数km程度の低速走行が続くと、自転車位置が正確に表示されないことがあります。

その他の誤差について

- 角度の小さなY字路を走った場合。



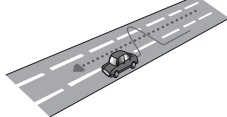
- 直線や緩やかなカーブを、長距離走ったすぐ後。



- 砂利道や雪道などで、タイヤがスリップした場合。



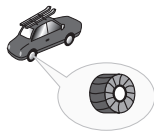
- 蛇行運転をした場合。



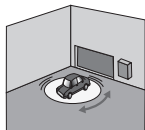
- 勾配の急な山道など、高低差のある道を走った場合。



- チェーンを装着したときや、サイズの違うタイヤに交換した場合。



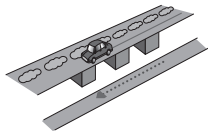
- 駐車場などで、ターンテーブルでの旋回を行った場合。



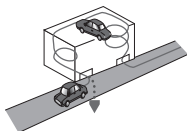
- ヘアピンカーブが続いた場合。



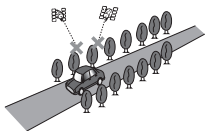
- 道路が近接している場合 (有料道路と側道など)。



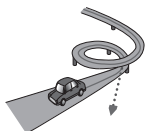
- 立体駐車場などで旋回や切り返しを繰り返した場合。



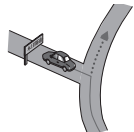
- GPSによる測位ができない状態が長く続いた場合。



- ループ橋などを通った場合。



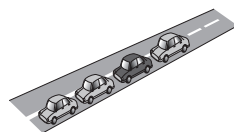
- 地図情報にはない新設道路を走った場合。



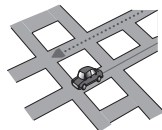
- フェリーや車両運搬車などで移動した場合。



- 渋滞などで、低速で発進や停止を繰り返した場合。



- 碁盤の目状の道路を走った場合。



- 工場などの施設内の道路を走行中、施設に隣接する道路に近づいた場合。

- エンジンをかけてすぐに走行し始めた場合。

- 扁平率や径の異なるタイヤに交換してまもない場合。

故障かな？と思ったら

修理を依頼する前に、以下の内容をチェックしてください。チェックしても直らないときは、販売店にご相談ください。

ナビゲーション

症状	原因	処置
自車位置を測位できない。 測位誤差が大きい。	GPSアンテナの上に電波をさえぎる物を置いている。	GPSアンテナの上には何も置かないでください。
	3Dハイブリッドセンサーが正しく学習されていない。	3Dハイブリッドセンサーのメモリーをリセット(→P83)して、学習をやり直してください。
ハンズフリー通話時に、通話相手側で響きが大きく聞こえる。	通話相手側の声(スピーカーからの音声)がマイクに入り込んでいる。エコーは相手の声が車両スピーカーを通してマイクに入り込むことが原因で発生します。	受話音量を小さくすることで改善できることがあります(→「ナビゲーションの音量設定をする」(P100))。ただし、本機のしくみ上、完全に響き(エコー)をなくすことはできません。また、通話相手側が大きな声で喋るとさらに聞き取りにくくなりますので、普通のおおきさの声で通話してください。
携帯電話と接続できない。	本機が携帯電話と通信できない状態になっている。	携帯電話の電源を入れ直すか、車のエンジンスイッチ(ACC)をOFF/ONしてください。 あとから携帯電話の電源を入れたときは、1分ほどお待ちいただくか、「携帯電話を切り換える/削除する」(→P96)の操作をして、Bluetooth接続する携帯電話を選択してください。

オーディオ

共通項目

症状	原因	処置
音が出ない。	音量が0になっている。	音量を上げてください。
映像が出ない。	パーキングブレーキをかけていない。	パーキングブレーキをかけてください。
	ナビスタンバイ状態になっている。	ナビスタンバイを解除してください。(→「画面を一時的に消す(ナビスタンバイ)」(P13))
モニターにナビゲーションの画像が映らない。	モニターが、ナビゲーション画面に切り換わっていない。	【現在地】 で画面を切り換えてください。
前または後ろのスピーカーから音が出ない。	前後の音量バランスの調節が適切でない。	正しく調節・設定してください。→「フェーダー/バランス設定」(P164)
左または右のスピーカーから音が出ない。	左右の音量バランスの調節が適切でない。	
画質調節ができない。	パーキングブレーキをかけていない。	パーキングブレーキをかけてください。

症状	原因	処置
液晶画面の中に、小さな黒点や輝点がある。	液晶特有の現象で、故障ではありません。	—
映像がギザギザに表示される。	ワイド画面特有の現象で、故障ではありません。	—

FM/AM

症状	原因	処置
ラジオ受信中に“ジージー、ザーザー”という雑音が多い。	放送局の電波が弱い。 周りに障害物があるなど、受信状態が良くない。	他の放送局を選局してみてください。→「ラジオの放送を受信する」(P118)
自動選局できない。	強い電波の放送局がない。	手動で選局してください。→「ラジオの放送を受信する」(P118)
FMは受信するが、AMが受信できない。 受信感度が悪い。	アンテナコントロールが接続されていない。 自動車のアンテナが伸びていない。	アンテナコントロールを正しく接続してください。 アンテナを十分に伸ばしてください。

DVD

症状	原因	処置
再生できない。	本機のリージョン番号と異なるディスクを挿入した。	本機と同じリージョン番号のディスクに交換してください。
映像が見えない。	走行中である。 ナビゲーションの画面になっている。	走行中は、映像を見ることはできません。音声のみでお楽しみください。 (AV) で画面を切り換えてください。
ディスクを入れても自動的に再生しない。	ディスクによっては、ディスクメニューが表示されて自動的に本編を再生しない場合があります。	ディスクメニューを操作して、再生を開始するか、オートプレイをONに設定してください。→「オートプレイ」(P147)
オートプレイが正しく動作しない。	オートプレイが正しく動作できないディスクが入っている。	ご使用されるディスクにより期待どおりの動作ができない場合があります。このような場合はオートプレイをOFFにして再生してください。→「オートプレイ」(P147)
音が出ない。	静止画、スロー、コマ送り再生中である。 DTS音声を再生しようとしている。	静止画、スロー、コマ送り再生中に、音声を聞くことはできません。 DTS音声は再生できません。
視聴制限のメッセージが表示され、再生できない。	視聴制限がかかっている。	視聴制限を解除、またはレベルの変更をしてください。→「視聴制限」(P146)
音声言語、字幕言語が切り換えられない。	複数の言語が収録されていないDVDを再生している。 ディスクのメニューでしか切り換えできないように制限されている。	複数の言語が収録されていないディスクでは、切り換えられません。 ディスクのメニューで切り換えてください。

症状	原因	処置
DVD機能設定で選んだ音声言語、字幕言語にならない。	DVD機能設定で選んだ言語が収録されていないDVDを再生している。	DVD機能設定で選んだ言語が収録されていないDVDでは、選んだ言語には切り換わりません。
アングルを切り換えて見ることができない。	複数のアングルが収録されていないDVDを再生している。 複数のアングルが収録されていない場面で操作している。	複数のアングルが収録されていないDVDでは、切り換えられません。 複数のアングルが収録されている場面で、操作してください。
ディスク再生中に映像が乱れる。または暗い。	ディスクコピー禁止信号が入っている。(ディスクによって入っている場合があります。)	アナログコピープロテクト方式のコピーガードに対応しているため、コピー禁止信号が入っているディスクを再生した場合、一部のモニターでは横縞が入るなどの症状が出る場合があります(故障ではありません)。
Ⓢ(禁止マーク)が画面に出て操作できない。	ディスクが禁止している操作です。 ディスクの構造上対応できない操作をしている。	この操作はできません。
画面が止まり、操作を受け付けられない。	ディスク再生中にデータを読み取れなくなった。	■にタッチしてから、もう一度再生してください。

CD/ROM (WMA/MP3/AAC)

症状	原因	処置
CD-RやCD-RWを再生できない。	ディスクがファイナライズされていない。	ディスクをファイナライズしてください。
WMA/MP3/AACファイルを再生できない。	WMAファイルに「.wma」、MP3ファイルに「.mp3」、AACファイルに「.m4a」の拡張子が付いていない。 ISO9660のレベル1、レベル2、Romeo、Jolietに準拠して記録されていない。 対応していないビットレートで記録されている。	WMAファイルに拡張子「.wma」、MP3ファイルに拡張子「.mp3」、AACファイルに拡張子「.m4a」の付いたディスクに交換してください。 ISO9660のレベル1、レベル2、Romeo、Jolietに準拠して記録されたディスクに交換してください。 対応しているビットレートで記録されたWMA/MP3/AACファイルにしてください。
WMA/MP3/AACファイル再生中に大きな雑音が出る。	ファイルの形式と拡張子があっていない。	ディスクを交換してください(WMA形式でないファイルに「.wma」、MP3形式でないファイルに「.mp3」、AAC形式でないファイルに「.m4a」の拡張子を付けたCD-ROMを再生しないでください)。
聞きたいWMA/MP3/AACファイルが見つからない。	WMAファイルに「.wma」、MP3ファイルに「.mp3」、AACファイルに「.m4a」の拡張子が付いていない。	WMAファイルに拡張子「.wma」、MP3ファイルに拡張子「.mp3」、AACファイルに拡張子「.m4a」の付いたディスクに交換してください。

症状	原因	処置
フォルダー名やファイル名が正しく表示されない。	ISO9660のレベル1、レベル2、Romeo、Jolietに準拠して記録されていない。	ISO9660のレベル1、レベル2、Romeo、Jolietに準拠して記録されたディスクに交換してください。
WMA/MP3/AACファイル再生が、記録した順と異なる。	WMA/MP3/AACファイルは、記録したときの順番どおりに再生されない場合があります。	ライティングソフトウェアによっては、フォルダー名、ファイル名のはじめに数字(01,02など)を付けることにより、再生順を指定できる場合があります。

TV

症状	原因	処置
画面が止まっている。 画面がカクカクして映る、コマ落ちしている。 画面に正方形のノイズが映る。	受信状態が悪くなった場合などは、そのような症状になります。これらは地上デジタル放送特有の現象で、故障ではありません。	受信状態の安定した場所に移動して視聴してください。
メッセージが表示され、視聴ができない。	本機が対応しない放送を視聴しようとしている。	本機は、以下の放送には対応していません。 ・番組単位で購入できる有料放送(ペイ・パー・ビュー) ・双方向通信を使うデータ放送 対応している放送に切り換えてください。
音声切換、字幕切換 のタッチキーが薄く表示されていて切り換わらない。	受信中の番組が、それらの情報を放送していない。	それらの情報を放送している番組で操作してください。
受信できない。 「受信できません」というメッセージが表示される。 「チャンネルスキャンをしてください」というメッセージが表示される。	チャンネルスキャンをしていない。 移動により、受信中のチャンネル電波が弱くなった。 放送局(チャンネル)が増えたり、他のエリアに移動して受信環境が変わった。	初めて使うときやバッテリーを外したとき、「視聴者設定クリア」(P125)をしたときは、チャンネルスキャンをしてください。 他の中継局(チャンネル)に切り換えてみてください。 受信環境が変わったときは、チャンネルスキャンをしてください。 →「放送局を自動で登録する(チャンネルスキャン)」(P124)
	受信レベルが低下して、放送が受信できない。	受信状態の安定した場所に移動して視聴してください。

SDカード/USBメモリー

症状	原因	処置
WMA/MP3/AAC/WAVファイルを再生できない。	WMAファイルに「.wma」、MP3ファイルに「.mp3」、AACファイルに「.m4a」、WAVファイルに「.wav」の拡張子が付いていない。 対応していないビットレートで記録されている。	WMAファイルに拡張子「.wma」、MP3ファイルに拡張子「.mp3」、AACファイルに拡張子「.m4a」、WAVファイルに拡張子「.wav」を付けてください。 対応しているビットレートで記録されたWMA/MP3/AAC/WAVファイルにしてください。
聴きたいWMA/MP3/AAC/WAVファイルが見つからない。	WMAファイルに「.wma」、MP3ファイルに「.mp3」、AACファイルに「.m4a」、WAVファイルに「.wav」の拡張子が付いていない。	WMAファイルに拡張子「.wma」、MP3ファイルに拡張子「.mp3」、AACファイルに拡張子「.m4a」、WAVファイルに拡張子「.wav」を付けてください。
SDカードに保存した映像ファイルを再生すると、音声は出るが、映像が見えない。	走行中である。	走行中は、映像を見ることはできません。音声のみでお楽しみください。
お持ちのコンピューターで認識しているSDカードが、本機で認識しない。	SDカードが正しくフォーマットされていない。	専用フォーマットソフトを使用し、フォーマットしてください。 フォーマットをすると、SDカードに記録されたデータが全て消去されます。必ずデータのバックアップを行ってください。 フォーマットソフトは、SDアソシエーションの、以下のホームページから入手できます。 URL : http://www.sdcard.org/jp/consumers/formatter/ (2010年12月時点記載)

エラーメッセージと対処方法

共通項目

メッセージ	原因	処置
高温あるいは低温を検出したためシステムを一時停止します。 復帰するまでしばらくお待ちください。	エアコン吹き出し口が近くに設置したことなどが原因で、ナビゲーション本体の内部温度が高くなったり低くなった。	正常に動作する温度になるまでお待ちください。正常な温度に戻ると、「高温あるいは低温状態からシステムが動作可能な状態に復帰しました。」と表示されます。
走行中は操作できません。	走行中に操作できない機能を操作した。	一部の機能は、安全のため走行中に操作できないようになっています。安全な場所に停車してパーキングブレーキをかけてから操作してください。
SDカードが正しく挿入されていることを確認してください。	本機に挿入したSDカードが正しく挿入されていない状態でモニターを閉じようとした。	SDカードを正しく本機に挿入してからモニターを閉じてください。 →『スタートブック』-「SDカードの出し入れ」

ナビゲーション

メッセージ	原因	処置
行き先が遠すぎるため、探索できませんでした。	出発地から目的地までの距離が適切ではない。	目的地または出発地の位置を変更してください。
行き先が近すぎるため、探索できませんでした。		
通行規制により、通行できない区間があるため探索できませんでした。	規制情報が考慮されたためルート探索ができない。	
時間規制により、通行できない区間があるため探索できませんでした。		
行き先につながる道路が見つからないため探索できませんでした。	目的地または出発地の位置が適切ではない。	
行き先または出発地付近に案内対象道路がないため探索できませんでした。		
探索できませんでした。	何らかの原因でルート探索ができない。	

ETC

エラーNo.	メッセージ	原因	処置
エラー01	ETCカードの挿入不良です。	ETCカードの挿入不良です。 料金所にて車両の停止が案内(表示)される場合があります。	ETCカードの挿入状態をご確認のうえ、再度挿入してください。 それでもエラー No.およびメッセージが表示される場合はお買い上げの販売店にご相談ください。
エラー02	ETCカードのデータが読み出せませんでした。	[ETCカード挿入時] 挿入されたETCカードのデータが読み出せませんでした。 [利用時] 料金所にて車両の停止が案内(表示)される場合があります。	再度挿入してください。それでもエラー No.およびメッセージが表示される場合はお買い上げの販売店にご相談ください。 お買い上げの販売店にご相談ください。
エラー03	挿入されたカードがETCカードであるか確認できませんでした。カードを確認して再度挿入してください。	挿入されたカードがETCカードであるか認識できませんでした。	正しいETCカードであることをご確認のうえ、再度挿入してください。それでもエラー No.およびメッセージが表示される場合はETCカード発行者(クレジットカード会社など)にご相談ください。
エラー04	ETCユニットが故障しています。	ETCユニットの故障です。	お買い上げの販売店にご相談ください。
エラー05	挿入されたカードがETCカードであるか確認できませんでした。カードを確認して再度挿入してください。	挿入されたカードがETCカードであるか認識できませんでした。	正しいETCカードであることをご確認のうえ、再度挿入してください。それでもエラー No.およびメッセージが表示される場合はお買い上げの販売店にご相談ください。
エラー06	料金所とのデータ処理にエラーが発生しました。料金所の係員の指示に従ってください。	ETCユニットと料金所間におけるデータ処理にエラーが発生しました。	料金所の係員の指示に従ってください。後日、お買い上げの販売店にご相談ください。
	ETCが登録されていません。	セットアップ(車両情報の登録)が行われていません。	お買い上げの販売店にてセットアップを行ってください。
エラー07	料金所とのデータ処理にエラーが発生しました。料金所の係員の指示に従ってください。	ETCユニットと料金所間におけるデータ処理にエラーが発生しました。	料金所の係員の指示に従ってください。後日、お買い上げの販売店にご相談ください。
エラー09	ETCユニットが故障しています。	ETCユニットの故障です。	ETCユニットをお買い上げの販売店にご相談ください。
エラー10	ETCユニットが故障しています。	ETCユニットの故障です。	ETCユニットをお買い上げの販売店にご相談ください。

オーディオ

DISC (CD/ROM (WMA/MP3/AAC)/DVD)

メッセージ	原因	処置
再生できないディスクです。	本機で再生できないディスクを挿入している。	「再生できるディスクの種類」(→P192)をご確認のうえ、本機で再生できるディスクに交換してください。
高温、または低温のため、再生できません。 ディスクを取り出してください。	エアコン吹き出し口の近くに設置したことなどが原因で、ナビゲーション本体の内部温度が高くまたは低くなった。	ディスクを取り出し、正常に動作する温度になるまでお待ちください。改善されない場合は、販売店にご相談ください。
再生できません。ディスクを取り出してください。	ディスクが極端に汚れている。	ディスクの汚れを拭き取ってください。
	ディスクにキズやそりがある。	キズやそりの無いディスクに交換してください。
	ディスクの表裏を逆にして挿入している。	ディスクのタイトル面を上にして挿入してください。
	本機で再生できないディスクを挿入している。	「再生できるディスクの種類」(→P192)をご確認のうえ、本機で再生できるディスクに交換してください。
再生できませんでした。 このトラックは再生できません。	本機で再生できるトラックやファイルではない。	「WMA/MP3/AAC/WAVファイルについて」(→P195)をご確認のうえ、本機で再生できるトラックやファイルを再生してください。
再生できないファイルです。 再生できるファイルがありません。	本機で再生できるトラックやファイルがディスクに含まれていない。	また、本機ではDRM(デジタル著作権管理)が設定されたファイルは再生できません。
再生できるトラックはありません。		
リージョンコードが違います。	本機のリージョン番号と異なるディスクを挿入した。	リージョン番号“2”を含むディスクに交換してください。(→P193)
走行中は音声のみでお楽しみください。	走行中にDVDの映像を再生しようとした。	安全のため、走行中に映像を見ることはできません。安全な場所に停車してパーキングブレーキをかけてからご覧ください。

TV

メッセージ(エラー番号)	原因	処置
ANTENNA アンテナ接続エラーの可能性 があります。 受信できません。	ワンセグアンテナに不具合がある。	販売店にご相談ください。
スキャンを実行してください。	ワンセグ放送の電波を受信できない。	「故障かな?と思ったら」の「TV」の「受信できない」(→P205)をご覧ください。
チャンネルが登録されていません。	選局用サービスリストにチャンネルが登録されていない。	チャンネルスキャンをしてください。→「放送局を自動で登録する(チャンネルスキャン)」(P124)
サービスが登録されていません。電波状況の良い場所でスキャンをしてください。	プリセットチャンネルリストにチャンネルが登録されていない。	
このチャンネルは登録できません。	サービスが登録されていない。	
現在、このサービスは視聴できません。	ユーザープリセットにメモリーできないチャンネルを登録しようとした。	登録できるチャンネルを探して登録してください。
映像情報がありません。	放送(サービス)としては存在するが、放送されていない。	-
走行中は音声のみでお楽しみください。	音声のみの番組です。	-
走行中は音声のみでお楽しみください。	走行中にテレビを見ようとした。	安全のため、走行中に映像を見ることはできません。安全な場所に停車してパーキングブレーキをかけてからご覧ください。

BT AUDIO

メッセージ	原因	処置
Bluetooth機器との接続に失敗しました。	何らかの理由で本機からBT AUDIO機器への接続が成功しない。	「機器接続」にタッチして、BT AUDIO機器側から接続を行ってください。(→P160)
登録されていないAV機器です。「Bluetooth設定」から機器登録を行ってください。	Bluetooth設定で登録されていない機器で接続を行った場合。	Bluetooth設定で登録を行ってから接続を行ってください。 →「Bluetooth設定を行う」(P95)

SDカード/USBメモリー

メッセージ	原因	処置
再生できませんでした。	本機で再生できるファイルではない。	「WMA/MP3/AAC/WAVファイルについて」(→P195)をご確認のうえ、本機で再生できるファイルを再生してください。
再生できるファイルがありません。	本機で再生できるファイルがSDカードまたはUSBメモリーに含まれていない。	
再生できませんでした。	本機で再生できる最大解像度を超えるコンテンツを再生しようとした。	「SD / USBの操作のしかた」(→P150)をご確認のうえ、本機で再生できるファイルを再生してください。
このUSBメモリーは本機では使用できません。	本機が対応していないUSBメモリーを接続した。	本機が対応しているUSBメモリーをご確認ください。(→P150)
	USBメモリーに異常がある。	USBメモリーをフォーマットし、再度本機に接続してください。
このSDカードは本機では使用できません。	本機が対応していないSDカードを挿入した。	本機が対応しているSDカードをご確認ください。(→P150)
	SDカードに異常がある。	SDカードをフォーマットし、再度本機に挿入してください。
走行中は音声のみでお楽しみください。	走行中にSDの映像を再生しようとした。	安全のため、走行中に映像を見ることはできません。安全な場所に停車してパーキングブレーキをかけてからご覧ください。

iPod

メッセージ	原因	処置
絞込みに失敗しました。	何らかの原因で絞込みができない。	ACCをOFF/ONするか、iPodを本機から取り外し、iPodが問題なく動作していることを確認してから再度接続してください。
iPodの接続に失敗しました。接続し直してください。	何らかの原因で本機とiPod間の認証が成功しない。	
走行中は音声のみでお楽しみください。	走行中にiPodビデオの映像を再生しようとした。	安全のため、走行中に映像を見ることはできません。安全な場所に停車してパーキングブレーキをかけてからご覧ください。

センサーメモリーのリセットについて

センサー学習状態のリセットが必要な場合

[オールリセット]が必要な場合

- 本体の取り付け位置や角度を変更した場合または別の車両へ載せ換えた場合
- 測位の誤差が大きくなった場合

[距離学習リセット]が必要な場合

- タイヤを交換した後、しばらく経っても距離誤差が補正されない場合

センサー学習状態のリセットのしかた

学習メモリーのリセットは「センサー学習状況」画面で行います。→「センサー学習状況を見る」(P83)

センサー学習とは

本機の3Dハイブリッドセンサーは、走行状況(距離/方位/傾斜(3D))を検知して、その結果を学習しています。したがって、走行を重ねるごとに測位の精度が高くなります。

センサーが学習した結果は、本機に内蔵されているセンサーメモリーに蓄積されます。

その他の情報

検索におけるデータベースについて

場所を探すベースとなっているデータによっては、表示されるポイント(位置)が実際のポイントと離れている場合があります。

タウンページデータについて

- NTTタウンページをもとに位置データを整備していますが、もとのデータそのものが間違っている場合もあります。また、住所番地が広大な場所やもとのデータからは該当施設を特定できない場所では、指定した地区の代表地点が表示されます。
- 正確な位置に表示されない場所を目的地としてルートを設定したときは、その施設から離れた場所が最終の案内地になる場合があります。

自然物に関するデータについて

- 施設を表す検索ポイントではなく、場所そのものや、山や川などの自然物を表す検索データについては、その代表地点が表示されます。

電話番号検索のデータについて

- 電話番号検索のデータとして、タウンページのデータと訪問宅(個人宅)のデータが収録されています。
- 訪問宅(個人宅)の電話番号データに収録されていない場合は、市区町村の代表地点が表示されます。

ロゴマーク表示について

- ロゴマークの表示されるポイントは、実際の場所とは異なっている場合があります。

営業時間考慮周辺検索について

- 営業時間を考慮するのはATM・駐車場・コンビニ・ファミリーレストラン・ファストフード・ガソリンスタンドのみで、隔週休日、不定期休日には対応していません。また、一部の店舗は対応していない場合があります。

- 営業時間データは、日をまたがないようにデータ収録されているため、閉店が0時をすぎる場合であっても、0時として収録されています。
- 24時間営業は24時間の営業で収録されています。

ルートに関する注意事項

！ 注意

- ルート探索をすると、自動的にルート/音声案内が設定されます。曜日、時刻規制については、交通規制情報はルート探索した時刻のものが反映されます。例えば、「午前中通行可」の道路でも時間の経過により、その現場を「正午」に走行すると設定されたルートを通れないなどの交通規制に反する場合があります。
- 運転するときは必ず実際の交通標識に従ってください。
- なお、冬期通行止めなどには一部対応していないものもあります。

- 探索されたルートは道路種別や交通規制などを考慮して、本機が求めた目的地に至る道順の一例です。必ずしも最適になるとは限りません。
- ルート探索は100 mスケールの地図に表示される道路を対象としています。シティマップにだけ表示される道路は対象となりません。
- 本州～北海道、本州～四国、本州～九州のルートも設定できません(本州～北海道などのフェリーが運航されている場合には、航路を使うルートが探索されます)。
- フェリー航路に関してはルート探索の補助手段であるため、長距離航路は対象となりません。
- フェリー航路については、すべてのフェリー航路が収録されているわけではありません。また、フェリー航路を優先しても必ずフェリー航路が使われるわけではありません。
- 冬期通行止めなどにより通行できない道路を探索すると、エラーメッセージが表示されます。

つづく→

- 設定されているルートで使用されている入口／出口によっては、乗降IC（インターチェンジ）指定の操作ができない場合があります。

ルート探索のしかた

- 現在の進行方向と逆向きのルートが設定されることがあります。
 - 河川や駅の反対側を案内するルートになることがあります。そのようなときは、目的地を使用したい道路の近くに移動してみてください。
 - 渋滞考慮ルート、有料道路回避、フェリー航路回避などでは、他の適切なルートがない場合は回避されることがあります。
 - 推奨できるルートが6本に満たない場合、何本かが同じルートになることがあります。
 - 場所によってはルート探索できないことがあります。そのようなときは、目的地および出発地付近の「大きな交差点※」付近に立寄地を設定してみてください。
- ※「大きな交差点」とは、細街路（100 mスケールでグレー表示の細い道（→「記号・マーカー一覧」(P231)）以外の道どうしの交差点です。

ルートの道塗りについて

- 道路形状によっては、道塗りの下から道路がはみ出して見える場合があります。
- 出発地、目的地、立寄地の前後では道塗りされない場合があります。このため、立寄地付近でルートが途切れたように見えることがあります。

音声案内について

- オートリルートの場合、元のルートに復帰する案内地点は案内されません。ただし、その地点が右折などで案内が必要な場合は、通常の案内を行います。
- 有料道路のインターチェンジ出口を目的地として設定すると、「高速出口」と「料金」は音声案内されないことがあります。

交差点拡大図について

- 2D交差点拡大図は、交差点とその約150 m手前の地点を結んだ線が上になるように表示されます。道路形状によっては、ヘディングアップにならない場合があります。
- 第1案内地点の案内地点での交差点拡大図は、表示されないことがあります。

ルート候補選択画面での有料料金について

- 特殊な料金体系の有料道路では、正しい料金が表示されない場合があります。
- 料金非対応路線を含むルートの場合は、「〇〇円以上」と表示されます。
- 料金計算ができないルートの場合は、「不明」と表示されます。
- 一般有料道路に関しては、一部路線のみ対応しています。
- 有料道路上およびランプ上からルートを探したときや、有料道路上に目的地や出発地を設定したときは、有料道路を使う区間を判断できないため、料金が正しく計算されません。
- 一部実際と異なる料金が表示されたり、案内されたりすることがあります。このような場合は、実際の料金に従ってください。
- 有料料金は改定される場合がありますので、あくまで目安としてお使いください。

オートリルートについて

目的地、立寄地付近の時間規制がある場合は、規制を無視するルートを引く場合があります。

VICS情報に関する注意事項

FM 多重放送について

- VICSセンターからのFM多重放送を使用したVICS情報は、NHK-FMのFM多重放送の電波によって提供されます。
- 一定周期で情報が更新されるため、情報が集まるまで時間がかかります。
- 放送時間は、放送局によって異なります。VICSセンター情報などで確認してください。

VICSセンターのお問い合わせ先

VICSの概念、計画、またはFM多重放送により提供されるVICS情報に関することは、(財) VICSセンターへお問い合わせください。

電話受付時間：9:30～17:45
(土曜、日曜、祝祭日、年末年始のセンター休日を除く)

電話番号：0570-00-8831
(ナビダイヤルでは全国から市内通話料金でご利用になれます)

※ PHS、IP電話などからはご利用できません。

FAX受付時間：24時間
FAX番号：03-3562-1719 (全国)

また、VICSの最新情報やFM多重放送用の周波数の情報などは下記のホームページでご覧いただけます。

URL：http://www.vics.or.jp/

シティマップ(詳細市街地図)収録エリア

本機には、以下の都市の詳細市街地図が収録されています。

整備面積 95% 以上 (466 都市)

田舎館村、塩竈市、多賀城市、亶理町、七ヶ浜町、湯川村、水戸市、土浦市、古河市、石岡市、結城市、龍ヶ崎市、下妻市、常総市、取手市、牛久市、つくば市、ひたちなか市、鹿嶋市、潮来市、守谷市、那珂市、筑西市、坂東市、稲敷市、かすみがうら市、神栖市、行方市、鉾田市、つくばみらい市、小美玉市、茨城町、大洗町、東海村、美浦村、阿見町、河内町、八千代町、五霞町、境町、利根町、小山市、真岡市、下野市、上三川町、壬生町、野木町、岩舟町、伊勢崎市、太田市、館林市、玉村町、板倉町、明和町、千代田町、大泉町、邑楽町、さいたま市、川越市、熊谷市、川口市、行田市、所沢市、加須市、東松山市、春日部市、狭山市、羽生市、鴻巣市、深谷市、上尾市、草加市、越谷市、蕨市、戸田市、入間市、朝霞市、志木市、和光市、新座市、桶川市、久喜市、北本市、八潮市、富士見市、三郷市、蓮田市、坂戸市、幸手市、鶴ヶ島市、日高市、吉川市、ふじみ野市、伊奈町、三芳町、毛呂山町、滑川町、嵐山町、川島町、吉見町、鳩山町、美里町、上里町、宮代町、白岡町、杉戸町、松伏町、千葉市、銚子市、市川市、船橋市、館山市、木更津市、松戸市、野田市、茂原市、成田市、佐倉市、東金市、旭市、習志野市、柏市、勝浦市、市原市、流山市、八千代市、我孫子市、鴨川市、鎌ヶ谷市、君津市、富津市、浦安市、四街道市、袖ヶ浦市、八街市、印西市、白井市、富里市、南房総市、香取市、山武市、酒々井町、栄町、神崎町、多古町、東庄町、大網白里町、九十九里町、芝山町、横芝光町、一宮町、睦沢町、長生村、白子町、長柄町、長南町、大多喜町、御宿町、鋸南町、千代田区、中央区、港区、新宿区、文京区、台東区、墨田区、江東区、品川区、目黒区、大田区、世田谷区、渋谷区、中野区、杉並区、豊島区、北区、荒川区、板橋区、練馬区、足立区、葛飾区、江戸川区、八王子市、立川市、武蔵野市、三鷹市、青梅市、府中市、昭島市、調布市、町田市、小金井市、小平市、日野市、東村山市、国分寺市、国立市、福生市、狛江市、東大和市、清瀬市、東久留米市、武蔵村山市、多摩市、稲城市、羽村市、あきる野市、西東京市、瑞穂町、日の出町、横浜市、川崎市、横須賀市、平塚市、鎌倉市、

藤沢市、小田原市、茅ヶ崎市、逗子市、三浦市、厚木市、大和市、伊勢原市、海老名市、座間市、南足柄市、綾瀬市、葉山町、寒川町、大磯町、二宮町、中井町、大井町、開成町、箱根町、真鶴町、湯河原町、愛川町、新潟市、聖籠町、射水市、舟橋村、川北町、野々市町、内灘町、昭和町、小布施町、岐阜市、多治見市、羽島市、各務原市、瑞穂市、岐南町、笠松町、神戸町、輪之内町、安八町、大野町、北方町、坂祝町、熱海市、三島市、焼津市、袋井市、湖西市、御前崎市、菊川市、伊豆の国市、牧之原市、函南町、清水町、吉田町、名古屋市、一宮市、半田市、春日井市、豊川市、津島市、碧南市、刈谷市、安城市、西尾市、蒲郡市、犬山市、常滑市、江南市、小牧市、稲沢市、東海市、大府市、知多市、知立市、尾張旭市、高浜市、岩倉市、豊明市、日進市、田原市、愛西市、清須市、北名古屋市、弥富市、みよし市、あま市、東郷町、長久手町、豊山町、大口町、扶桑町、大治町、蟹江町、飛島村、阿久比町、東浦町、南知多町、美浜町、武豊町、幸田町、四日市市、木曾岬町、東員町、朝日町、川越町、明和町、彦根市、近江八幡市、草津市、守山市、野洲市、竜王町、豊郷町、甲良町、城陽市、向日市、長岡京市、八幡市、京田辺市、大山崎町、久御山町、精華町、大阪市、堺市、岸和田市、豊中市、池田市、吹田市、泉大津市、守口市、枚方市、八尾市、富田林市、寝屋川市、松原市、大東市、柏原市、羽曳野市、門真市、摂津市、高石市、藤井寺市、東大阪市、四條畷市、交野市、大阪狭山市、阪南市、忠岡町、熊取町、田尻町、岬町、太子町、神戸市、尼崎市、明石市、西宮市、芦屋市、伊丹市、加古川市、宝塚市、三木市、高砂市、川西市、小野市、稲美町、播磨町、太子町、大和高田市、大和郡山市、橿原市、生駒市、香芝市、平群町、三郷町、斑鳩町、安堵町、川西市、三宅町、田原本町、上牧町、王寺町、広陵町、河合町、和歌山市、太地町、境港市、日吉津村、倉敷市、玉野市、浅口市、早島町、里庄町、府中町、海田町、熊野町、坂町、和木町、石井町、松茂町、北島町、藍住町、宇多津町、松前町、北九州市、福岡市、直方市、筑後市、大川市、行橋市、中間市、小郡市、春日市、福津市、志免町、粕屋町、芦屋町、水巻町、岡垣町、速賀町、小竹町、鞍手町、大刀洗町、大木町、糸田町、大任町、苅田町、吉富町、時津町、熊本市、合志市、長洲町、菊陽町、嘉島町、那覇市、宜野湾市、浦添市、糸満市、沖繩市、豊見城市、読谷村、嘉手納町、北谷町、北中城村、中城村、西原町、与那原町、南風原町、八重瀬町

整備面積 80% 以上 (64 都市)

室蘭市、名取市、東松島市、利府町、鏡石町、泉崎村、矢吹町、桜川市、宇都宮市、栃木市、芳賀町、高根沢町、吉岡町、本庄市、小川町、長瀬町、寄居町、相模原市、燕市、中央市、可児市、養老町、富加町、伊東市、磐田市、豊橋市、桑名市、鈴鹿市、玉城町、愛荘町、泉佐野市、島本町、加西市、福岡町、御所市、葛城市、高取町、大淀町、有田市、岩出市、米子市、笠岡市、広島市、田布施町、小松島市、善通寺市、琴平町、多度津町、久留米市、柳川市、大野城市、宗像市、太宰府市、須恵町、新宮町、福智町、上峰町、みやき町、大町町、江北町、波佐見町、玉東町、東串良町、うるま市

整備面積 50% 以上 (158 都市)

北広島市、八戸市、藤崎町、板柳町、鶴田町、矢巾町、仙台市、岩沼市、大河原町、山元町、富谷町、美里町、潟上市、八郎潟町、天童市、中山町、河北町、三川町、桑折町、中島村、笠間市、足利市、益子町、市貝町、前橋市、高崎市、渋川市、富岡市、榛東村、越生町、神川町、匝瑛市、いずみ市、秦野市、松田町、弥彦村、田上町、高岡市、滑川市、砺波市、入善町、羽咋市、かほく市、能美市、鯖江市、あわら市、笛吹市、市川三郷町、西桂町、忍野村、山中湖村、岡谷市、小諸市、千曲市、山形村、美濃加茂市、土岐市、海津市、垂井町、関ヶ原町、池田町、沼津市、富士市、掛川市、御殿場市、裾野市、長泉町、小山町、岡崎市、瀬戸市、伊勢市、志摩市、菟野町、大津市、栗東市、湖南市、京都市、宇治市、木津川市、笠置町、高槻市、貝塚市、茨木市、和泉市、箕面市、泉南市、豊能町、能勢町、河南町、姫路市、西脇市、三田市、南あわじ市、淡路市、加東市、たつの市、猪名川町、桜井市、明日香村、海南市、御坊市、湯浅町、美浜町、湯梨浜町、北栄町、岡山市、呉市、福山市、防府市、下松市、光市、山陽小野田市、徳島市、鳴門市、板野町、上板町、高松市、丸亀市、坂出市、観音寺市、さぬき市、高知市、南国市、大牟田市、飯塚市、田川市、筑紫野市、古賀市、みやま市、糸島市、那珂川町、宇美町、桂川町、筑前町、広川町、鳥栖市、小城市、嬉野市、基山町、有田町、白石町、長崎市、島原市、諫早市、長与町、川棚町、佐々町、荒尾市、玉名市、宇土市、氷川町、大分市、日出町、高鍋町、新富町、鹿児島市、南城市、今帰仁村

整備面積 50% 未満 (646 都市)

札幌市、函館市、小樽市、旭川市、釧路市、帯広市、北見市、夕張市、岩見沢市、網走市、留萌市、苫小牧市、稚内市、美瑛市、芦別市、江別市、赤平市、紋別市、土別市、名寄市、三笠市、根室市、千歳市、滝川市、砂川市、歌志内市、深川市、富良野市、登別市、恵庭市、伊達市、石狩市、北斗市、当別町、七飯町、鹿部町、森町、八雲町、江差町、上ノ国町、倶知安町、岩内町、仁木町、余市町、南幌町、奈井江町、上砂川町、長沼町、栗山町、新十津川町、鷹栖町、東神楽町、美瑛町、上富良野町、羽幌町、美幌町、斜里町、遠軽町、白老町、洞爺湖町、浦河町、新ひだか町、音更町、清水町、芽室町、広尾町、幕別町、池田町、足寄町、釧路町、弟子屈町、中標津町、青森市、弘前市、黒石市、五所川原市、十和田市、三沢市、むつ市、つがる市、平川市、大鰐町、野辺地町、六戸町、東北町、おいらせ町、五戸町、南部町、階上町、盛岡市、宮古市、大船渡市、花巻市、北上市、久慈市、遠野市、一関市、陸前高田市、釜石市、二戸市、八幡平市、奥州市、雫石町、岩手町、滝沢村、紫波町、金ヶ崎町、平泉町、大槌町、山田町、一戸町、石巻市、気仙沼市、白石市、角田市、登米市、栗原市、大崎市、蔵王町、村田町、柴田町、丸森町、松島町、大和町、大郷町、大衡村、加美町、涌谷町、女川町、秋田市、能代市、横手市、大館市、男鹿市、湯沢市、尾角市、由利本荘市、大仙市、北秋田町、にかほ市、仙北市、小坂町、五城目町、井川町、美郷町、羽後町、山形市、米沢市、鶴岡市、酒田市、新庄市、寒河江市、上山市、村山市、長井市、東根市、尾花沢市、南陽市、山辺町、大江町、大石田町、高畠町、川西町、白鷹町、庄内町、福島市、会津若松市、郡山市、いわき市、白河市、須賀川市、喜多方市、相馬市、二本松市、田村市、南相馬市、伊達市、本宮市、国見町、川俣町、大玉村、磐梯町、猪苗代町、会津坂下町、会津美里町、西郷村、棚倉町、石川町、玉川村、浅川町、三春町、広野町、楡葉町、富岡町、大熊町、双葉町、浪江町、新地町、日立市、常陸太田市、高萩市、北茨城市、常陸大宮市、城里町、大子町、佐野市、鹿沼市、日光市、大田原市、矢板市、那須塩原市、さくら市、那須烏山市、茂木町、那須町、桐生市、沼田市、藤岡市、安中市、みどり市、下仁田町、甘楽町、中之条町、草津町、東吾妻町、昭和村、みなかみ町、秩父市、飯能市、ときがわ町、横瀬町、皆野町、小鹿野町、東秩父村、檜原村、奥多摩町、山北町、清川村、長岡市、三条市、柏崎市、新発田市、小

千谷市、加茂市、十日町市、見附市、村上市、糸魚川市、妙高市、五泉市、上越市、阿賀野市、佐渡市、魚沼市、南魚沼市、胎内市、湯沢町、津南町、富山市、魚津市、氷見市、黒部市、小矢部市、南砺市、上市町、立山町、朝日町、金沢市、七尾市、小松市、輪島市、珠洲市、加賀市、白山市、津幡町、志賀町、宝達志水町、中能登町、能登町、福井市、敦賀市、小浜市、大野市、勝山市、越前市、坂井市、永平寺町、越前町、美浜町、高浜町、おおい町、甲府市、富士吉田市、都留市、山梨市、大月市、韮崎市、南アルプス市、北杜市、甲斐市、上野原市、甲州市、身延町、富士川町、鳴沢村、富士河口湖町、長野市、松本市、上田市、飯田市、諏訪市、須坂市、伊那市、駒ヶ根市、中野市、大田市、飯山市、茅野市、塩尻市、佐久市、東御市、安曇野市、軽井沢町、御代田町、立科町、下諏訪町、富士見町、原村、辰野町、箕輪町、飯島町、南箕輪村、中川村、宮田村、松川町、高森町、喬木村、豊丘村、池田町、松川村、坂城町、高山村、山ノ内町、木島平村、飯綱町、大垣市、高山市、関市、中津川市、美濃市、瑞浪市、恵那市、山県市、飛騨市、本巣市、郡上市、下呂市、揖斐川町、川辺町、八百津町、御嵩町、白川村、静岡市、浜松市、富士宮市、島田市、藤枝市、下田市、伊豆市、東伊豆町、松崎町、西伊豆町、森町、豊田市、新城市、津市、松阪市、名張市、尾鷲市、亀山市、鳥羽市、熊野市、いなべ市、伊賀市、多気町、度会町、南伊勢町、紀北町、御浜町、紀宝町、長浜市、甲賀市、高島市、東近江市、米原市、日野町、多賀町、福知山市、舞鶴市、綾部市、宮津市、亀岡市、京丹後市、南丹市、井手町、宇治田原町、和束町、南山城村、伊根町、与謝野町、河内長野市、千早赤阪村、洲本市、相生市、豊岡市、赤穂市、篠山市、養父市、丹波市、宍粟市、多可町、市川町、神戸町、上郡町、奈良市、天理市、五條市、宇陀市、吉野町、下市町、黒滝村、橋本市、田辺市、新宮市、紀の川市、紀美野町、かつらぎ町、九度山町、広川町、有田川町、日高町、由良町、印南町、みなべ町、日高川町、白浜町、上富田町、那智勝浦町、串本町、鳥取市、倉吉市、岩美町、八頭町、三朝町、琴浦町、南部町、伯耆町、松江市、浜田市、出雲市、益田市、大田市、安来市、江津市、雲南市、津江市、井原市、総社市、高梁市、新見市、備前市、瀬戸内市、赤磐市、真庭市、美作市、和気町、矢掛町、鏡野町、勝央市、竹原市、三原市、尾道市、府中市、三次市、庄原市、大竹市、東広島市、廿日市市、安芸高田市、江田島市、安芸太田町、下関市、宇部市、山口市、

萩市、岩国市、長門市、柳井市、美祢市、周南市、周防大島町、平生町、阿南市、吉野川市、阿波市、美馬市、三好市、つるぎ町、東みよし町、東かがわ市、三豊市、土庄町、小豆島町、三木町、綾川町、まんのう町、松山市、今治市、宇和島市、八幡浜市、新居浜市、西条市、大洲市、伊予市、四国中央市、西予市、東温市、砥部町、内子町、室戸市、安芸市、土佐市、須崎市、宿毛市、土佐清水市、四万十市、香南市、香美市、いの町、佐川町、越知町、八女市、豊前市、うきは市、宮若市、嘉麻市、朝倉市、篠栗町、久山町、香春町、添田町、川崎町、赤村、みやこ町、築上町、佐賀市、唐津市、多久市、伊万里市、武雄市、鹿島市、神埼市、吉野ヶ里町、佐世保市、大村市、平戸市、松浦市、対馬市、壱岐市、五島市、雲仙市、南島原市、東彼杵町、八代市、人吉市、水俣市、山鹿市、菊池市、上天草市、宇城市、阿蘇市、天草市、大津町、御船町、益城町、甲佐町、芦北町、津奈木町、別府市、中津市、日田市、佐伯市、臼杵市、津久見市、竹田市、豊後高田市、杵築市、宇佐市、豊後大野市、由布市、国東市、九重町、玖珠町、宮崎市、都城市、延岡市、日南市、小林市、日向市、串間市、西都市、えびの市、三股町、高原町、国富町、綾町、木城町、川南町、都農町、門川町、鹿屋市、枕崎市、阿久根市、出水市、指宿市、西之表市、垂水市、薩摩川内市、日置市、曾於布、霧島市、いちき串木野市、南さつま市、志布志市、奄美市、南九州市、伊佐市、始良市、さつま町、大崎町、肝付町、石垣市、名護市、宮古島市、恩納村、金武町

3号神戸線（中之島西出口）→1号環状線（堂島入口）

16号大阪港線（波除出口）→1号環状線（堂島入口）

3号神戸線（中之島西出入口）⇔16号大阪港線（波除出入口）

収録データベースについて

地図データについて

- 日本測地系に対応しています。
- いかなる形式においても著作権者に無断でこの地図の全部または一部を複製し、利用することを固く禁じます。
- この地図の作成にあたっては、一般財団法人日本デジタル道路地図協会発行の全国デジタル道路地図データベースを使用したものです。（測量法第44条に基づく成果使用承認 09-193 M1）「©2012一般財団法人日本デジタル道路地図協会」2012年3月発行を使用。
- この地図は小田原市長の承認を得て、同市発行の1/2,500国土基本図を使用したものです。（承認番号）小田原市指令第52号 平成10年4月2日承認
- この地図は、養老町長の承認を得て、同町所管の2500分の1都市計画図を使用したものです。平成12年 養建第1902号
- この地図は、貴志川町長の承認を得て同町発行の1/2,500全図を使用し、調製したものです。（承認番号）平10.近公.第34号
- この地図の作成に当たっては、知多市長の承認を得て、同市発行の2,500分の1都市計画基本図を使用したものです。（測量法第44条に基づく成果使用承認 平成12年度 知都発第170号）
- この地図は大木町長の承認を得て、同町発行の5,000分の1の地形図を使用し調製したものです。（承認番号 15大木建第734号）

阪神高速道路株式会社からのご連絡

阪神高速道路にはネットワークの未整備区間を補完するため、乗継券を受け取り、一般道路を経由した後にその乗継券で再度、通行料金を支払わずに阪神高速道路を利用できる「乗り継ぎ区間」があります。（乗り継ぎ区間ではETCが利用可能）。また、「乗り継ぎ区間」の詳細につきましては、以下をご覧ください。

3号神戸線（京橋・摩耶出入口）⇔5号湾岸線（住吉浜出入口）

4号湾岸線（大浜出入口）⇔15号堺線（堺出入口）

- この地図は、堀金村長の承認を得て1/2,500の都市計画図を参照して作成したものです。(承認番号 16堀第5417号)
- この地図は東近江市長の承認を得て、同市発行の地形図1/2,500を使用し、調製したものです。(承認番号 東開第111号 平成18年2月28日承認)
- この地図は、伊香保町長の承認を得て平成7年度作成の10,000分の1の白図を使用し、調製したものです。(承認番号 伊建農発229号 平成17年7月14日承認)
- この地形図は、東京都都市整備局および東京デジタルマップの東京都縮尺1/2500地形図を使用して作成したものです。(承認番号:18東デ共041号)
- この地図は、東京都知事の承認を受けて、東京都縮尺2,500分の1の地形図を使用して作成したものです。(承認番号) 18都市基交 第478号
- この地図は、津山市長の承認を得て、同市所管の測量成果津山市都市計画(1/2,500)を使用して調製したものです。(承認番号 平成17年津山市使用承認第5号)
- この地図は、宇部市長の承認を得て平成13年作成の宇部市域図を使用したものです。(承認番号 指令宇都第13号 平成18年5月15日承認)
- この地図は、宇部市長の承認を得て平成13年作成の宇部市域図を使用したものです。(承認番号 指令宇都第14号 平成18年5月31日承認)
- この地図は、周防大島町長の承認を得て、周防大島町管内図を使用したものです。(承認番号 周防建設第56号 平成18年5月12日承認)
- この地図は、東かがわ市長の承認を得て、同市所管の測量成果である東かがわ市地形図1/10,000及び東かがわ市都市計画図1/2,500を使用して調製したものです。(承認番号平成18年5月2日18建第107号)
- この測量の成果は、東温市長の承認により、平成17年3月作成の東温市都市計画図を使用して得たものです。(承認番号 H18東温都第174号)
- この地図は、宮城県知事の承認を得て、同県所管の1/5,000森林基本図を使用したものです。(承認番号 林振第350号 平成18年9月19日承認)
- この地図は、宮城県知事の承認を得て、同県所管の1/5,000森林基本図を使用したものです。(承認番号 林振第611号 平成19年2月28日承認)
- この地図は秋田県知事の承認を得て森林基本図を複製したものです。承認番号 平成19年3月7日 指令水緑-1258
- この地図は、山形県の森林基本図を複製したものです。承認番号森第18-10号
- この地図は長岡市長の承認を得て、同市所管の地形図1/10,000を使用して調製したものです。(長都政第477号 平成18年3月28日承認)
- この図面は山梨県が作成した測量成果をもとに作成したものです。使用承認 平成19年3月1日 森整第1561号
- この地図は、長野県知事の承認を得て、長野県森林基本図を使用して作成したものです。(承認番号 18森政第5-5号)
- この地図は島根県が作成した森林基本図1:5,000を原図とし、島根県知事の承認を得て使用したものです。(承認番号 平成18年11月24日付け森第1286号)
- この地図は島根県が作成した森林基本図1:5,000を原図とし、島根県知事の承認を得て使用したものです。(承認番号 平成19年2月27日付け森第1736号)
- この地図は、広島県知事の承認を得て、同県所管の1/5,000森林基本図を使用したものです。(広島県使用承認林振第115号 平成19年2月15日承認)
- この地図は、徳島県知事の承認を得て、同県所管の1/5,000森林基本図を使用したものです。(承認番号 林振第484号 平成19年1月30日承認)

- この地図は、佐賀県知事の承認を得て、同県所管の1/5,000森林基本図を使用したものです。(承認番号 森整第010634号 平成18年10月4日承認)
- この地図は、長崎県知事の承認を得て、長崎県森林基本図(1/5,000)を使用し調製したものです。(承認番号 18林第492号(平成18年10月6日))
- この地図は、熊本県知事の承認を得て5,000分の1の森林地形図を複製したものです。(承認番号 森整第993号・平成19年2月14日)
- この地図は、熊本県知事の承認を得て5,000分の1の森林地形図を複製したものです。(承認番号 森整第1079号・平成19年3月7日)
- この地図は、大分県知事の承認を得て、5,000分の1森林基本図を使用し、調製したものです(承認番号林18-1 平成18年12月5日)。
- この地図は、大分県知事の承認を得て、5,000分の1森林基本図を使用し、調製したものです(承認番号林18-2 平成19年3月7日)。
- この地図は宮崎県知事の承認を得て5000分の1森林基本図を使用し、調製したものです。(承認番号 使18-1号 平成18年12月8日)
- この地図は宮崎県知事の承認を得て5000分の1森林基本図を使用し、調製したものです。(承認番号 使18-3号 平成19年3月8日)
- この地図の作製に当たっては、鹿児島県知事の承認を得て、5千分の1森林基本図を使用したものです。(承認番号 平18 林振第360号)
- この地図は、知覧町長の承認を得て、同町発行の1/5,000全図を使用し、調製したものです。(承認番号)平成18年5月26日知耕第590号
- この地図の作成にあたっては、茨城県林政課作成の5千分の1森林基本図を使用したものです。(測量法第44条第3項の規定に基づく成果使用承認 平成19年8月8日付、承認番号 林政19-482号、茨城県林政課長)
- この地図は秋田県知事の承認を得て森林基本図を複製したものです。承認番号 平成18年11月30日 指令水緑-947
- この地図は、笛吹市長の承認を得て同市発行の10000分の1の全図を使用し、作成したものです。(承認番号 笛まち第12-25号 平成19年12月13日承認)
- この地図は、岐阜県知事の承認を得て、岐阜県共有空間データ(18国地部公発第334号)を使用したものです。(承認番号 情企第590号 平成20年3月24日承認)
- この成果品は、高知県が作成した測量成果を、高知県知事の承認を得て使用し作成したものです。(承認番号 平成19年2月14日付け 18高森推第568号)
- この地図の作製に当たっては、鹿児島県知事の承認を得て、5千分の1森林基本図を使用したものです。(承認番号 平19 林振第404号)
- この地図データの一部は、小樽市長の承認を得て、同市が作成した平成19年度臨港道路竣工平面図を複製したものです。(承認番号) 平21 樽港事第33号
- この地図は、森林計画室長の承認を得て静岡県作成の5000分の1の森林基本図を複製したものです。(承認番号) 平成21年森計第477号
- この地図の作製に当たっては、鹿児島県知事の承認を得て、5千分の1森林基本図を使用したものです。(承認番号 平18 林振第497号)
- この地図は、東根市長の承諾を得て同市保管の東根市道路台帳図を使用し、調製したものです。(承認番号 東建収第8号 平成21年5月27日承認)
- この地図は幕別町長の承認を得て、同町発行の2千5百分の1幕別町現況図を使用し、調整したものです。(承認番号) H22 幕都計第185号

- この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院の技術資料H・1 - No.3「日本測地系における離島位置の補正量」を利用し作成したものです。(承認番号 国地企調第180号 平成22年9月28日)
- この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の5千分の1国土基本図を使用したものです。(承認番号 平23情使、第283号-10号)
- この地図の作製に当たっては、鹿児島県知事の承認を得て、5千分の1森林基本図を使用したものです。(承認番号 平19 林振第246号)
- データベース作成時点の関連で、表示される地図が現状と異なる場合がありますのでご了承ください。
- この地図は、田原市長の承認を得て、同市発行の都市計画図を使用して作成したものです。(承認番号)23田街第55号
- この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の災害復興計画基図を使用したものです。(承認番号平24情使、第199号-10号)

道路データについて

- 本製品の道路データは調査時点の情報を収録しています。調査後に開通期日などが変更になることにより、実際の道路と異なる場合がありますのでご注意ください。

交通規制データについて

- 本製品に使用している交通規制データは、2012年3月までの独自調査結果に基づき作成したものを使用しています。本データが現場の交通規制と違う場合は、現場の交通規制標識・表示などに従ってください。
- 本製品に使用している交通規制データは普通車両に適用されるもののみで、大型車両や二輪車などの規制は含まれておりません。あらかじめご了承ください。

有料道路料金データについて

- 本製品に使用している有料道路の料金データは2012年3月までの調査で2012年10月1日時点の軽自動車・中型自動車・普通自動車のものです。

- 首都高速道路・阪神高速道路において2012年1月1日より導入された距離別料金制につきましては、ETC 料金には非対応となり、現金車両専用料金のみ対応しております。

VICS サービスエリアについて

- 本製品に収録されているVICSエリアは下記の都道府県が対象となります。北海道(北見)(旭川)(札幌)(釧路)(函館)、青森県、秋田県、岩手県、山形県、宮城県、福島県、栃木県、群馬県、茨城県、千葉県、埼玉県、東京都、神奈川県、山梨県、新潟県、長野県、静岡県、愛知県、三重県、岐阜県、石川県、福井県、富山県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、岡山県、奈良県、和歌山県、鳥取県、島根県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県、福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県
- VICSサービスエリアが拡大されても、本製品では新しく拡大されたサービスエリアでのレベル3(地図表示型)表示はできません。

放送局リストのデータについて

- VICS、AM、FM、地上デジタルTVの放送局名リストは2012年5月調査時点のものです。

訪問宅(個人宅)電話番号データについて

- 訪問宅(個人宅)電話番号データ「Bellemax[®]」は、日本ソフト販売(株)のデータ(2012年3月号)を使用しています。

その他情報提供元

- NTTタウンページ株式会社(2012年3月号のタウンページデータ)
- 公益財団法人交通事故総合分析センター(1999年度統計による危険地帯データ)
- (株)アイ・エム・ジェイ(2011年10月現在の駐車場データ)

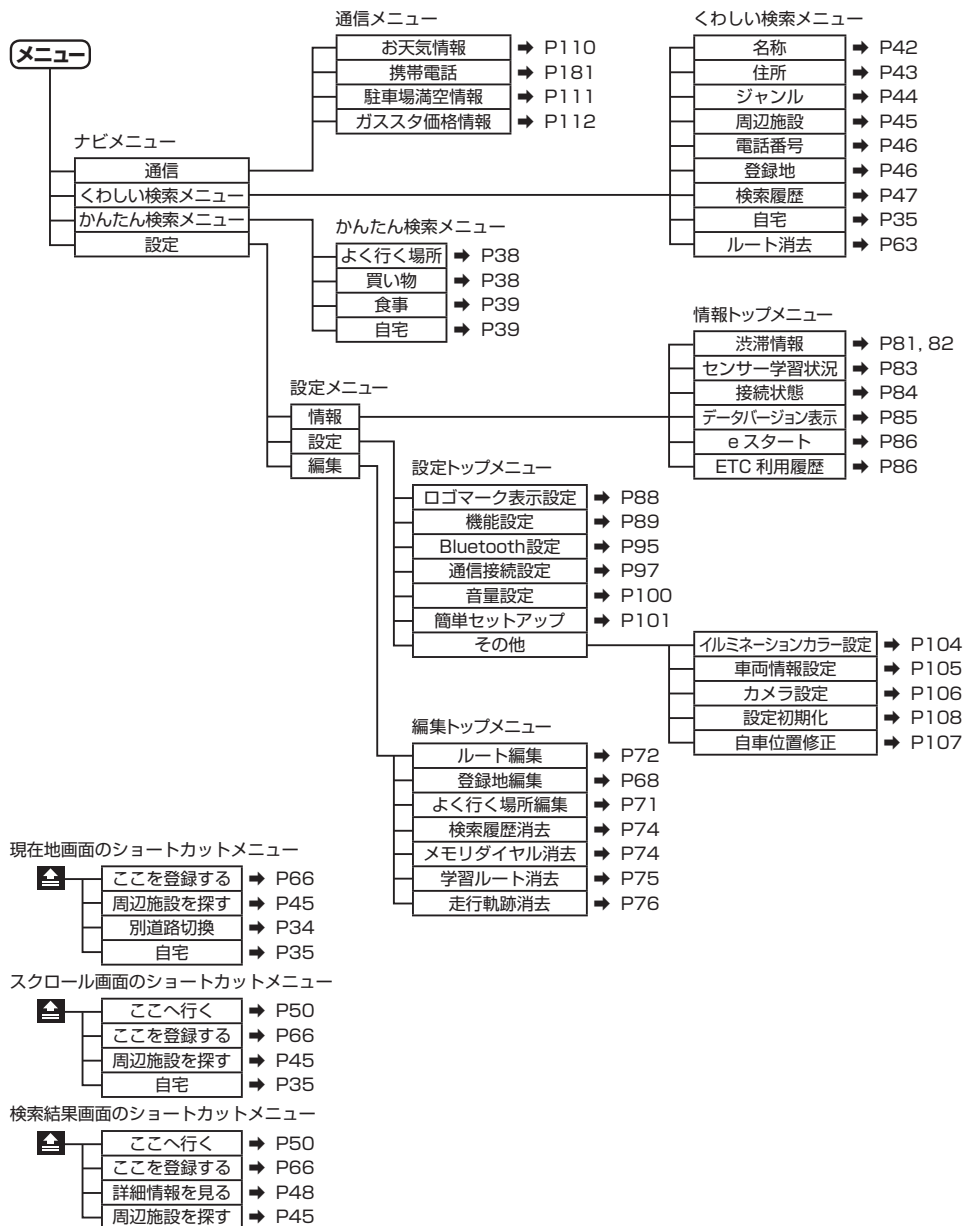
メモ

- 収録データベースに誤字、脱字、位置ずれなどの表記上または内容上の誤りがあったとしても弊社は保証するものではありません。

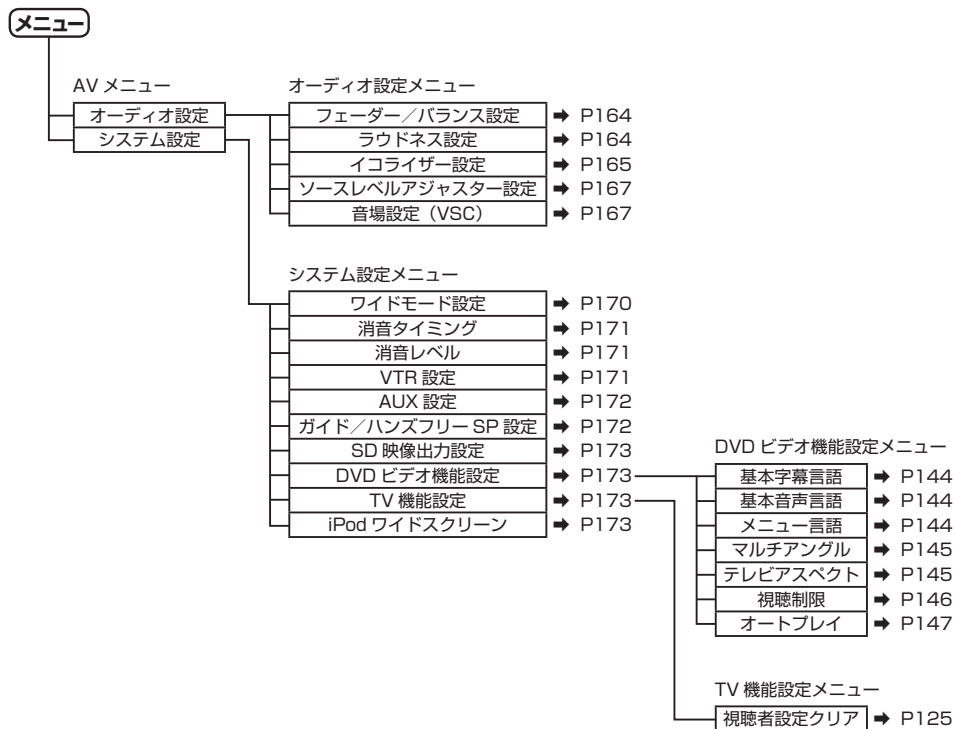
索引

メニュー索引

ナビゲーション



オーディオ



用語索引

五十音順

あ行

あかさたな送り	13
明るさ	186
アスペクト比固定	173
アローガイド	57
アングル	138
暗証番号	146
案内音量	100
案内開始画面	50
案内地	57
イコライザー	165
補正	166
一時停止	128, 130, 134, 140, 150, 151, 154, 158
イラスト情報(施設)	33
入口(有料道路)	58
イルミネーション	84
イルミネーションカラー	102, 104
色温度	186
色の濃さ	186
インジケーター	14
インターチェンジ(IC)	31, 53
インテリジェントリルート	61
営業時間考慮	32, 45, 213
映像ディスク	133
映像ファイルを再生	150
エコー(残響音)	180
エラーメッセージ	207
エリアプリセット	118, 122
大文字/小文字	16
オーディオ設定	164
お天気情報	110
オート(VICS放送局選択)	82
オートハイウェイモード	30, 90
オートプレイ	147
オートリルート	61
音送り	13
音楽CD	128
音楽ファイルを再生	150
音場	167
音声圧縮方式	195
音声案内	30, 59

音声切換	124, 138, 143
音声多重	143
音量	100, 101

か行

回転速度計	83
ガイド線	176
ガイド/ハンズフリー SP設定	172
買い物スポット	38
学習ルート消去	75
学習ルート探索	54, 91
拡大図	57
画質調整	186
ガススタ価格情報	112
カスタム色	104
カーソル	17
カメラガイド	176
カメラ設定	106
画面切り換え (ナビゲーション⇄AVソース)	12
簡易ハイブリッドシステム	199
簡易ハイブリッドモード	83
かんたん検索メニュー	21, 38
簡単セットアップ	101
記号	18
規制表示	92
軌跡表示	24
機能設定	
DVDビデオ	144
渋滞情報	92
その他	93
地図表示	90
ナビゲーション	89
ルート・案内	90
基本音声言語	144
基本字幕言語	144
急発進	86
行送り	13
距離	83
キーワード検索	43
緊急情報の自動表示	80
禁止マーク	193
黒の濃さ	186
くわしい検索メニュー	20
傾斜計	83

携帯電話	180	シネマ	170
受ける	180	字幕切換	124, 137, 142
かける	181	車載器番号	85
切り換え	96	車速パルス	83, 84
言語コード表	148	シャッフル再生	156
現在地画面	24	車両情報	105
現在地情報の表示	93	ジャンクション(JCT)	31, 32
県境案内	30	ジャンルで探す	44
検索できるジャンル	44	十字カーソル	22, 26
検索履歴	47	住所で探す	43
広域	26	渋滞オートガイド	61, 80, 92
効果音	69	渋滞・規制情報	61, 80
交差点案内表示	57, 91	渋滞考慮ルート探索	55, 91
高精度3Dハイブリッドシステム	199	渋滞情報	78, 81
交通規制情報	78	渋滞情報表示	92
交通障害情報	78	渋滞情報表示(ハイウェイモード)	33
交通情報	78, 120	渋滞情報表示対象道路	92
候補表示画面	29	渋滞チェック	61, 80
ここへ行く	50	周辺施設を探す	45
ここを登録する	66	収録データベース	218
誤差	200	主音声	124
コマ送り	137, 142	受信状態	82
コントラスト(明暗)	186	出発地指定	54
コントロールモード	156	受話音量	100
さ行		順調表示	92
再生	128, 130, 134, 140, 150, 151, 154, 158	消音タイミング	171
再探索(ルート)	72	消音レベル	171
サイドマップ	29	消去	
サイドメニュー	14	学習ルート	75
サービスエリア(SA)	31, 32	検索履歴	74
サービス切換	123	視聴者設定	125
サンプリング周波数	196	走行軌跡	76
時間規制考慮ルート探索	55	登録地	69
シーク(VICS放送局選択)	82	メモリダイヤル	74
市区町村名	43	ユーザーデータ	189
自転車位置修正	107	よく行く場所	71
システム設定(オーディオ)	170	ルート	63, 73
施設情報	31	乗降IC指定	53
自宅	39	詳細(地図のスケール)	26
帰る	35	詳細市街地図 → シティマップ	28, 215
登録	35, 102	詳細情報	48
視聴者設定クリア	125	詳細ルート設定	52
視聴制限	146	情報画面	29
シティマップ	28, 90, 215	情報更新タッチキー	14
シティマップ境界表示	90	情報トップメニュー	21
自動登録(放送局)	119, 124	初期化	108, 189
		食事スポット	39
		ショートカットメニュー	22

自立航法	199	タウンページ	213
人工衛星	199	立寄地	52
信号機	30	先送り	73
進行方向案内	59	削除	52
振動ジャイロセンサー	199	追加	52
スカイビュー	28	並べ替え	52
スキャン → 自動登録	124	タッチキー	12
スクロール確認画面	51	タッチパネル	12
スクロール画面	26	タッチパネルキャリブレーション	188
図形情報 (VICS 情報)	81	タブ送り	13
スケール	26	探索条件	50, 72
ステレオ放送	118, 122	短縮ダイヤル	46
スマートIC	31	チェックマーク	14
スマートIC考慮ルート探索	55, 91	チェックリスト	14
ズーム	170	地図色切換	90
すれ (自車位置)	107	地図で探す	42
スロー再生	137, 142	着信音量	100
セカンダリ DNS	98	チャプター	135, 140
接続ID	98	チャンネルスキャン	124
接続先 (プロバイダ)	97	中継局	122
接続先電話番号	98	駐車場情報	78
接続先名称	98	駐車場情報マーク表示	92
接続状態	84	駐車場満空情報	111
接続パスワード	98	駐車制限 (車種)	105
設定初期化	108	駐車制限 (車両寸法)	106
設定トップメニュー	21	通信接続設定	97, 103
設定保存領域クリア	189	通信メニュー	20
設定メニュー	21	通話	180
セーフティインフォメーション	30	通話中メニュー	184
前後G	83	ディスクメニュー	135
センサー学習	83, 212	出口 (有料道路)	58
センター情報 (VICS センター)	81	データ通信	97
走行軌跡自動消去	90	デモ走行	73
走行軌跡消去	76	テレビアスペクト	145
走行軌跡表示	90	電源電圧	84
走行道路名	25	電波発射	97
操作音	100	電話帳	183
操作タッチキー	121, 134, 140, 151, 154	電話番号で探す	46
測位状態	84	電話を受ける	180
ソースレベルアジャスター	167	電話をかける	181
		ダイヤル発信	182
		地図に登録された電話番号	182
		メモリダイヤル呼び出し	181
		リダイヤル	182
		到着予想時刻	56
		到着予想時刻速度 (一般道)	91
		到着予想時刻速度 (有料道)	91
た行			
ダイヤルQ2	46		
ダイヤルアップ通信	96		
ダイヤル発信	182		
ダイレクトサーチ	139, 143, 152		
ダイレクトタッチ	135		

- 登録
 自宅 35, 102
 場所 66
 登録地 46, 68
 消去 69
 編集 68
 保存 70
 名称表示(プライベートマッピング) 69
 読み込 70
 道路交通情報通信システム → VICS 78
 道路を切り換える → 別道路へ切替 34
 都市高速道路 57
 トラック 128, 130
 取付位置 84
 トリップメーター 83
- な行**
 ナビゲーション画面(地図画面) 12
 ナビスタンプ 13
 ナビメニュー 20
 ニュアンス(イコライザー効果) 166
 ノースアップ 27
 ノーマル(ワイドモード設定) 170
 ノーマルビュー 28
- は行**
 ハイウェイモード 28, 29, 31
 ハイビジョン 193
 パーキングエリア(PA) 31, 32
 パーキングブレーキ 85
 場所
 探す 42
 登録 66
 バージョン情報 85
 パスキー 95, 97
 パスワード 98
 バックカメラ 176
 バック信号 85
 発信 182
 発信者番号通知サービス 181
 パレンタルロック → 視聴制限 146
 番組内容 124
 番組表 123
 パンスキャン 145
 ハンズフリー通話 96, 180
 バンド 119
 微調整(スクロール) 25
 ビットレート 151, 196
- ビデオレコーディングフォーマット
 (VRモード) 192
 ビュー切替メニュー 27
 表示方法 27
 ファイナライズ 192
 ファクトリーカーブ 165
 フェーダー/バランス 164
 フェリー航路使用条件 91
 フォルダー 131, 152, 195
 副音声 124
 ブックマーク 136
 物理チャンネル 122
 踏切案内 30, 93
 プライベートマッピング 69
 プライマリDNS 98
 プリセット 118, 122
 エリアプリセット 118, 122
 ユーザープリセット 118, 122
 プリセットチャンネル 118, 122
 フル 170, 173
 プロバイダ 97
 分岐(有料道路) 58
 分岐先の情報 32
 ページ送り 13
 別道路切替 34
 ヘディングアップ 27
- 編集
 よく行く場所 71
 ルート 72
 編集トップメニュー 22
 方位 83
 放送局(VICS情報) 82
 放送局(ラジオ) 118
 他のルート 51
 ポジション 168
 ボタン 12
 ポート番号 99
- ま行**
 マップマッチング 200
 マニュアルプリセット 119, 123
 マルチアングル 138
 マルチ音声 138, 143, 144
 マルチ言語字幕 144
 マルチ字幕 137, 142
 マルチセッション 195
 向き(地図) 27
 名称で探す 42

数字・アルファベット順

数字

2D (ノーマルビュー) 固定スクロール	90
2D (ノーマルビュー) 地図方位	90
2D マーク	69
2カ国語放送	124, 143
2次元測定	199
3Dハイブリッドセンサー	199
3Dハイブリッドモード	83
3次元測定	199
5.1ch	138
10キーサーチ	139, 143, 152
16 : 9	145
50音タブ	13
100mスケール一方通行表示	28

A

A2DP	158
AAC	
(Advanced Audio Coding)	130, 197
ACTOR'S STAGE	167
ALL REPEAT	159
Apple Lossless	197
ATOK	15
AUX	162
AUX設定	172
AVCHD → ハイビジョン	193
AVCREC → ハイビジョン	193
AVRCP	158
AV画面への割り込み	93
AVソースアイコン	114
AVソース画面(オーディオ画面)	12, 114
AVソースプレート	114
AVプロファイル	158

B

Bluetooth (接続状態)	84
Bluetooth設定	94, 95, 103
BSM	119
BT AUDIO	158

C

CD	128, 192, 194
CD-EXTRA	192
CHAPTER REPEAT	136, 141, 142
CINEMA	170

CMスキップ	141
CMバック	141
Copy Control CD	192

D

DDCD	192
DISC REPEAT	129, 131, 136, 141
Dolby D	138
DRM	130, 150
DTS 音声	138
DualDisc	193
DVD-V	144
DVD-VR	140, 144
DVDビデオ	134, 192, 194
DVDビデオ機能設定	144
DYNAMIC THEATER	167

E

ETC 起動時音声案内	93
ETC 取付状態	102
ETC ユニット	33, 85
ETC 利用履歴	86
ETC レーン案内	33, 91
eスタート案内	30, 85, 93

F

FILE REPEAT	152
FLAT	165
FM-VICS	78
FM多重放送	82, 215
FOLDER REPEAT	131, 152
FULL	170

G

GPS	199
GPS アンテナ	84

I

ID3 Tag	196
ID (接続ID)	98
iPod	154
iPod ワイドスクリーン	173
ISO9660	195
iTunes	197

J

Joliet	195
--------	-----

L

L/R切換 138

M

m3u 195
 MEDIA REPEAT 152
 MP3 130, 196
 MP3i (MP3 interactive) 195
 MP3 PRO 195
 MPEG2 197
 MPEG4 197
 MPEG Audio Layer 3 196
 MUSIC STUDIO 167

N

NATURAL 165
 NON STOP SEEK 118
 NORMAL 170
 NTSC 192

P

POWERFUL 165
 Proxyサーバー 98

R

RELAX LIVING 167
 ROM 130
 Romeo 195

S

SDHC 150
 SD映像出力設定 173
 SDカード 150
 SEEK 118, 122
 SUPER BASS 165

T

TITLE REPEAT 136, 141, 142
 TRACK REPEAT 129, 131, 159

U

URLの入力 17
 USBメモリー 150

V

VBR 196
 VICS (Vehicle Information &
 Communication System) 78
 VICS 情報提供時刻 79
 VICS 情報の表示 78, 79, 81
 VICS センター 215
 VICS マーク 80
 VOCAL 165
 VSC 167
 VTR 162
 VTR設定 171

W

WAV 197
 Windows Media™ Audio 195
 Windows Media Audio 9 Lossless 196
 Windows Media Audio 9 Professional 196
 Windows Media Audio 9 Voice 196
 Windows Media Player 195
 WMA 130, 195

Z

ZOOM 170

記号・マーク一覧

地図関連		渋滞情報関連	
高速・有料道	道の駅	テニスコート	渋滞
国道	空港	美術館、博物館	混雑
主要地方道	ヘリポート	動物園	順調
都道府県道	フェリー乗り場	植物園	規制区間
一般道	観光船乗り場	水族館	入口閉鎖・通行止
細街路	タワー	ホール・劇場	速度規制
鉄道	灯台	神社	進入禁止
都道府県境	墓地	寺	通行止め・閉鎖
① 国道番号	公共施設	城	大型通行止め
① 都道府県道番号	警察署	牧場	対面通行
C1 有料道路番号	消防署	競馬場	片側交互通行
一方通行	病院	デパート	徐行
海・川・湖沼	郵便局	DIYショップ	車線規制
公園・緑地・芝生など	NTT	ホテル	チェーン規制
施設敷地	文 高校	検索・ルート関連	
施設	小 小学校	目的地	凍結
駅舎	中 中学校	立寄地	故障車
インターチェンジ/ランプ名	大 大学	出発地	工事
交差点名	文 高校	案内地	作業
ランプ入口	文 高校	案内中ルート(有料道)	事故
ランプ出口	小 小学校	案内中ルート(一般道)	障害物・路上障害
信号機	中 中学校	案内中ルート(細街路)	入口制限
指示点	大 大学	駐車場入口案内ポイント	入口閉鎖
山岳	文 高校	地図収録案内ポイント	駐車場(空車)
公園	小 小学校	プローブ案内ポイント	駐車場(混雑)
工場	中 中学校		駐車場(満車)
トンネル出入口	大 大学		駐車場(閉鎖)
マンション	文 高校		駐車場(不明)
サービスエリア	小 小学校		気象
パーキングエリア	中 中学校		行事
インターチェンジ	大 大学		災害
料金所・スマートICゲート	文 高校		火災
駐車場	小 小学校		原因/事象なし
	中 中学校		
	大 大学		
	文 高校		
	小 小学校		
	中 中学校		
	大 大学		
	文 高校		
	小 小学校		
	中 中学校		
	大 大学		
	文 高校		
	小 小学校		
	中 中学校		
	大 大学		
	文 高校		
	小 小学校		
	中 中学校		
	大 大学		
	文 高校		
	小 小学校		
	中 中学校		
	大 大学		
	文 高校		
	小 小学校		
	中 中学校		
	大 大学		
	文 高校		
	小 小学校		
	中 中学校		
	大 大学		
	文 高校		
	小 小学校		
	中 中学校		
	大 大学		
	文 高校		
	小 小学校		
	中 中学校		
	大 大学		
	文 高校		
	小 小学校		
	中 中学校		
	大 大学		
	文 高校		
	小 小学校		
	中 中学校		
	大 大学		
	文 高校		
	小 小学校		
	中 中学校		
	大 大学		
	文 高校		
	小 小学校		
	中 中学校		
	大 大学		
	文 高校		
	小 小学校		
	中 中学校		
	大 大学		
	文 高校		
	小 小学校		
	中 中学校		
	大 大学		
	文 高校		
	小 小学校		
	中 中学校		
	大 大学		
	文 高校		
	小 小学校		
	中 中学校		
	大 大学		
	文 高校		
	小 小学校		
	中 中学校		
	大 大学		
	文 高校		
	小 小学校		
	中 中学校		
	大 大学		
	文 高校		
	小 小学校		
	中 中学校		
	大 大学		
	文 高校		
	小 小学校		
	中 中学校		
	大 大学		
	文 高校		
	小 小学校		
	中 中学校		
	大 大学		
	文 高校		
	小 小学校		
	中 中学校		
	大 大学		
	文 高校		
	小 小学校		
	中 中学校		
	大 大学		
	文 高校		
	小 小学校		
	中 中学校		
	大 大学		
	文 高校		
	小 小学校		
	中 中学校		
	大 大学		
	文 高校		
	小 小学校		
	中 中学校		
	大 大学		
	文 高校		
	小 小学校		
	中 中学校		
	大 大学		
	文 高校		
	小 小学校		
	中 中学校		
	大 大学		
	文 高校		
	小 小学校		
	中 中学校		
	大 大学		
	文 高校		
	小 小学校		
	中 中学校		
	大 大学		
	文 高校		
	小 小学校		
	中 中学校		
	大 大学		
	文 高校		
	小 小学校		
	中 中学校		
	大 大学		
	文 高校		
	小 小学校		
	中 中学校		
	大 大学		
	文 高校		
	小 小学校		
	中 中学校		
	大 大学		
	文 高校		
	小 小学校		
	中 中学校		
	大 大学		
	文 高校		
	小 小学校		
	中 中学校		
	大 大学		
	文 高校		
	小 小学校		
	中 中学校		
	大 大学		
	文 高校		
	小 小学校		
	中 中学校		
	大 大学		
	文 高校		
	小 小学校		
	中 中学校		
	大 大学		
	文 高校		
	小 小学校		
	中 中学校		
	大 大学		
	文 高校		
	小 小学校		
	中 中学校		
	大 大学		
	文 高校		
	小 小学校		
	中 中学校		
	大 大学		
	文 高校		
	小 小学校		
	中 中学校		
	大 大学		
	文 高校		
	小 小学校		
	中 中学校		
	大 大学		
	文 高校		
	小 小学校		
	中 中学校		
	大 大学		
	文 高校		
	小 小学校		
	中 中学校		
	大 大学		
	文 高校		
	小 小学校		
	中 中学校		
	大 大学		
	文 高校		
	小 小学校		
	中 中学校		
	大 大学		
	文 高校		
	小 小学校		
	中 中学校		
	大 大学		
	文 高校		
	小 小学校		
	中 中学校		
	大 大学		
	文 高校		
	小 小学校		
	中 中学校		
	大 大学		
	文 高校		
	小 小学校		
	中 中学校		
	大 大学		
	文 高校		
	小 小学校		
	中 中学校		
	大 大学		
	文 高校		
	小 小学校		
	中 中学校		
	大 大学		
	文 高校		
	小 小学校		
	中 中学校		
	大 大学		
	文 高校		
	小 小学校		
	中 中学校		
	大 大学		
	文 高校		
	小 小学校		
	中 中学校		
	大 大学		
	文 高校		
	小 小学校		
	中 中学校		
	大 大学		
	文 高校		
	小 小学校		
	中 中学校		
	大 大学		
	文 高校		
	小 小学校		
	中 中学校		
	大 大学		
	文 高校		
	小 小学校		
	中 中学校		
	大 大学		
	文 高校		
	小 小学校		
	中 中学校		
	大 大学		
	文 高校		



三菱電機株式会社

〒100-8310 東京都千代田区丸の内 2-7-3 (東京ビル)

< KFWZ13E > < CRA4735-A >